

高校アーチェリー会報

第14号

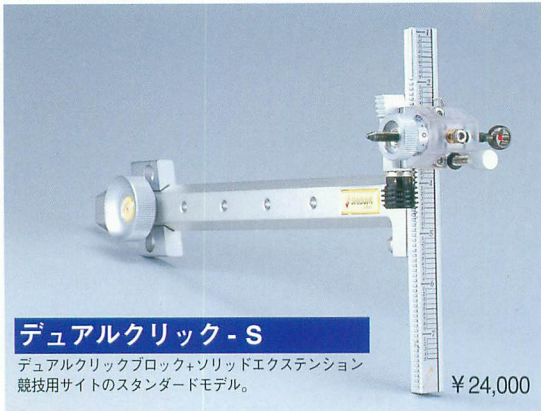


全国高体連アーチェリー専門部
2000年4月

シブヤサイト、メダル獲得! 世界選手権大会でも大活躍。

Dual Click Sight

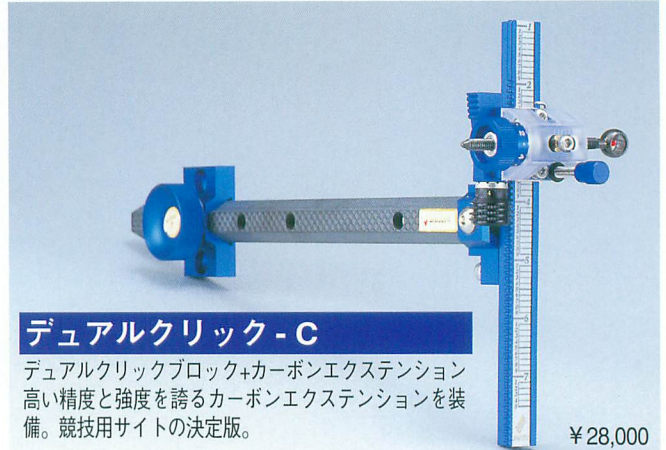
新開発のデュアルクリックサイトブロックを搭載した、リカーブアーチャーのための究極のサイトシステム



デュアルクリック - S

デュアルクリックブロック+ソリッドエクステンション
競技用サイトのスタンダードモデル。

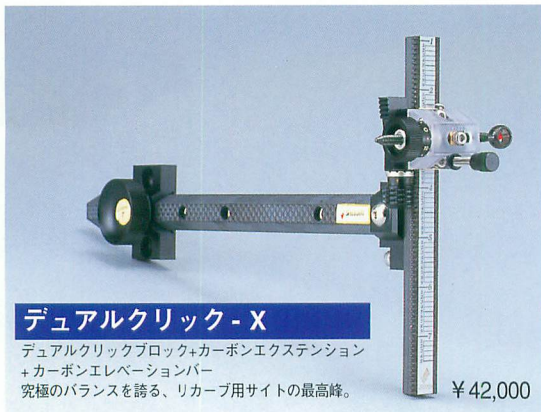
¥24,000



デュアルクリック - C

デュアルクリックブロック+カーボンエクステンション
高い精度と強度を誇るカーボンエクステンションを装
備。競技用サイトの決定版。

¥28,000



デュアルクリック - X

デュアルクリックブロック+カーボンエクステンション
+カーボンエレベーションバー
究極のバランスを誇る、リカーブ用サイトの最高峰。

¥42,000



デュアルクリックサイトカラーバリエーション

ブラック、シルバー、ブルー、レッド、ゴールド

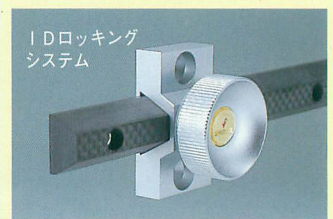


Setting a higher standard
for recurve sight.

デュアルクリック
ブロック



ソリッドエクステンション



ID ロッキング
システム

Dual Click Sight Features

デュアルクリックブロック

- 耐候性にすぐれたポリカーボネイトを使用。
- デュアルクリック (上下、左右ともクリックストップ方式による微調整方式)。
左右: 1 クリック=0.003"
上下: 1 クリック=0.008"
- 余計なストップバーネジを排したシングルロックダウンノブ機構。

ソリッドエクステンション (デュアルクリック - S)

- アルミニウム材から削り出した一体型エクステンション。
- 定評のある渋谷オリジナルのタブテイルロック方式。

ID ロッキングシステム (デュアルクリック - C、X)

- 進化したタブテイル、「インターナルタブテイル」ロックシステムにより、片手で楽々
着脱可能な操作性と最高の再現性を両立。
- カーボンのリーディングカンパニーより供給されるカーボンコンボジットを使用し、高い
剛性とエネルギー減衰性を誇るカーボンエクステンション。



<http://www.yasui.co.jp/shibuya/>

渋谷アーチェリー 安井貿易 (株) スポーツ用品課
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-10-4 第2 T Rビル5 F
TEL.03-3372-2360 FAX.03-3372-2378

目 次

1	巻頭言	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 部長 松崎 洋右	1
2	委員長挨拶	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 委員長 田中 康彦	2
3	沿 革		3
4	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	役員名簿	5
5	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	ブロック役員名簿	6
6	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	部長名簿	7
7	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	委員名簿	8
8	学校登録一覧		9
9	全国高体連アーチェリー専門部・登録状況一覧		19
10	アジアサーキット遠征報告		20
11	1999インターハイ優勝校紹介		
	男子 奈良県 奈良高等学校		22
	女子 京都府 菟道高等学校		24
12	学校紹介 徳島東工業高校・徳島工業(徳島)・高松東高校(香川)		
	多良木高校(熊本)・厳木高校(佐賀)		27
13	技術セミナー「私の部活指導」岡部美義男		34
14	インターネット・ホームページについて		41
15	登録用紙について		42
16	登録費送金方法		43
17	全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届けの流れについて		44
18	登録届記入方法		45
19	指定都道府県番号表		46
20	全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届用紙		47
21	インターハイ・全国選手権大会栄光のあゆみ 同大会記録		49
22	全国選抜大会栄光のあゆみ 同大会記録		52
23	日本高校記録		54
24	FITA世界記録・日本記録		56
25	記録収集について		60
26	高校公認記録規程		62
27	記録承認申請書様式		65
28	大会開催地・開催順		66
29	平成12年度のインターハイについて		67
30	アーチェリー活動安全要領		69
31	服装規定		71
32	全国高体連アーチェリー専門部規約		72
33	総務委員会規程		75
34	競技委員会規程		76
35	審判委員会規程		77
36	強化委員会規程		78
37	事務局規程		79
38	アーチェリー専門部表彰規程		80
39	アーチェリー専門部慶弔規程		81
40	連絡先および口座番号		82
41	高体連主催競技会の公認について		84
42	あとがき		96

あ い さ つ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

部 長 松 崎 洋 右



平成11年度の高体連アーチェリー専門部の諸行事も、当初の計画どおり、多大な成果を収めて、無事終わらせることができましたことを、まず初めにお礼申し上げます。

さて、21世紀を担う青少年の育成シンポジウムの基調報告の中で、人々が互いに個性を尊重し、強調しあいながら暮らしていくためには、正義を愛する心、良心に従って行動する意志の力を磨く必要があり、特に激しい競争の中では、自他の利益と幸福を調和させることのできる正義感と論理感を養う事の大切さを強調し、それを実行する資源として、健康と体力を重要な柱とし「たくましく生きる基本は」心と体の健康にあると述べています。スポーツはきわめて重要なものであり、青少年が自己の発達の程度にふさわしいスポーツ活動を行うことは、心身ともに健全な、そして健康な体を育むに必要不可欠なものであり、生涯を通じてスポーツ活動を実践していく上での基礎作りやそれぞれの競技力向上などに大きな意義を有しています。

一つの競技の頂点を目指し1年から3年生が力をあわせ、技術面・体力面の向上と共に、それぞれの目標に向かって切磋琢磨していく環境は、寛容さと健康で豊かな心の育成が図られる事は確実で、部活動が果たす役割は大きいものと考えます。

平素より生徒とともに汗を流して指導されている全国各地の高等学校アーチェリー部顧問の先生方の情熱に感謝いたします。

21世紀を担う若者を育成するために、今こそ、全国高体連の理念とアーチェリー専門部の使命を踏まえながら、英知を結集し実践して行く事を組織に結集する先生方に期待いたします。

委員長 あいさつ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

委員長 田 中 康 彦



昨年は類を見ない程の東北の暑さの中、岩手インターハイが松尾村で行われ、新ルールのもと、無事終えることができたことを大変喜ばしく思っております。関係各位のご尽力を賜り、ありがとうございました。

さて、「オリンピック・イヤー」である本年、アーチェリー界においても、素晴らしい活躍が期待されます。世界の選手が低年齢化している中、我が国も世界のレベルに近づきつつあるのですが、いざ大会となると早々に敗退という結果になってしまいます。いったいいかなることなのでしょう。どの競技、種目についても言えることではありますが、特にアーチェリーにおいてはメンタルな部分をどう持っていくかにかかっていると言えるでしょう。そういう面からも指導者としてのあり方が今後は益々問われていくことと思われます。1月に行われた指導者講習会での青山先生の講演にも現代の若者がすぐキレルという話がありました。様々な要因の中で食事の影響が大きいということでした。こういったことから先程のメンタルな部分も含めて、今後の選手育成にはトータルなサポートが必要となってくるのは必至です。学校教育の根幹が揺らぎつつある現在、高校生の「部活動離れ」が進んできています。高体連アーチェリー部においても登録人員が年々減少し、団体の組めない学校が出てきています。寝食を共にし目標を一つに、何ものにもかえがたい友情を育む。このような人間関係を培うことも、高校生活の大切な要素だといえます。そのためにも、それぞれの顧問は「アーチェリーをやってきてよかった。このクラブにいてよかった」と評価を得るように尽していただきたいと思います。

禅宗に「^{そったく}啐啄の機^き」という言葉がありますが、教育や指導も大きな広い目でそっと見守りながら、子供達からのサインを見逃さないようにしなければならないことが一番重要ではないでしょうか。雛が卵からかえる時、親鳥はコツコツという中からのサインにほんの少し力を貸して、殻をつつきます。初めから何もかも導くことが愛情とは言えません。子供達の個性を尊重しつつ、彼ら彼女らが自分自身で道を切り開いていく助力をする、これこそが先達としての努めだと考えます。そのためにも日々、努力を続けながら、よりよい方向性を探ってまいります。

沿革

昭和13年	・アメリカから帰国した、菅 重義氏により日本にアーチェリーが紹介される。
昭和22年	・日本洋弓会が設立される。(愛好者が増加傾向)
昭和34年	・日本アーチェリー協会設立 (学校への活動用具貸与による援助始まる)
昭和37年	・高校生を対象とした近畿総合体育大会が、全国で初めて開催される。
昭和43年	・第1回全国高校アーチェリー競技会開催(東大阪市・旧布施市)
昭和44年	・第2回全国高校アーチェリー競技会開催(静岡県)
昭和45年	・競技会の名称変更「全国高等学校アーチェリー選手権大会」以後より今日に至る。
昭和46年	・選手権参加規定変更・任意参加を各都道府県で2校以内と前年度優勝校に参加を制限。
	・組織を「全国アーチェリー連盟高校部」に改称
昭和49年	・選手権参加規定変更・各都道府県の代表校制に変更、男女1校と前年度優勝校に改正。
	・優勝碑「ダイアナ」(狩猟の女神：ギリシャ神話)が新たに新調される。 (川上源一氏と滋賀県協会の格別の好意により、ブロンズ像制定。)
	【制作者：小谷 謙氏・日展会員・京都府在住】
昭和51年	・運営組織のより一層の明確化が図られる。
	・木村好治氏(青森県アーチェリー協会・元名久井農業高校校長)を初代高校部長に選出。
	・改定組織関係役員決定。
昭和52年	・選手権参加規定変更・団体出場校以外の学校より、個人選手の参加を認める。
昭和53年	・大会開催基準・運営細則に関する全面的な見直し、改正に着手。 (協会主導の運営から、高校サイドへの移行に伴い)
昭和54年	・部長、理事長制及び各都道府県ブロックの実情に即した常任理事や代表理事制を取り入れる。初代理事長に中田 昇氏を選出。
	・全国大会記録集創刊
	・全国高体連加盟に向け、高体連旗・表彰等の使用申請の働き掛けが始まる。
昭和55年	・全国高体連へ加盟申請する。
	・中田 昇氏 二代目高校部長に選出。
	・総務・競技・強化・事務局の4部門を設定し、積極的な組織運営策の取組が始まる。
昭和56年	・全国選手権大会開催方針変更・大会経費内部負担の軽減・大会運営への地元高校への協力要請
	・専門部設置県の増加を目指し、各地で運動広がる。

昭和57年 昭和58年	・小笠原朋憲氏三代目高校部長に選出。高体連加盟申請継続 ・全国高体連正式加盟への手順決定される。 ・第1回全国高校選抜大会開催（愛知・森林公園） ◎準加盟として競技種目を扱う。 ◎名義共催と全国総体開催期間中の同時開催禁止。 ◎加盟については、おおむね30都道府県で高体連加盟が審議条件または、40都道府県に於いて、実質的な活動の場合。
昭和59年	・組織拡充と事業実施内容等の統一化に向けて運動強化。 ・ジュニア選手の強化並びに全米選手権大会への派遣事業始まる。
昭和61年	・清本 修氏理事長に選出。 ・学校登録指定番号・ランキング制度開始。 ・会報の発刊始まる。
昭和62年	・アーチェリー専門部設置に向けて、各都道府県高体連事務局への意向調査、協力要請を行う。
昭和63年	・全国高体連への加盟承認される。（5月） ・新組織による常任委員会開催。（伊豆下田市） ・審判委員会を設置する。 ・全国高体連専門部規約審議、原案決定。 ・里見勝人氏（淑徳高校校長）四代目高校部長に選出。副部長に松崎洋右氏（大宮開成高）猪飼 彰氏（愛工大名電高）の2名を選出。 ・清本 修氏（可部高校）初代専門委員長に選出。 ・中辻恵子（山梨・甲府第一高）オリンピック代表へ。
平成元年	・五代目高校部長 松崎洋右氏（大宮開成高）を選出
平成2年	・副部長に越田 稜氏（学習院高）を選出。清本 修氏退職にともない、4月より藪内徹氏（伊吹高校）が専門委員長を代行する。
平成3年	4月・藪内徹氏（伊吹高校）2代目専門委員長に選出。
平成5年	7月・第1回ジュニア世界選手権大会（ノルウェー）へ選手派遣。
平成6年	4月・猪飼彰氏顧問に、鵜飼泰勇氏（愛知高校）を副部長に選出。 8月・全国高校総合体育大会（栃木県） 3月・全国高校選抜大会長浜ドーム開催。 ・越田稜氏（学習院高）顧問に、桑ヶ谷森男氏（国際基督教大学付属高）を副部長に選出。
平成7年	3月・鵜飼泰勇氏（愛知高校）顧問に、吉田悠記氏（愛知高）を副部長に選出。
平成8年	8月・全国高校総合体育大会（山梨県）
平成9年	3月・全国高校選抜大会（茨城県波崎） 4月・田中康彦氏（愛知高）3代目専門委員長に選出 - ホームページ開設
平成10年	8月・全国高校総合体育大会（京都府） 3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）
平成11年	8月・全国高校総合体育大会（香川県） 3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・桑ヶ谷森男氏(国際基督教大学付属高)顧問に、服部豊氏(文京女子大学高)を副部長に選出。
平成12年	8月・全国高校総合体育大会（岩手県） 3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）

専門部役員名簿

役 職 名		氏 名	勤 務 先		学 校 名	電 話	F A X
部 長		松崎 洋右	☎330-8567 埼玉県大宮市堀ノ内1-615		大 宮 開 成 高	048-641-7161	048-647-8881
副 部 長		吉田 悠記	☎464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41		愛 知 高	052-721-1521	052-723-2254
		服部 豊	☎113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3		文 京 女 子 高	03-3964-5301	03-3964-7294
委 員 長		田中 康彦	東 海	☎465-8520 名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41	愛 知 高	052-721-1521	052-723-2254
副委員長	競 技 審 判 総 務 強 化	雨宮建次郎	関 東	☎153-0041 東京都目黒区駒場1-35-32	日工大付属東京工業高	03-3467-2130	03-3467-2245
		水上 英彦	東 海	☎416-0918 静岡県富士市平垣町1-1	富 士 見 高	0545-61-0250	0545-63-5040
常任委員	競 技 員	小幡 正徳	北海道	☎005-0841 北海道札幌市南区石山1条2丁目15-1	札 幌 啓 北 商 業 高	011-591-2021	011-591-2023
	審 判 員	日野 正晴	東 北	☎997-0017 山形県鶴岡市大字大宝寺字日本国410	鶴 岡 中 央 高	0235-25-5724	0235-25-5734
	強 化 員	上原喜一郎	関 東	☎174-0063 東京都板橋区前野町5-14-1	淑 徳 高	03-3969-7411	03-3558-7992
	競 技 員	山首 一恵	北信越	☎920-3121 石川県金沢市大場町東590	金 沢 向 陽 高 校	076-258-2355	076-258-3592
	総 務 員 長	佐幸 修	近 畿	☎545-0002 大阪府大阪市阿倍野区天王寺南2-8-19	大 阪 女 子 高	06-6719-2801	06-6714-0045
	強 化 員 長	金川 真二	中 国	☎731-0501 広島県高田郡吉田町吉田719-3	吉 田 高	0826-42-0031	0826-42-0207
	競 技 員 長	住友 和雄	四 国	☎770-0864 徳島県徳島市大和町2-2-15	徳 島 東 工 業 高	0886-53-3274	0886-53-3296
	審 判 員 長	長野 浩	九 州	☎861-4106 熊本県熊本市南高江町7-3-1	熊本フェリス学院高	096-357-7151	096-358-3044
	競 技 員	津田 博司	岐 阜	☎506-0059 岐阜県高山市下林町353	高 山 西 高	0577-32-2590	0577-33-9911
	競 技 員	長野 浩	兼 任	上記と同じ			
事 務 局	局 長	宮崎 利帳	関 東	☎330-8567 埼玉県大宮市堀之内1-615	大 宮 開 成 高	048-641-7161	048-647-8881
	局 員	松宮 博	関 東	☎344-0037 埼玉県春日部市上大増新田213	春 日 部 共 栄 高	048-737-7611	048-737-8093
	局 員	青木 昭	関 東	☎322-0002 栃木県鹿沼市千渡2050	鹿 沼 東 高	0289-62-7051	0289-64-7471
	局 員	小黑 顕	近 畿	☎654-0007 兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1	滝 川 高	078-732-1625	078-732-7391
願 問		小笠原朋憲	☎114-0024 東京都北区西ヶ原3-10-5		元 専 門 部 長	03-3467-2130	
		里見 達人	☎174-0063 東京都板橋区前野町5-14-1		元 専 門 部 長	03-3969-7411	
		清本 修	☎731-0305 広島県高田郡八千代町上根827-2		元 専 門 委 員 長	0826-52-3606	
		越田 稜	☎171-0031 東京都豊島区目白1-5-1		元 専 門 副 部 長	03-3986-0221	
		鶴飼 泰勇	☎466-0051 名古屋市昭和区御器所3-35-18		元 専 門 副 部 長	052-721-1521	
		藪内 徹	☎526-0021 滋賀県長浜市八幡中山町1079		元 専 門 委 員 長	0749-62-4632	
		桑ヶ谷 森男	☎184-0011 東京都小金井市東町1-1-1		元 専 門 副 部 長	0422-33-3401	
監 事		若林 武正	関 東	☎235-0021 横浜市中区磯子区岡村2-4-1	横 浜 学 園 高	045-751-6941	045-761-7965
		神谷 育孝	近 畿	☎602-0000 京都市上京区今出川通寺町西入	同 志 社 女 子 高	075-251-4329	075-251-4308

ブロック役員名簿

地区	役職名	氏名	勤務校	電話番号	FAX番号	住所
北海道	専門委員長	小幡 正徳	札幌啓北高校	011-591-2021	011-591-2023	札幌市身南区石山1条2-15-1
	競技委員長	小幡 正徳	札幌啓北高校	"	"	"
	審判委員長	土田 正人	室蘭清水丘高	0143-23-1221	0143-23-1746	室蘭市増市町2丁目6-16
	強化委員長	鈴木 隆行	旭川北高校	0166-51-4620	0166-51-2818	旭川市花咲町3丁目
	総務委員長	小幡 正徳	札幌啓北商業高校	011-591-2021	011-591-2023	札幌市南区石山1条2-15-1
東北	専門委員長	日野 正晴	鶴岡中央高校	0235-25-5724	0235-25-5734	鶴岡市大字大宝寺字日本国410
	競技委員長	嶋守 英敏	七戸高校	0176-62-4111	0176-62-4112	上北郡七戸町字館野47-31
	審判委員長	渡邊 正仁	あさか開成高	024-932-1714	024-932-4147	郡山市桃見台15-1
	強化委員長	佐藤 邦明	盛岡工業高校	0196-38-3141	0196-38-8134	盛岡市羽場18-11-1
	総務委員長	黒田 洋人	米谷工業高校	0220-42-2170	0220-42-2170	登米郡東和町米谷古館88
関東	専門委員長	若林 武正	横浜学園高校	045-751-6941	045-761-7956	横浜市磯子区岡村2-4-1
	競技委員長	西尾 顕	京葉高校	0436-22-2196	0436-25-1368	市原市島野222
	審判委員長	吉成 謙	甲府第一高校	0552-53-3525	0552-53-3527	甲府市美咲2-13-44
	強化委員長	葉山 直	三浦高校	0468-52-0284	0468-52-6980	横須賀市衣笠栄町3-80
		池田 幸一	横浜高校	045-781-3396	045-785-1541	横浜市金沢区能美台通46-1
	総務委員長	松宮 博	春日部共栄	048-737-7611	048-737-8093	春日部市上増新田213
北信越	専門委員長	山首 一恵	金沢向陽高校	076-258-2355	076-258-3592	金沢市大場町東590
	競技委員長	坂井 公史	新潟産業大学付属高校	0257-24-6644	0257-24-0386	柏崎市大字安田2510-2
	審判委員長	瀬戸 文哉	高岡龍谷高校	0766-22-5141	0766-25-8149	高岡市古定塚4-1
	強化委員長	横山 幹夫	丹南高校	0778-62-2112	0778-62-2102	鯖江市熊田町10-7
	総務委員長	浦田 照行	泊高校	0765-82-1191	0765-82-1192	下新川郡朝日町道下603
東海	専門委員長	水上 英彦	富士見高校	0545-61-0250	0545-63-5040	富士市平垣町1-1
	競技委員長	津田 博司	高山西高校	0577-32-2590	0577-33-9911	高山市下林町353番地
	審判委員長	竹内 信智	東海高校	052-936-5112	052-936-9744	名古屋市中区筒井1-2-35
	強化委員長	新海 輝夫	三河高校	0564-48-5211	0564-48-5300	岡崎市岡町原山12-10
	総務委員長	加藤 多	三重高校	0598-29-2959	0598-29-6807	松坂市久保町梅村3番地
近畿	専門委員長	佐幸 修	大阪女子高校	06-6719-2801	06-6714-0045	大阪市阿倍野区天王寺南2-8-19
	競技委員長	川島 通生	府立工業高校	0773-27-5161	0773-27-5162	京都市福知山市大字石原小字上野45
	審判委員長	上原 朋之	奈良学園高校	0743-54-0351	0743-54-0335	奈良県大和郡山市山田町430
	強化委員長	五百蔵政雄	甲南女子高校	078-411-2531	078-411-2535	神戸市東灘区森北5-6-1
		立入 彰修	草津東高校	0775-64-4681	0775-62-1601	滋賀県草津市西渋川2-8-65
	総務委員長	小黒 顕	滝川高校	078-732-1625	078-732-7391	兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1
中国	専門委員長	金川 真二	吉田高校	0826-42-0031	0826-42-0207	広島県高田郡吉田町吉田719-3
	競技委員長	山根 俊一	倉吉農業高校	0858-28-1341	0858-28-1342	倉吉市大谷166
	審判委員長	豊福 浩	岡山理科大附属笹ヶ瀬校舎	086-252-2922	086-255-9859	岡山市横井上1002-2
	強化委員長	竹田 勝重	瀬戸田高校	08452-7-0054	08452-7-0068	豊田郡瀬戸田町名荷1110-2
	総務委員長	山本 仁士	華陵高校	0833-44-1285	0833-41-5494	下松市大字末武上217-2
四国	専門委員長	住友 和雄	徳島東工業高校	0886-53-3274	0886-53-3296	徳島市大和町2丁目2-15
	競技委員長	小野 秀典	観音寺第一高校	0875-25-4155	0875-25-4145	観音寺市観音寺町甲648-1
	審判委員長	吉良 洋平	高松西高校	0878-82-6411	0878-82-6413	高松市鬼無町山口257-1
	強化委員長	本田 廣司	高松東高校	0878-47-6221	0875-25-6223	高松市前田東町690-1
	総務委員長	千田奈津代	徳島工業高校	0886-31-4185	0886-31-1110	徳島市北矢三町2丁目1-1
九州	専門委員長	長野 浩	フェリス女学院	096-357-7151	096-358-3044	熊本市南高江2718
	競技委員長	田中 伸周	厳木高校	0955-63-2535	0955-51-5021	佐賀県東松浦郡厳木町下厳木727
	審判委員長	堤 幸祐	別府女子短大付属高校	0977-66-0224	0977-67-8255	別府市大字野田78
	強化委員長	北原 茂	東海第二高	096-382-1146	096-385-2161	熊本市渡鹿9丁目1-1
	総務委員長	島袋 盛範	中部商業高校	098-898-4888	098-898-4808	宜野湾市我如古2丁目2-1

専門部 部長名簿

	都道府県	氏 名	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
1	北海道	斉 藤 睦 夫	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2	青 森	濱 館 有 美	02H01	県立 七 戸 高	039-2516	上北郡七戸町字館野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112
3	岩 手	小 山 常 光	03H03	県立 住 田 高	029-2311	気仙郡住田町笹田米字川口12の1	0192-46-3141	0196-46-3654
4	宮 城	鈴 木 鍊 二 郎	04H04	米 谷 工 業 高	987-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
5	秋 田							
6	山 形	中 道 邦 彦	06H08	県立 鶴岡中央高	997-0017	鶴岡市大字大宝寺字日本国410	0235-25-5724	0235-25-5734
7	福 島	日下部 健 一	07H01	県立 田 村 高	963-7763	田村郡三春町字持合畑135番地	0247-62-2185	0247-62-7785
8	茨 城	海 老 根 秀	08H01	私立 水 城	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	0292-47-6509	029-248-7252
9	栃 木	人 見 宏		県立 馬 頭 高	329-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
10	群 馬	小 倉 帝 一	10H06	県立 館林女子高	374-0019	館林市尾曳町6番1号	0276-72-0139	0276-72-7112
11	埼 玉	倉 橋 政 道		県立 伊奈学園総合高	362-0802	北足立郡伊奈町羽貫1300-1	048-728-2510	048-780-1003
12	千 葉	小 澤 勝 洋		千 葉 商 業 高	260-0044	中央区松波2-22-48	043-251-6335	
13	東 京	服 部 豊	13H29	文京女子高	113-8667	文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301	03-3946-7294
14	神奈川	大久保 武	14H14	県立 永 谷 高	233-0016	横浜市港南区下永谷町1-28-1	045-825-2126	045-825-3605
15	山 梨	奥 石 順 一	15H01	県立 甲府第一高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
16	新 潟	植 木 啓 次	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
17	長 野	浦 澤 規 裕	17H01	県立 篠ノ井高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161-2	0262-92-0066	026-292-9136
18	富 山	込 尾 和 一	18H02	県立 魚津工業高	937-0001	魚津市浜経田3338	0765-22-2577	0765-22-2578
19	石 川	山 本 善 昭	19H01	県立 柳田農業高	928-0331	鳳至郡柳田村字柳田イ部3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
20	福 井	前 田 正 紀	20H01	県立 丹 南 高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21	静 岡	亀 井 道 夫	21H02	富 士 見 高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22	愛 知	吉 田 悠 記	22H01	愛 知 高	464-8520	名古屋市中千種区光ヶ丘2-11-41	052-721-1521	052-723-2254
23	三 重	伊 藤 康 明	23H04	県立 四日市四郷高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
24	岐 阜	田 中 恵 順	24H03	県立 大 垣 西 高	503-8520	大垣市中曾根町字大畔147番地1	0584-91-5611	0584-91-9967
25	滋 賀	森 田 定 雄	25H11	県立 北 大 津 高	520-0246	大津市仰木の里1丁目23-1	0775-73-5881	0775-73-7076
26	京 都	南 田 昌 誼	26H02	府立 府立工業高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27	大 阪	池 宮 陽 一	27H06	市立 岸和田産業高	596-0045	岸和田市別所町541	0724-22-4861	0724-22-6111
28	兵 庫	井 野 辰 男	28H03	甲 南 高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
29	奈 良	吉 岡 博	29H01	県立 奈 良 高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30	和歌山	和歌山アーチェリー						
31	鳥 取	井 上 明 男	31H02	県立 倉吉農業高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32	島 根	岡 本 修 治	32H01	県立 松 江 東 高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33	岡 山	小 林 義 明	33H02	岡山県共生高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
34	広 島	福 川 孝 之	34H14	県立 可 部 高	731-0221	広島市安佐北区可部3丁目15-26	082-814-2032	082-814-2140
35	山 口	藤 重 豊	35H01	県立 久 我 高	742-2301	大島郡久我町第4851-2	08207-2-0024	08207-2-0096
36	香 川	銭 谷 慎 人	36H01	県立 高 松 西 高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
37	徳 島	鎌 田 毅		県立 阿 波 農 業 高	771-1504	板野郡土成町大字成当字尾瀬515	0886-95-3031	0886-95-2925
38	愛 媛	愛媛県アーチェリー		愛媛県アーチェリー協会	791-0242	松山市北梅本町940 森貞浩方	089-975-1447	
39	高 知	高知アーチェリー		山崎 和 郎 方	780-0984	高知県高知市西久万351-1	0888-24-0562	
40	福 岡	園 靖 則	40H01	県立 柏 陵 高	811-1353	福岡市南区柏原4丁目47番1号	092-566-3232	092-565-2109
41	佐 賀	山 口 保 義	41H01	県立 高 志 館 高	840-0201	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	0952-51-2008
42	長 崎	鶴 谷 昌 弘	42H01	県立 大 村 工 業 高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3773
43	熊 本	平 川 勇	43H04	私立 熊本フェリス女	861-4106	熊本市南高江町7丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044
44	大 分	谷 川 一 郎	44H01	別府女子短期大学付属高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45	宮 崎	野 村 光 秋		宮崎アーチェリー協会	880-0046	宮崎市平和が丘北町32-11	0985-26-3215	
46	鹿 児 島	横 山 正 治	46H02	県立 鹿 児 島 工 業 高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47	沖 縄	新 里 勝 谷	47H03	県立 中 部 商 業 高	901-2214	宜野湾市我如古2-2-1	098-898-4888	098-898-4808

専門部 委員名簿

	都道府県	氏 名	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
1	北海道	小 幡 正 徳	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2	青 森	嶋 守 英 敏	02H14	県立 七 戸 高	039-2516	上北郡七戸町字館野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112
3	岩 手	佐 藤 邦 明	03H01	県立 盛岡工業高	020-0841	盛岡市羽場18-11-1	0196-38-3141	0196-38-8134
4	宮 城	黒 田 洋 人	04H04	米 谷 工 業 高	987-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
5	秋 田	佐 藤 貞 子		県立 鳳 鳴 高	017-0081	秋田県大館氏字金坂後6番	0186-42-0002	0186-49-9000
6	山 形	日 野 正 晴	06H08	県立 鶴岡中央高	997-0017	鶴岡市大字大宝寺字日本国410	0235-25-5723	0235-57-5733
7	福 島	渡 邊 正 仁		あさか開成高	963-8018	郡山市桃見台15-1	024-932-1714	024-932-4147
8	茨 城	奥 倉 裕	08H01	私立 水 城	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-6509	029-248-7252
9	栃 木	青 木 昭		県立 鹿 沼 東 校	322-0002	鹿沼市千渡2050	0289-62-7051	0289-65-7471
10	群 馬	武 倫 夫	10H06	県立 館 林 女 子 高	374-0019	館林市尾曳町6番1号	0276-72-0139	0276-72-7112
11	埼 玉	稲 田 忍		県立 伊奈学園総合高	362-0802	北足立郡伊奈町羽貫1300-1	048-728-2510	048-729-1003
12	千 葉	西 尾 顕	12H01	県立 京 葉 高	290-0034	市原市島野222	0436-22-2196	0436-25-1368
13	東 京	渡 辺 忠 雄	13H05	江大附属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
14	神奈川	若 林 武 正	14H13	横浜学園高	235-0021	横浜市新子区岡村2丁目4番1号	045-751-6941	045-761-7956
15	山 梨	吉 成 謙	15H01	県立 甲府第一高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	055-253-3525	055-253-3527
16	新 潟	坂 井 公 史	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
17	長 野	宮 坂 平	17H01	県立 篠 ノ 井 高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番-2	026-292-0066	026-292-9136
18	富 山	浦 田 照 行	18H06	県立 泊 高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
19	石 川	山 首 一 恵	19H02	県立 金 沢 向 陽 高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
20	福 井	横 山 幹 夫	20H01	県立 丹 南 高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21	静 岡	水 上 英 彦	21H02	富 士 見 高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22	愛 知	萩 原 茂 樹	22H03	弥 富 高	498-0048	海部郡弥富町稲吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
23	三 重	加 藤 多	23H01	三 重 高	515-8533	松阪市久保町1232番地	0598-29-2959	0598-29-6944
24	岐 阜	津 田 博 司	24H02	高 山 西 高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
25	滋 賀	藤 井 良 明	25H03	県立 栗 東 高	520-3016	栗太郡栗東町小野618	0775-53-3350	0775-54-1537
26	京 都	川 島 通 生	26H08	府立 工 業 高	620-0804	京都市福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27	大 阪	佐 幸 修	27H04	大 阪 女 子 高	545-0002	大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8-19	06-6719-2801	06-6714-0045
28	兵 庫	安 福 朗	28H07	松 陰 高	657-0805	神戸市灘区青谷3丁目4番47号	078-861-1105	078-861-1887
29	奈 良	中 谷 勸	29H01	県立 奈 良 高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30	和歌山	清 水 秀 美	30H02	田 辺 商 業 高	646-0023	田辺市文里二丁目33-12	0739-22-2550	0739-22-2558
31	鳥 取	山 根 俊 一	31H02	県立 倉 吉 農 業 高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32	島 根	小 林 三 高	32H01	県立 松 江 東 高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33	岡 山	後 藤 浩	33H02	岡山県共生高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
34	広 島	金 川 真 二	34H14	県立 可 部 高	731-0221	広島市安佐北区可部3丁目15-26	082-814-2032	082-814-2140
35	山 口	山 本 仁 士	35H07	県立 華 陵 高	744-0024	下松市末武上屋称下217-2	0833-44-1285	0833-41-5494
36	香 川	吉 良 洋 平	36H01	県立 高 松 西 高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
37	徳 島	住 友 和 雄	37H03	県立 徳島東工業高	770-0864	徳島市大和町2丁目2-15	088-653-3274	088-653-3296
38	愛 媛	愛媛県アーチェリー協		森 貞 浩 方	791-0242	松山市北梅本町940	089-975-1447	
39	高 知	高知県アーチェリー協		山 崎 和 郎 方	780-0984	高知市西久万351-1	0888-24-0562	
40	福 岡	池 田 一 誠	40H01	県立 柏 陵 高	811-1353	福岡市南区柏原4丁目47番1号	092-566-3232	092-565-2109
41	佐 賀	田 中 伸 周	41H02	県立 厳 木 高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
42	長 崎	嶋 本 芳 久	42H01	県立 大 村 工 業 高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3773
43	熊 本	長 野 浩	43H04	私立 熊本フェリス女	861-4106	熊本市南高江町7丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044
44	大 分	堤 幸 祐	44H01	別府女子短期大学付属高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45	宮 崎	野 村 光 秋		宮崎アーチェリー協会	880-0046	宮崎市平和が丘北町32-11	0985-26-3215	
46	鹿 児 島	久 保 博 隆	46H02	県立 鹿 児 島 工 業 高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47	沖 縄	島 袋 盛 範	47H03	県立 中 部 商 業 高	901-2214	宜野湾市我如古2-2-1	098-898-4888	098-898-4808

学校登録一覧表

(太字都道県名は、高体連加盟)

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
北海道 37校	01H01	道立 札幌月寒高	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
	01H03	道立 小樽潮陵高	047	小樽市潮見台2丁目1番1号	0134-22-0754	0134-22-5954
	01H04	函館ラサール高	041-8765	函館市日吉町1丁目12番1号	0138-52-0365	0138-54-0365
	01H05	道立 室蘭清水丘高	051-0034	室蘭市増市町2丁目	0143-23-1221	0143-23-1746
	01H06	道立 登別南高	059	登別市青葉町42番地1	0143-85-8586	0143-85-8586
	01H07	道立 旭川南高	071-01	旭川市西神楽4線6号	0166-65-8770	0166-65-8772
	01H08	道立 清水高	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	01566-2-2157	01566-2-2097
	01H09	道立 帯広三条高	080-2473	帯広市西23条2丁目12番地	0155-37-5501	0155-37-5503
	01H10	道立 帯広工業高	080-0833	帯広市南町南8線西24-1	0155-48-5650	0155-48-2680
	01H11	道立 幕別高	089-0615	中川郡幕別町南町81番地	0155-54-2977	0155-54-2159
	01H12	道立 札幌西高	064	札幌市中央区宮ノ森4条8丁目1番地	011-611-4401	011-611-4403
	01H13	道立 札幌啓成高	004-0004	札幌市厚別区厚別東4条8丁目6-1	011-898-2311	011-898-2313
	01H14	道立 札幌開成高	065-8558	札幌市東区北22条東21丁目	011-781-8171	011-781-5629
	01H15	道立 旭川北高	070-0901	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	0166-51-2818
	01H16	道立 旭川工業高	078-8306	旭川市西神楽3線5号	0166-65-4115	0166-65-4127
	01H17	旭川実業高	071	旭川市末広8条1丁目	0166-51-1246	0166-51-9515
	01H18	鹿追高	081-02	阿東郡鹿追町西町1-8	01566-6-3011	01566-6-3012
	01H19	紋別北高	094	紋別市落石町1丁目3番18号	01582-4-5285	01582-4-5285
	01H20	道立 紋別南高	094	紋別市南が丘町6丁目3番47号	0152-3-3068	01582-3-3974
	01H21	北海道室蘭東高	050	室蘭市高砂町4丁目35-1	0143-44-3312	0143-44-4783
	01H22	東海大学第四高	005	札幌市南区南沢517-1-1	011-571-5175	
	01H23	道立 帯広柏高	080	帯広市東5条南2丁目	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H24	道立 丘珠高	065	札幌市東区北丘珠1条2-589-1	011-782-2911	011-782-8370
	01H25	私立 札幌第一高	062	札幌市豊平区月寒西1条9丁目	011-851-9361	011-856-5151
	01H26	芽室高	082	河西郡芽室町東芽室南2線33	0155-62-2625	0155-62-2624
	01H27	私立 札幌光星高	065	札幌市東区北13条東9丁目16番	011-711-7161	011-711-7330
	01H28	道立 追分高	059-19	勇払郡部分町本町7-8	01452-5-3657	01452-5-2555
	01H29	道立 音更高	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H30	道立 音更高定	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H31	道立 帯広柏葉高	082	帯広市東5条南2丁目1	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H32	道立 札幌光星高	065	札幌市東区13条9丁目	011-711-7161	011-711-7330
	01H33	道立 札幌新陽高	005	札幌市南区澄川5条7丁目1番1号	011-821-6161	011-813-4009
	01H34	道立 静内高	056-0023	静内郡静内町ときわ町1-1-1	01464-2-1075	01464-2-1077
	01H35	道立 北海道白老東高	059-0903	白老町日の出町5丁目17-3	0144-82-4762	0144-82-4280
	01H36	市立 札幌平岸高	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目	011-812-2010	011-812-2049
	01H37	県立 旭川大学高	079-8505	旭川市氷山7条16丁目	0166-48-1221	0166-48-0740
青森県 15校	02H01	三本木農業高	034-8578	十和田市相坂字高清水78	0176-23-5341	0176-23-5341
	02H02	県立 藤崎園芸高	038-3802	藤崎町藤崎字下袋7の10	0172-75-3332	0172-75-6470
	02H03	八戸工業大学第二高	031-0814	八戸市大字妙字中居林	0178-25-4311	0178-25-0568
	02H04	県立 むつ工業高	039-51	むつ市文京町22の7	0175-24-2164	0175-29-2893
	02H05	八戸工業大学第一高	031-0822	八戸市白銀町右岩瀬通7の10	0178-33-5121	0178-34-3942
	02H06	県立 名久井農業高	039-0502	三戸郡名川町下名久井字下諏訪平1番地	0178-76-2215	0178-76-2215
	02H07	県立 青森西高	038-0042	青森市新城市平岡226の20	0177-88-0372	0177-88-8083
	02H08	県立 青森東高	039-0921	青森市大字原別字遠山13番地	0177-36-2440	0177-36-3091

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	02H09	青 森 山 田 高	030-8520	青森市浜田字板橋23	0177-39-2001	0177-39-1597
	02H10	県立 青 森 中 央 高	030-0842	青森市大字浦町字奥野428番地	0177-39-5135	0177-29-3488
	02H11	県立 五 所 川 原 農 林 高	037	五所川原市大字一野坪字朝日田2-37	0173-37-2121	
	02H12	県立 八 戸 南 高	031	八戸市大字鮫町小舟渡平2-291	0178-34-6001	
	02H13	県立 五 戸 高	039-1569	三戸郡五戸町字根岸6番地	0178-62-2828	0178-62-7069
	02H14	県立 七 戸 高	039-2516	上北郡七戸町字館野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112
岩手県 4校	02H16	県立 柏 木 農 業	036		0172-44-3015	0172
	03H01	県立 盛 岡 工 業 高	020-0841	盛岡市羽場18-11-1	0196-38-3141	0196-38-8134
	03H02	盛岡白百合学園高	020-0004	盛岡市山岸4丁目29番16号	019-661-6330	019-661-9923
	03H03	県立 住 田 高	029-2311	気仙郡住田町世田米字川口12の1	0192-46-3141	0196-46-3654
	03H04	私立 花 巻 東 高	025-0066	花巻市松園町55番地1	0198-24-2825	0198-41-1136
宮城県 5校	03H05					
	04H01	市立 仙 台 工 業 高	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3-1	022-237-5341	022-283-6478
	04H02	東 陵 高	988-0812	気仙沼市字大峠山1番1号	0226-23-3100	0226-23-3107
	04H03	宮 城 工 業 高 専	981-1239	名取市愛島塩手字野田48	022-381-0266	022-381-0267
	04H04	米 谷 工 業 高	980-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
秋田県 1校	04H05	県立 農 業 高	981-1201	名取市下増田字広浦20-1	022-384-2511	022-384-2513
	05H01	県立 大 館 東 高	017	大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地	0186-48-6007	
山形県 7校	05H02					
	06H01					
	06H02	天 真 学 園 高	998-0031	酒田市浜田1丁目3-47	0234-22-4733	0234-22-4734
	06H03	県立 鶴 岡 南 高	997-0037	鶴岡市若葉町26-31	0235-22-0061	0235-24-5941
	06H04	県立 鶴 岡 北 高	997-0037	鶴岡市若葉町16-5	0235-22-2262	0235-24-6101
	06H05	県立 鶴 岡 家 政 高	997	鶴岡市新形町16-20	0235-22-1200	0235-22-5904
	06H06	県立 鶴 岡 工 業 高	997-0036	鶴岡市家中新町8-1	0235-22-5505	0235-25-4209
	06H07	県立 山 添 高	997-03	東田川郡櫛引町大字上山添字文栄38番地	0235-57-2100	0235-57-2101
	06H08	県立 鶴 岡 中 央 高	997-0017	鶴岡市大字大宝寺字日本国410	0235-25-5723	0235-25-5733
福島県 5校	06H09					
	07H01	県立 田 村 高	963-7763	田村郡三春町字持合畑135番地	0247-62-2185	0247-62-7785
	07H02	県立 福 島 高	960-8002	福島市森合町5番72号	024-535-2391	024-535-2392
	07H03	県立 福 島 南 高	960-8141	福島市渡利字七社宮17	024-523-4740	024-521-6400
	07H04	県立 須 賀 川 桐 陽 高	962	須賀川市陣場町128	0248-75-2151	0248-72-7979
茨城県 1校	07H05	県立 岩 瀬 農 業 高	969-04	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字桜町207	0248-62-3145	
	08H01	私立 水 城	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-6509	029-247-7252
栃木県 3校	08H02					
	09H01	県立 馬 頭 高	329-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
	09H02	県立 黒 羽 高	324	那須郡黒羽町前田780	0287-54-0179	0287-54-4179
群馬県 12校	09H03	県立 烏 山 高	321	那須郡烏山町中央3丁目9番8号	0287-83-2075	0287-83-0145
	10H01	県立 沼 田 女 子 高	378-0043	沼田市東倉内町753-3	0278-22-4495	0278-22-3249
	11H02	県立 藤 岡 北 高	375	藤岡市篠塚90	0274-22-2308	
	10H03	県立 沼 田 高	378-0054	沼田市西原新町1510番地	0278-23-1313	0278-22-4799
	10H04	県立 太 田 高	373-0033	太田市西本町12の1	0276-31-7181	0276-31-9161
	10H05	県立 安 中 実 業 高	379-0116	安中市安中1-2-8	027-381-0666	0273-82-7207
	10H06	県立 館 林 女 子 高	374-0019	館林市尾曳町6番1号	0276-72-0139	0276-72-7112
	10H07	県立 桐 生 西 高	376-0011	桐生市相生町3丁目551-1	0277-52-2455	0277-54-9763
	10H08	高崎商科短期大学附属高	370-0803	高崎市大橋町237番地の1	0273-22-2827	0273-22-7591
	10H09	私立 新 島 高	379	安中市安中3702	0273-81-0240	0273-81-0630
	10H10	県立 高 崎 東 高	370	高崎市元島名町1510	0273-52-1251	0273-53-0994

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
	10H11	私立 前 橋 育 英 高	371-0832	前橋市朝日ヶ丘町13	0272-51-7087	0272-52-9419
	10H12	市立 前 橋 高	371-0051	前橋市上細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
埼玉県 11校	11H01	私立 大 宮 開 成 高	330-8567	大宮市堀之内1-615	048-641-7161	048-647-8881
	11H02	県立 豊 岡 高	358-0003	入間市豊岡1丁目15番1号	042-962-5216	042-960-1053
	11H03	県立 行 田 高	361	行田市大字長野1320番地	0485-56-6291	0485-50-1058
	11H04	県立 所 沢 中 央 高	359-0042	所沢市並木8丁目2番	042-995-6088	042-991-1006
	11H05	春日部共栄高	344-0037	春日部市上大増新田213	048-737-7611	048-737-8093
	11H06	花 咲 徳 栄 高	347-0032	加須市花崎江橋519	0480-65-7181	0480-65-4893
	11H07	県立 上 尾 橘 高	362-0059	上尾市大字平方2187番地	048-725-3725	048-780-1010
	11H08	県立 新 座 高	352	新座市池田1-1-2	0484-79-5110	
	11H09	県立 日 高 高	350-1203	入間郡日高町旭ヶ丘806	0429-89-7920	0429-85-4412
	11H10	県立 北 本 高	364-0003	北本市古市場1丁目152番	0485-92-2200	0485-90-1009
	11H11	私立 栄 東 高	330-0021	大宮市砂町2丁目77番地	048-651-4050	048-652-9435
千葉県 13校	12H01	県立 京 葉 高	290-0034	市原市島野222	0436-22-2196	0436-25-1368
	12H02	千葉英和高	276-0028	八千代市村上709-1	047-484-5141	047-487-5466
	12H03	県立 津 田 沼 高	275-0025	習志野市秋津5-9-1	047-451-1177	047-454-3242
	12H04	県立 磯 辺 高	261-0012	千葉市美浜区磯辺2丁目7番1号	043-277-2211	043-278-2071
	12H05	県立 松 戸 矢 切 高	271-0095	松戸市中矢切54番地	047-368-4741	047-368-4396
	12H06	県立 姉 崎 高	290-0111	市原市姉崎2632番地	0436-62-0601	0436-61-7679
	12H07	県立 流 山 中 央 高	270-0122	流山市大畔275-5	0471-54-3551	0471-55-6991
	12H08	県立 生 浜 高	260-0823	千葉市塩田町372	043-266-4591	043-264-8636
	12H09	県立 船 橋 高	273-0002	船橋市東船橋6丁目1番1号	047-422-2188	047-426-0422
	12H10	黎 明 高	298-1115	八街市八街ほ625	043-443-3221	043-443-3443
	12H11	拓殖大学紅陵高	292-8568	木更津市桜井1403番地	0438-37-2511	0438-36-7286
	12H12	県立 泉 高	265-0061	千葉市若葉区高根町875-1	043-228-2551	043-228-0240
	12H13	志 学 館 高	292-8568	木更津市真舟3丁目29番1号	0438-37-3131	0438-37-3133
	12H14					
東京都 33校	13H01	東 京 学 園 高	153	目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641	
	13H02	都立 四 谷 商 業 高	165	中野区上鷲宮5-11-1	03-3990-4226	03-3926-7523
	13H03	明治大学付属中野高	164-0003	中野区東中野3丁目3番4号	03-3362-8704	03-3368-3113
	13H04	駒 場 東 邦 高	154-0001	世田谷区池尻4-5-1	03-3466-8221	03-3466-8225
	13H05	日工大付属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
	13H06	玉 川 学 園 高	194-8610	町田市玉川学園6丁目1番1号	042-739-8533	042-739-8559
	13H07	都立 山 崎 高	195-0074	町田市山崎町字9号1453-1	042-792-2891	042-794-0440
	13H08	学 習 院 高 等 科	171-0031	豊島区目白1丁目5番1号	03-3986-0221	03-5992-1016
	13H09	麻 布 高	106-0046	港区元麻布2-3-29	03-3446-6541	03-3444-2337
	13H10	蜀 協 高	112-0014	文京区関口3-8-1	03-3943-3651	03-3943-9119
	13H11	慶応義塾女子高	108-0073	港区三田2丁目17番23号	03-3451-3618	03-3451-3642
	13H12	武 蔵 野 高	114-0024	北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151	03-5567-0487
	13H13	東海大学付属高輪台高	108	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
	13H14	早稲田大学高等学院	177-0044	練馬区上石神井3丁目31番1号	03-5991-4151	03-3928-4110
	13H15	城 北 高	174	豊島区目白5-23-5		03-3956-9779
	13H16	足 立 学 園 高	120	足立区千住旭町40-24	03-3888-5331	03-3888-6720

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
	13H17	淑 徳 高	174-8643	板橋区前野町5-14-1	03-3969-7411	03-3558-7992
	13H18	都立 大 山 高	173	板橋区小茂根5-18-1	03-3958-2121	03-3959-8591
	13H19	昭和第一学園高	190	立川市栄町2-45-8	0425-36-1611	0425-37-6880
	13H20	国際基督教大学高	184-8503	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
	13H21	都立 第 四 商 業 高	176-0021	練馬区貫井3-45-19	03-3990-4221	03-3926-7040
	13H22	日体桜華女子高	189	東村山市富士見町2-5-1	0423-91-4133	0423-92-6424
	13H23	明治学院東村山高	189-0024	東村山市富士見町1丁目12番3号	0423-91-2142	0423-91-5926
	13H24	都立 館 高	193-0944	八王子市館町1097番136	0426-63-3315	0426-62-9831
	13H25	大東文化学園高				
	13H26	藤 村 女 子 高				
	13H27	都立 野 津 田 高	194-01	町田市野津田町2000番	0427-34-2311	0427-34-9388
	13H28	都立 小 平 西 高	187	小平市小川町1-502-95	0423-45-1411	
	13H29	文 京 女 子 高	113-8667	文京区本駒込6-18-3	03-3964-5301	03-3946-7294
	13H30	私立 国 土 館	154-8553	世田谷区世田谷4-28-1	03-5481-3131	03-5481-3149
	13H31	千 歳 高	157-0063	世田谷区粕谷3丁目8-1	03-3300-5235	03-3300-2306
	13H32	都立 晴 海 総 合 高	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
	13H33	都立 松 が 谷 高	192-0354	八王子市松が谷1772	0426-76-1231	0426-75-1237
神奈川県 21校	14H01	横 浜 高	236-0053	横浜市金沢区能見台通46-1	045-781-3396	045-785-1541
	14H02	相模女子大学高	228	相模原市文京2-1-1	0427-42-1442	
	14H03	県立 横 浜 緑 ヶ 丘 高	231-0832	横浜市中区本牧緑ヶ丘37番地	045-621-8641	045-624-0765
	14H04	浅 野 高	221-0012	横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-3281	045-421-4080
	14H05	三 浦 高	238-0031	横須賀市衣笠栄町3丁目80番地	0468-52-0284	0468-52-6980
	14H06	市立 横 須 賀 高	238-0023	横須賀市森崎5丁目1番1号	0468-36-0413	0468-36-0481
	14H07	県立 東 金 沢 高	236-0051	横浜市金沢区富岡東2丁目6番1号	045-774-1188	045-776-2357
	14H08	県立 小 田 原 城 内 高	250-0013	小田原市南町1-6-34	0465-23-3251	0465-23-6142
	14H09	県立 湘南高通信制少年工学校	251-0021	横須賀市幸浜2-1	0468-56-1291	
	14H10	平 和 学 園 高	253	茅ヶ崎市富士見町5番2号	0467-87-0132	0467-86-7350
	14H11	東海大学附属相模高	228-8515	相模原市相南3-33-1	0427-42-1251	0427-42-1159
	14H12	慶 応 義 塾 高	223-0061	横浜市港北区日吉4丁目1番2号	044-563-1111	
	14H13	横 浜 学 園 高	235-0021	横浜市磯子区岡村2丁目4番1号	045-751-6941	045-761-7956
	14H14	県立 永 谷 高	233-0016	横浜市港南区下永谷町1-28-1	045-824-2126	045-825-3605
	14H15	市立 南 高	233	横浜市港南区東永谷町2丁目1番1号	045-822-1910	
	14H16	県立 上 矢 部 高	245	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	045-862-6347
	14H17	鎌倉女学院高	248	鎌倉市由比ヶ浜2-10-4	0467-25-2100	0467-25-1358
	14H18	県立 三 崎 水 産 高	240-0101	横須賀市長坂1-2-1	0468-56-3128	0468-57-6457
	14H19	県立 湯 河 原 高	259-0312	足柄下郡湯河原町吉浜1576-31	0465-63-1281	0465-62-0675
	14H20	県立 清 水 ヶ 丘 高	232-0007	横浜市南区清水ヶ丘41番	045-242-1926	045-253-6393
山梨県 9校	15H01	県立 甲 府 第 一 高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
	15H02	山 梨 英 和 高	400	甲府市愛宕町112	0552-52-6184	0522-51-7468
	15H03	甲 府 湯 田 高	400-0867	甲府市青沼3丁目10-1	0552-33-0127	0552-33-0129
	15H04	県立 農 林 高	400-01	中巨摩郡竜王町西八幡4533	0552-76-2611	
	15H05	県立 機 山 工 業 高	400	甲府市下飯田1丁目9番1号	0552-28-7281	
	15H06	私立 山 梨 学 院 付 属 高	400	甲府市酒折3丁目3-1	0552-37-1047	0552-35-7091
	15H07	県立 甲 府 西 高	400	甲府市下飯田4-1-1	0522-28-5161	0552-28-5161

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	15H08	県立 葦 崎 高		葦崎市若宮3丁目2-1	0551-22-2415	0551-22-2415
	15H09	県立 第 一 商 業 高	400	甲府市東光寺2丁目25-1	0552-35-2581	0552-35-2581
新潟県 7校	16H01	県立 長 岡 工 業 高	940-0084	長岡市幸町2丁目7番70号	0258-36-4510	0258-39-2054
	16H02	敬 和 学 園 高	950-3112	新潟市太夫浜325	025-259-2391	025-259-7281
	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
	16H04	県立 新 潟 中 央 高	951	新潟市学校町通り2番地5317-1	025-229-2191	
	16H05	新潟県個人登録協会				
	16H06	県立 燕 工 業 高	959-1244	燕市大字東太田1066	0256-63-6354	0256-66-1295
	16H07	県立 巻 工 業 高	953-0043	西蒲原郡巻町堀山新田51-1	0256-72-2049	0256-72-1718
長野県 4校	17H01	県立 篠 ノ 井 校	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	0262-92-0066	026-292-9136
	17H02	県立 長 野 南 高	381-2214	長野市稲里町田牧字大北236-2	0262-84-8850	026-291-1552
	17H03	県立 駒 ケ 根 工 業 高	399-4117	駒ケ根市赤穂14-2	0265-82-5251	0262-81-1253
	17H04	私立 上 田 西 高	386-0043	上田市下塩尻868	0268-22-0412	0268-26-2883
富山県 8校	18H01	高 岡 龍 谷 高	933-8517	高岡市古定塚4-1	0766-22-5141	0766-25-8149
	18H02	県立 魚 津 工 業 高	937-0001	魚津市浜経田3338	0765-22-2577	0765-22-2578
	18H03	新 川 高	937-0041	魚津市吉島1350	0765-24-2015	0765-24-2015
	18H04	県立 富 山 中 部 高	930-0097	富山市芝園町3丁目1-26	0764-41-3541	0764-41-3543
	18H05	県立 大 門 高	939-02	射水郡大門町二口1番地2	0766-52-5571	0766-52-5571
	18H06	県立 泊 高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
	18H07	県立 富 山 南 高	939	富山市布市98	0764-29-1822	0764-29-1799
	18H08	県立 桜 井 高	938	黒部市三日市1334	0765-52-0120	0765-52-1694
石川県 4校	19H01	県立 柳 田 農 業 高	928-0331	鳳至郡柳田村字柳田イ倍3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
	19H02	県立 金 沢 向 陽 高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
	19H03	県立 工 業 高	920	金沢市本多町2丁目3番6号	0762-61-7156	0762-65-5346
	19H04	県立 金 沢 桜 丘 高	920-0818	金沢市大樋町16番1号	076-252-1225	076-252-1643
	19H05					
福井県 4校	20H01	県立 丹 南 高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
	20H02	県立 金 津 高	910-0624	坂井郡金津町南金津33-1	0776-73-1255	0776-73-1254
	20H03	敦 賀 気 比 高	914	敦賀市杵見164-1	0770-24-2150	0770-24-2620
	20H04	県立 高 志 高	910-0854	福井市御幸2丁目25-8	0776-24-5175	0776-24-5177
	20H05					
	20H06					
静岡県 18校	21H01	県立 修 善 寺 工 業 高	410-2401	田方郡修善寺町牧之郷892番地	0558-72-3322	0558-72-1955
	21H02	富 士 見 高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
	21H03	県立 静 岡 商 業 高	420-0068	静岡市田町7丁目90番地	054-255-6241	054-255-9241
	21H04	県立 袋 井 高	437-0031	袋井市愛野2446-1	0538-42-0191	0538-43-0710
	21H05	県立 浜 松 工 業 高	433-8567	浜松市初生町1150	053-436-1101	053-437-9988
	21H06	県立 浜 松 商 業 高	432-8004	浜松市文丘町4番11号	053-471-3351	053-475-2109
	21H07	浜 松 学 芸 高	430-0905	浜松市下池川町34番3号	053-471-5336	053-475-2395
	21H08	興 誠 高	430-0907	浜松市高林1丁目17番2号	053-471-4136	053-471-4137
	21H09	県立 浜 松 北 高	432-8013	浜松市広沢1丁目30番1号	053-454-5548	053-456-3316
	21H10	県立 浜 松 湖 東 高	431-11	浜松市大人見町3600	053-485-0215	053-485-3947
	21H11	県立 三 ケ 日 高	431-1416	引佐郡三ヶ日町釣78-1	0535-25-0103	0535-25-0426
	21H12	県立 天 竜 林 業 高	431-3314	天竜市二俣町二俣601番地	0539-25-3139	0539-25-7422

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
	21H13	静岡県北高	420	静岡市瀬名3240	0542-61-5801	0542-62-5573
	21H14	県立静岡県東高	420	静岡市川合757番地	0542-61-6636	0542-63-5970
	21H15	県立清水工業高	424	清水市八坂東1丁目16-1	0543-66-5471	0543-66-5473
	21H16	私立三島高	411-0942	駿東郡長泉町土篤57-1	0559-88-1450	0559-88-1783
	21H17	県立島田工業高	427-0006	島田市阿知ヶ谷201	0547-37-4194	0547-37-1177
	21H18	私立東海大付属翔洋高	424-0902	清水市折戸3-20-1	0543-34-0726	0543-34-0827
愛知県 23校	22H01	愛知高	464-8520	名古屋市千種区光ヶ丘2丁目11番41号	052-721-1521	052-723-2254
	22H02	愛知工業大学名電高	464	名古屋市千種区若水3丁目2番12号	052-721-0311	052-711-4620
	22H03	弥富高	498-0048	海部郡弥富町稲吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
	22H04	愛知女子高	451	名古屋市西区新道1丁目23番15号	052-571-8422	052-561-0713
	22H05	東海女子高	468-0014	名古屋市天白区中平2丁目901番地	052-801-6222	052-807-7801
	22H06	東海高	461-0003	名古屋市東区筒井1-2-35	052-936-5112	052-936-5195
	22H07	東邦高	465-8516	名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地	052-782-1171	052-782-7151
	22H08	金城学院高	461	名古屋市東区白壁4-64	052-931-6236	
	22H09	県立安城東高	446	安城市北山崎町大土塚10	0566-74-1231	
	22H10	三河高	444-0005	岡崎市岡町字原山12-10	0564-48-5211	0564-48-5300
	22H11	桜丘高	440	豊橋市南牛川2丁目1番の11	0532-61-6421	0532-63-9278
	22H12	県立衣台高	471	豊田市太平町平山5番地	0565-33-1080	
	22H13	県立西尾東高	445	西尾市小島町大郷1-4	0563-56-1911	0563-54-6961
	22H14	県立岡崎東高	444-3524	岡崎市竜泉寺町字後山27番地	0564-52-8911	0564-55-9410
	22H15	名古屋工業高	466	名古屋市昭和区円上町22-38	052-871-2681	052-881-0761
	22H16	中京女子大学附属高	461	名古屋市東区大幸南2丁目1番10号	052-723-0851	052-723-1744
	22H17	市立向陽高	466	名古屋市昭和区広池町47番地	052-841-7138	052-853-2453
	22H18	県立豊橋南高	441	豊橋市南清水町元町450番地	0532-25-1476	0532-25-4887
	22H19	県立岡崎西高	444	岡崎市日名南町7番	0564-25-0751	0564-25-9201
	22H20	県立岡崎高	444-0864	岡崎市明大寺町伝場1	0564-51-0202	0564-55-9422
	22H21	県立岡崎北高	444	岡崎市石神17-1	0564-22-2536	0564-25-9231
	22H22	私立名古屋学院高	461	名古屋市東区砂田橋2-1-58	052-721-5271	052-711-6480
	22H23	私立滝高	483	江南市大字東野字神上47-1	0587-56-2127	0587-56-1732
三重県 4校	23H01	三重高	515-8533	松阪市久保町1232番地	0598-29-2959	0598-29-6944
	23H02	県立四日市南高	510	四日市市日永字岡山4917	0593-45-3177	0593-45-9549
	23H03		515	松阪市久保町梅村1番地	0598-29-4151	0598-29-6944
	23H04	県立四日市四郷高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
	23H05					
岐阜県 4校	24H01	聖マリア女学院高	501-2565	岐阜市福富201	0582-29-1102	0582-29-3029
	24H02	高山西高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
	24H03	県立大垣西高	503-8520	大垣市中曽根町字大畔147番地1	0584-91-5611	0584-91-9967
	24H04	専門部	506-0059	高山市林町353 高山西高内	0577-32-2590	0577-33-9911
滋賀県 12校	25H01	県立大津商業高	520-0037	大津市御陵町2-1	077-524-4284	077-526-1802
	25H02	県立大津高	520-0802	大津市馬場1丁目1番1号	077-523-0386	077-526-1772
	25H03	県立栗東高	520-3016	栗太郡栗東町小野618	077-553-3350	077-554-1537
	25H04	市立守山女子高	524-0041	守山市勝部町962番地	077-582-2019	077-583-2829
	25H05	県立甲南高	520-33	甲賀郡甲南町寺庄427	0748-86-4145	0748-86-4983
	25H06	県立八幡商業高	523-0895	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2072	0748-32-4052
	25H07	県立愛知高	529-13	愛知郡愛知川町102	0749-42-2150	0749-42-6172

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
	25H08	県立 伊 吹 高	521-0226	坂田郡山東町朝日302番地	0749-55-2350	0749-55-2778
	25H09	県立 長 浜 北 星 高	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370	0749-65-1344
	25H10	県立 虎 姫 高	529-0112	東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055	0749-73-2967
	25H11	県立 北 大 津 高	520-0246	大津市仰木の里1丁目23-1	075-573-5881	077-573-7076
	25H12	県立 草 津 東 高	525-0025	草津市西洪川2-8-65	075-564-4681	077-562-1601
	25H13					
京都府 9校	26H01	同志社高	606-8558	京都市左京区岩倉大鷲町89	075-781-7121	075-781-7124
	26H02	同志社女子高	602-0893	京都市上京区今出川通寺町西入ル	075-251-4305	075-251-4308
	26H03	福知山商業高	620	福知山市字堀水内	0773-22-6224	
	26H04	市立 洛 陽 工 業 高	601-8467	京都市南区唐橋大宮尻町22	075-691-3161	075-682-5668
	26H05	市立 紫 野 高	603	京都市北区紫野大徳寺町22	075-491-0221	075-492-0968
	26H06	府立 木 津 高	619-0214	相楽郡木津町字木津内田山34	0774-72-0031	0774-72-0032
	26H07	府立 菟 道 高	611-0011	宇治市五ヶ庄雲峰4-1	0774-33-1691	0774-33-1691
	26H08	府立 府 立 工 業 高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
大阪府 18校	26H09	府立 朱 雀 高	604	京都市中京区西ノ京武部町1	075-841-0127	075-841-0646
	27H01	府立 和 泉 工 業 高	594-0082	和泉市富秋町33	0725-41-1250	0725-45-8985
	27H02	大 阪 高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3719
	27H03	大阪工業大学高	535-0002	大阪市旭区大宮5丁目16番1号	06-6954-4487	06-6953-9497
	27H04	大 阪 女 子 高	545-0002	大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8-19	06-6719-2801	06-6714-0045
	27H05	関 西 大 倉 高	567-0052	茨木市室山2丁目14番1号	0726-43-6321	0726-43-8375
	27H06	市立 岸 和 田 産 業 高	596-0045	岸和田市別所町541	0724-22-4861	0724-22-6111
	27H07	府立 久 米 田 高	596-0822	岸和田市額原町	0724-43-6651	0724-43-0307
	27H08	此 花 学 院 高	544-0021	大阪府生野区勝山南2丁目6番38号	06-6716-0003	06-6716-0009
	27H09	帝 塚 山 学 院 高	599-8125	大阪府住吉区帝塚山中3丁目10番51号	06-6672-1151	06-6671-3479
	27H10	星 翔 高	566-0022	摂津市三島3丁目5番36号	06-6381-0220	06-6383-4822
	27H11	府立 西 野 田 工 業 高	553-0007	大阪市福島区大開2丁目17番62号	06-6461-0023	06-6461-3483
	27H12	初 芝 高	599-8114	堺市日置荘西町51	0722-85-0128	0722-86-8405
	27H13	桃 山 学 院 高	545-0011	大阪市阿倍野区昭和町3丁目1番64号	06-6621-1181	06-6629-6111
	27H14	府立 山 本 高	581-0831	八尾市山本町北1-1-44	0729-99-0552	0729-99-4374
	27H15	府立 工業高等専門学校	572-8572	寝屋川市幸町26番12号	0720-21-6401	0720-21-0134
	27H16	府立 岸 和 田 高	596-0073	岸和田市岸城町10-1	0724-22-3691	0724-32-5266
	27H17	池 島 高	579-8064	東大阪市池島町6-3-9	0729-87-3302	0729-82-3134
	27H18	府立 堺 東 高	690-0113	堺市晴美台1-1-2	0722-91-5510	0722-91-6097
兵庫県 17校	28H01	滝 川 高	654-0007	神戸市須磨区宝田町2丁目1-1	078-732-1625	078-732-7391
	28H02	須磨ノ浦女子高	654-0052	加古川市平岡町新在家2301	078-735-7111	078-735-7130
	28H03	甲 南 高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
	28H04	市立 琴 丘 高	670-0052	姫路市今宿668	0792-92-4925	0792-92-4927
	28H05	県立 星 陵 高	655-0038	神戸市垂水区星陵台4丁目3-2	078-707-6565	078-707-6589
	28H06	夙 川 学 院 高	662-0027	西宮市神園町2-20	0798-74-5061	0798-74-1596
	28H07	松 蔭 高	657-0805	神戸市灘区青谷3丁目4番47号	078-861-1105	078-861-1887
	28H08	甲 南 女 子 高	658-0001	神戸市東灘区森北5丁目6-1	078-411-2531	078-411-2535
	28H09	神戸山手女子高	650-0006	神戸市中央区諏訪山町6番1号	078-341-6050	078-341-1882
	28H10	県立 舞 子 高	655-0004	神戸市垂水区学が丘3丁目2番	078-783-5151	078-783-5152

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	28H11	県立 姫 路 東 高	670-0012	姫路市本町68	0792-85-1166	0792-85-1167
	28H12	県立 夢 野 台 高	653-0801	神戸市長田区房王寺町2丁目1	078-691-1546	078-691-1548
	28H13	須 磨 学 園 高	654-0009	神戸市須磨区板宿町3-15-14	078-732-1968	078-732-6129
	28H14	滝 川 第 二 高	651-2276	神戸市西区平野町下村字平瀬436-1	078-961-2381	078-961-4591
	28H15	県立 西 宮 甲 山 高	662-0004	西宮鷺林寺字剣谷10番地	0798-74-2460	0798-74-2461
	28H16	神 戸 星 城 高	654-0113	神戸市須磨区緑が丘1丁目12-1	078-741-1860	078-741-6304
	28H17	三 田 西 陵 高	669-13	三田市ゆりのき台3-4	0795-65-5287	0795-65-5289
	28H18					
奈良県 3校	29H01	県立 奈 良 高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
	29H02	天 理 高	632-8585	天理市柚之内町1260	07436-3-1515	07436-3-1368
	29H03	奈 良 学 園 高	639-1093	大和郡山市山田町430	07435-4-0351	07435-4-0335
	29H04					
和歌山県 3校	30H01	県立 貴 志 川 高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
	30H02	田 辺 商 業 高	646-0023	田辺市文里2丁目33-12	0739-22-2550	0739-22-2558
	30H03	県立 和 歌 山 高	649-6264	和歌山市新庄188	0734-77-3933	0734-77-4928
鳥取県 5校	31H01	米 子 北 高	683-0804	米子市米原523番地	0859-22-9371	0859-32-6838
	31H02	県立 倉 吉 農 業 高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
	31H03	県立 倉 吉 東 高	682-0812	倉吉市下田中町801番地	0858-22-5205	0858-22-5206
	31H04	県立 鳥 取 商 業 高	680-0941	鳥取市湖山町北2丁目401番地	0857-28-0156	0857-28-0157
	31H05	県立 鳥 取 東 高	680-0061	鳥取市立川町5丁目210	0857-22-8495	0857-22-8497
	31H06					
	31H07					
島根県 3校	32H01	県立 松 江 東 高	690-0823	松江市西川津町字宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3701
	32H02	県立 安 来 高	692	安来市佐久保町115	0854-22-2840	0854-22-3612
	32H03	県立 出 雲 工 業 高	693-0022	出雲市上塩治町420	0853-21-3131	0853-21-7543
岡山県 4校	33H01	岡山理大学附属高	700-0005	岡山市理大町1-1	086-252-2922	086-255-9859
	33H02	岡 山 県 共 生 高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
	33H03	高 梁 日 新 高	716	高梁市内山下150番地	0866-22-3466	
	33H04	県立 備 前 東 高	705-8511	備前市麻字郡1160	0869-67-0011	0869-67-0113
	33H05					
広島県 26校	34H01	尾 道 高	722-0022	尾道市栗原町1268-1	0848-23-2311	0848-24-2091
	34H02	国立 広島大学附属福山高	721-8551	福山市春日町吉田	0849-41-8350	0849-41-8356
	34H03	市立 呉 高	737-0003	呉市阿賀中央5丁目13番56号	0823-72-5577	0823-74-3501
	34H05	市立 呉 宮 原 高	737-0024	呉市宮原3丁目1番1号	0823-21-9306	0823-21-9308
	34H06	県立 海 田 高	736-0051	安芸郡海田町つくも町1番60号	082-822-3030	082-822-3800
	34H07	県立 加 計 高	731-35	山県郡加計町加計3780-1	08262-2-0488	08262-2-1691
	34H08	広島山陽学園山陽高	733-8551	広島市西区観音新町4丁目12-5	082-232-9156	082-232-2497
	34H09	修 道 高	730-0055	広島市中区南千田西町8-1	082-241-8291	082-249-0870
	34H11	県立 広 島 工 業 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-75	082-254-1421	082-253-3407
	34H12	国立 広島大学附属高	734-0005	広島市南区翠1丁目1-1	082-251-9868	082-252-0725
	34H13	県立 広 島 皆 実 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-76	082-251-6441	082-251-6442
	34H14	県立 可 部 高	731-0221	広島市安佐北区可部3丁目15-26	082-814-2032	082-814-2140
	34H15	山 陽 女 子 高	738-0003	廿日市市佐方本町1-1	0829-32-2222	0829-32-7681

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	34H16	県立 因 島 北 高	722-21	因島市重井町長浜5574	08452-4-1281	
	34H20	私立 広 島 桜 が 丘 高	732-0048	広島市東区山根町36-1	082-262-0128	082-263-9228
	34H21					
	34H22	県立 賀 茂 高	739-0043	東広島市西条町西本町16-22	0824-23-2559	0824-22-2792
	34H23	県立 福 山 葦 陽 高	720	福山市久松台3丁目1-1	0849-23-0400	
	34H24	私立 広島工業大学付属高	731-51	広島市佐伯区三宅1丁目6-25	0829-21-2137	0829-24-3020
	34H25	県立 佐 伯 高	738-0222	佐伯郡佐伯町津田850	0829-72-1185	0829-72-0424
	34H26	県立 自 疆 高	720-24	福山市加茂市大字下加茂6	0849-72-3232	0849-74-3317
	34H27	県立 千 代 田 高	731-1503	山県郡千代田町有間600-1	0826-72-3121	0826-72-6884
	34H95	県立 廿 日 市 西 高	738	廿日市市阿品台西6-1	0829-39-1571	
	34H96	近畿大学附属福山高	720	福山市佐波町389	0849-51-2695	0849-52-3581
	34H97	私立 福山暁の星女子高	721	福山市西深津町3丁目4番1号	0849-22-1682	0849-25-1533
	34H98	英 数 学 館 高	721	福山市引野町980-1	0849-41-4115	0849-41-4118
	34H99	広島女子商業高	732	広島市南区段原町11-5	082-261-8161	
山口県 9校	35H01	県立 久 賀 高	742-2301	大島郡久賀町第4851番地の2	08207-2-0024	08207-2-0096
	35H02	県立 下 関 西 高	751	下関市後田町4丁目10番1号	0832-22-0892	0832-22-0892
	35H03	聖 光 高	743-0011	光市光井9丁目22-1	0833-72-1187	0833-72-1308
	35H04	県立 田 布 施 工 業 高	742-1512	熊毛郡田布施町麻郷奥	0820-52-2306	0820-52-2269
	35H05	県立 田 布 施 農 業 高	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野195番地	0820-52-2157	0820-53-0036
	35H06	県立 西 京 高	753-0851	山口市大字黒川2580番地の1	0839-23-8508	0839-32-0721
	35H07	県立 華 陵 高	744-0024	下松市朱武上屋称下217-2	0833-44-1285	0833-41-5494
	35H08	県立 下 松 高	744-0063	下松市若宮町12-1	0833-41-0157	0833-41-3147
	35H09	岩 国 工 業 高	741	岩国市錦見2丁目4-85	0827-41-1105	0827-41-1105
	35H10					
香川県 5校	36H01	県立 高 松 西 高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
	36H02	県立 観 音 寺 第 一 高	768-0060	観音寺市観音寺町甲648-1	0875-25-4155	0875-25-4145
	36H03	尽 誠 学 園 高	765	善通寺市生野町855番地	0877-62-1515	0877-63-3860
	36H04	県立 高 松 南 高	761	高松市一宮町531	0878-85-1131	0878-85-1133
	36H05	県立 高 松 東 高	761-0322	高松市前田東町690-1	0878-47-6221	0878-47-6223
徳島県 5校	37H01	県立 徳 島 工 業 高	770-0006	徳島市北矢三町2丁目1番1号	088-631-4185	088-631-1110
	37H02	県立 鳴 門 高	772	鳴門市撫養町斉田字岩崎135-1	0886-85-3217	0886-85-0074
	37H03	県立 徳 島 東 工 業 高	770	徳島市大和町2丁目2-15	088-653-3274	088-653-3296
	37H04	私立 生 光 学 園	771	徳島市応神町中原38	0886-41-1032	0886-41-4075
	37H05	辻 高	779-48	三好郡井川町御領田61番地1	0883-78-2331	0883-78-2269
愛媛県	38H01					
	38H02					
高知県 2校	39H01	県立 高 知 小 津 高	780	高知市城北町1-14	0888-22-5270	
	39H02	私立 高 知 高	780	高知市北端町100	0888-40-1111	0888-44-7578
福岡県 5校	40H01	県立 柏 陵 高	811-1353	福岡市南区柏原4丁目47番1号	092-566-3232	092-565-2109
	40H02	県立 折 尾 高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	093-691-3561	093-691-9529
	40H03	県立 門 司 北 高	800-0102	北九州市門司区猿喰1462-2	093-481-4673	093-481-5768
	40H04	慶 成 高	803	北九州市小倉北区皿山町15番1	093-561-1331	093-561-4844
	40H05	私立 大 牟 田 高	837	大牟田市大字草木852	0944-53-5011	0944-53-8251
	40H06					
	40H07					
佐賀県 2校	41H01	県立 高 志 館 高	840-0201	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	0952-51-2008
	41H02	県立 厳 木 高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
長崎県 8校	42H01	県立 大 村 工 業 高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3773
	42H02	県立 諫 早 東 高	854-0205	北高来郡森山町杉谷名317	0957-36-1010	0957-36-1010
	42H03	県立 長 崎 南 商 業 高	851-0242	長崎市北浦町2885-1	095-836-3021	095-836-2719
	42H04	私立 鎮 西 学 院	854	諫早市栄田町1057	0957-25-1234	0957-25-1237
	42H05	県立 佐 世 保 工 業 高	857-01	佐世保市瀬戸越3丁目3-30	0956-49-5684	0956-49-8072
	42H06	私立 佐 世 保 実 業 高	858	佐世保市母ヶ浦町8881	0956-48-8881	0956-48-8152
	42H07	私立 玉 木 女 子 高	850-0822	長崎市愛宕1-21-6	0958-26-6321	0958-28-6837
	42H08	県立 佐 世 保 南 高	857-1151	佐世保市日字町2525	0956-31-5291	0956-33-4103
熊本県 7校	43H01	県立 第 二 高	862	熊本市東町3-13-1	096-368-4125	096-365-5636
	43H02	有 明 高	864	荒尾市増永2200番地	0968-63-0958	0968-64-1366
	43H03	東海大学第二高	862-0970	熊本市大江町渡鹿223	096-382-1146	096-385-2161
	43H04	私立 熊本フェリス女	861-4106	熊本市南高江町7丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044
	43H05	県立 氷 川 高	869-4201	八代郡鏡町大字鏡村937	0965-52-3611	0965-52-5161
	43H06	熊 本 高 体 連				
	43H07	県立 多 良 木 高	868-0501	球磨郡多良木町大字多良木1212	0966-42-2102	0966-49-1022
大分県 15校	44H01	別府女子短期大学付属高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6098	0977-67-8255
	44H02	明 星 高	874-0903	別府市野口原3088番地	0977-21-2090	0977-24-3141
	44H03	大 分 櫻 丘 高				
	44H04	県立 別 府 鶴 見 丘 高	874	別府市鶴見字横打4433-2	0977-21-0118	
	44H05	大 分 電 波 高	870	大分市新貝11-40	0975-58-3734	
	44H06	県立 別 府 羽 室 台 高				
	44H07	県立 佐 伯 豊 南 高				
	44H08	大 分 東 明 高	870-8658	大分市千代町2丁目4-4	0975-35-0201	0975-33-2660
	44H09	県立 大 分 豊 府 高	870	大分市大字羽屋600番1	0975-46-2222	
	44H10	大 分 高	870-01	大分市横尾字大丸尾	0975-51-1101	
	44H11	県立 大 分 上 野 台 高	870	大分市上野丘2丁目10番1号	0975-43-6249	
	44H12	県立 中 津 工 業 高	871	中津市上如水145-3	0979-32-2222	0979-32-2224
	44H13	私立 別府大学附属高	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-3326	0977-66-9688
	44H14	県立 中 津 商 業 高	871-0008	中津市大塚1番地	0979-22-0300	0979-22-3238
	44H16	県立 大 分 商 業 高	870-0931	大分市西浜4番2号	097-558-2611	097-552-8120
宮崎県 2校	45H01	県立 都 城 泉ヶ丘高				
	45H02	県立 都 城 西 高				
	45H03					
	45H04					
鹿児島県 2校	46H01	鹿児島純心女子高	890	鹿児島市鴨池町1847	0992-54-4121	0992-52-7688
	46H02	県立 鹿 児 島 工 業 高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
	46H03					
	46H04					
沖縄県 5校	47H01	県立 豊 見 城 南 高	901-0223	豊見城村字翁長520	098-850-1950	098-850-9239
	47H02	県立 宜 野 湾 高	901-2224	宜野湾市字真志喜2丁目25番1号	098-897-1020	098-897-4031
	47H03	県立 中 部 商 業 高	901-2214	宜野湾市字我如古2丁目2番1号	098-898-4888	098-898-4808
	47H04	県立 前 原 高	904-22	具志川市字田湯1827番地	098-973-3249	098-974-4951
	47H05	県立 鏡が丘養護学校	901-2101	浦添市当山750	098-877-4940	098-877-9958
	47H14					

○都道府県数 47県（内45都道府県 高体連に加盟 平成12年1月現在）

○学 校 数 419校

○新規加盟校の指定学校番号は、各都道府県で指定学校番号を付記し本専門部へ通知すること。

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 登録状況一覧表

平成12年1月27日現在

番号	都道府県名	単 独 校		複数校	女 子				男 子				全 体			総合計
		女子	男子		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	
1	北海道	3	5	7	26	21	26	73	25	26	23	74	51	47	49	147
2	青 森	3	1	7	28	17	17	62	59	25	16	100	87	42	33	162
3	岩 手	2		2	17	13	16	46	27	29	16	72	44	42	32	118
4	宮 城		1	4	10	4	6	20	36	18	15	69	46	22	21	89
5	秋 田															
6	山 形	1		4	32	14	5	51	26	21	11	58	58	35	16	109
7	福 島		1	2	2	13	4	19	10	17	3	30	12	30	7	49
8	茨 城			1		1		1	3	3	13	19	3	4	13	20
9	栃 木	1		1		4		4	4	3	2	9	4	7	2	13
10	群 馬	5	2	2	28	12	15	55	26	7	16	49	54	19	31	104
11	埼 玉		1	8	25	29	9	63	31	26	13	70	56	55	22	133
12	千 葉		2	11	31	22	31	84	49	36	32	117	80	58	63	201
13	東 京	3	8	9	38	41	14	93	78	78	52	208	116	119	66	301
14	神奈川	3	6	7	30	26	29	85	57	42	48	147	87	68	77	232
15	山 梨			1	3	1		4		2		2	3	3		6
16	新 潟		4	1	1	4	4	9	3	16	12	31	4	20	16	40
17	長 野		1	3	3	7	10	20	13	10	8	31	16	17	18	51
18	富 山		1	3	7	14	2	23	31	18	7	56	38	32	9	79
19	石 川			3		4	9	13	2	10	12	24	2	14	21	37
20	福 井			3	11	13	7	31	11	14	6	31	22	27	13	62
21	静 岡	1	3	10	28	15	17	60	68	47	30	145	96	62	47	205
22	愛 知	1	2	5	13	10	16	39	56	33	33	122	69	43	49	161
23	三 重			2	11	6	6	23	11	7	10	28	22	13	16	50
24	岐 阜	1	1	2	7	9	11	27	14	13	8	35	21	22	19	62
25	滋 賀	1		7	37	17	12	66	21	23	15	59	58	40	27	125
26	京 都	1	1	5	35	30	12	77	54	22	19	95	89	52	31	172
27	大 阪	2	6	8	28	32	14	74	58	48	46	152	86	80	60	226
28	兵 庫	7	3	6	65	52	27	144	34	40	28	102	99	92	55	246
29	奈 良		2	1	8	4	1	13	17	3	13	33	25	7	14	46
30	和歌山			3	7	3	4	14	10	6		16	17	9	4	30
31	鳥 取			5	32	11	9	52	14	12	5	31	46	23	14	83
32	島 根		1	1		6	4	10		6	1	7		12	5	17
33	岡 山		1	2	8	1	6	15	10	9	4	23	18	10	10	38
34	広 島	2	3	11	26	28	12	66	36	35	32	103	62	63	44	169
35	山 口		2	5	8	17	13	38	14	17	13	44	22	34	26	82
36	香 川			3	8	16	6	30	14	18	11	43	22	34	17	73
37	徳 島			2	4	4		8	5	7	5	17	9	11	5	25
38	愛 媛															
39	高 知															
40	福 岡			3	19	17	10	46	27	12	9	48	46	29	19	94
41	佐 賀			2	6	10	7	23	10	9	6	25	16	19	13	48
42	長 崎	4		1	10	12	11	33	13	8	3	24	23	20	14	57
43	熊 本	1		4	18	18	10	46	21	21	15	57	39	39	25	103
44	大 分	2		3	13	10	5	28	15	5	4	24	28	15	9	52
45	宮 崎															
46	鹿児島			1	1		1	2	6	1	2	9	7	1	3	11
47	沖 縄	1		3	8	11	8	27	14	15	1	30	22	26	9	57
合 計		45	58	174	692	599	426	1717	1033	818	618	2469	1725	1417	1044	4186

○高体連加盟 45都道府県

340校+α

アジアサーキット2000・バンコク大会を終えて

強化委員長 金 川 真 二

5月17日から19日にかけて行われた本年度のジュニアチーム最終選考会において男女各4名の選手が決定した。

【大井 隼(泊)・青山哲也・牧隼 也(愛産大三河)・河合将生(天竜林業)】

【山本恵美(大分東明)・松下紗耶未(明星)・村上亜裕美(氷川)・山路陽子(甲南女子)】

さて今回のメンバーは男子で1320点の記録を出した大井選手をはじめ昨年の世界ジュニア選手権に出場した女子の松下選手など、力もあり個性豊かでおもしろそうな選手が集まった。

当初は韓国国際大会への派遣を予定していたが、後に12月にインドで開催される第1回アジアジュニア選手権大会に派遣することに変更をした。しかし、これも開催がはっきりせず、最終的に2月のアジアサーキットに派遣することになり、別の意味でアジアの現状を感じた。

日程の変更により大会前に9月と1月に2回の合宿ができ、選手個々の特徴やコミュニケーションを取ることができとても有意義であった。

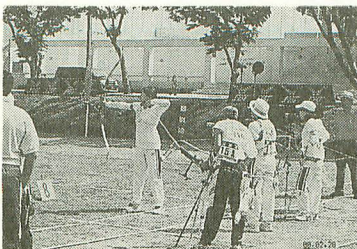
1月の沖縄合宿では70M中心の練習をした。記録会の後、決勝ラウンドの練習として個人戦は4名のリーグ戦、団体戦では点数でメンバーを入れ替えながら行った。時期的にアウトドアでの練習が不足気味で思うように点数は伸びなかったが、この時期に暖かいところで練習ができ、また派遣先も決まり選手の意欲も高まってきた。

2月24日には関西国際空港よりタイ・バンコクへと向かった。真冬の日本からバンコクに到着し、まずは30度を越す暑さにびっくりしたが、これからだと言うと気持ちが引き締まった。

会場は98年のバンコクアジア大会のあったメイン会場内にあるタイの連盟が使用しているファーマーク・アーチェリーフィールドで行われた。ここは、約120m×70mのアーチェリー専用フィールドで風の影響もあまりない場所であった。また選手も気温が高いので体もよく動き、射ちやすい印象を持ったようである。

大会は、アジア15カ国から女子34名、男子38名が集まり25日より28日までの4日間で開催された。韓国が参加していないのが残念であったが、ヴェトナムなどこれまでにあまり見かけなかった国の参加もあり楽しみであった。

26日は70mのランキングラウンドが行われた。女子では個人で松下が613点で2位となり団体も1784点で2位であった。全体的に点数が伸びていなかったが、ジュニアチームとしてはまずまずであった。



男子は大井が634点で7位、団体が1882点で4位と女子に比べ順位的には悪いが点数もまずまずであり、力は出せたと思う。

27日は、個人の決勝が行われた。女子では3名が同じゾーンに集まってしまい、1回戦では、山本対村上。2回戦では村上対松下の対戦になった。その松下は決勝までは危



なげなく勝ち進み、タイペイのヤン選手と対戦した。1回目より4点のリードを許し3回目には0点を射つなど、松下らしくない試合運びで2位に終わった。

男子も同じ国同士の対戦が多く、大井と青山が2回戦で当たった。大井は準決勝まで進んだもののブータンのリンジン選手に6点差をつけられ敗れた。3位決定戦でもタイペイのウー選手に3回までは同点であったが最後1点届かずで惜しくも4位となった。



28日の最終日は団体戦が行われた。女子はとても調子がよく準決勝では233点を出し決勝に望んだ。相手は予選で4位だったが予選1位のタイペイを取り勢いにのっているミャンマーとなった。プレッシャーがあったのか、1回目より考えられないミスで自滅をし2位となった。まだ本当の力が無いことを改めて感じた。

男子は準々決勝で地元のタイと対戦した。1回目2回目と1点ほどリードしていたが、最終回に逆転されてしまい5位に終わった。詰めの甘さと相手のミスにつけ込めない弱さを感じた。



大会を通じ女子団体ではあまり知られていないミャンマーが優勝するなど、トーナメントのおもしろさと怖さを感じた。また、ブータンなどは韓国からのコーチを呼び力強い射形をしていた。昨年の世界ジュニア選手権でも思ったことだが、韓国だけでなく他のアジア諸国にも目を向けて行かなくてはならないことを痛感した。

記録面では、参加選手の力や、時期的なものもあるだろうが、全体的にもう一つであった。その結果、ジュニアチームとして参加したこの大会において、ある程度満足のいく成果をあげられたと思う。しかし、個々には納得していない部分もあるだろう。また、選手達の力が出し切れたとは思わない。今回の選手達は、いつ、どこで、どんな大会に行くのか分からない状況が続き、非常に不安な日々を過ごしたことと思う。また2月のこの時期にベストの状態にすることは非常に難しいことである。大会後の感想には大会はとても楽しかったこと、そして、世界大会・オリンピックに出てみたい気持ちがあることが十分伝わってくる。技術的なものはもちろんであるが、いつもの自分をいかに表現できるかどうかは、まず自分に自信をつけ、アーチェリーそのものを好きになること。そして、他の国の選手とのコミュニケーションをうまくとっていくことも大切な要因だと思う。また、体調管理も含め食事など生活環境の違いに早く慣れることも必要であろう。

選手にとって、国際大会に出て入賞したことは、アーチェリーだけでなくこれからの人生にとっても大きな自信になるだろう。そして、一人の人として社会での役割をきつと果たしてくれることであろう。今回の選手たちは、その将来性や可能性は十分に備えており、今後これを機会に世界に向け羽ばたいてもらいたいものである。

〔インターハイ男子優勝校〕

チームワークの勝利！

奈良県立奈良高等学校

アーチェリー部顧問 朝井 與志雄
富田 康 弘

1999年の夏、本校アーチェリー部員にとってはもちろんのこと、学校関係者やOB諸氏、その他応援してくださった多くの方々にとっても忘れられない年となったことでしょう。その主役となった三年生4人に、これまでの想いを語ってもらいました。

高崎 真一

僕がこのアーチェリー部に入ったのは、ただ面白そうだという単純な理由からだ。一年生の時には、先輩方が全国で優秀な結果を出してきたということを聞いても、「多分自分には関係ないだろう」と思っていた。しかし、二年生の時にインターハイに出場し、個人、団体ともに予選落ちという苦い経験をしてからは、岩手インターハイで賞状をもらうことだけを夢見て練習を続けてきた。そのうちに国体や全国選抜大会に参加する機会を得、その中で全国でもそこそこ戦っていけるのではないかという自信が生まれてきた。そういった中でこのインターハイの団体優勝。夢が叶ったのだ。

団体戦では勝ち負けよりも内容を僕は重視した。「これが最後かもしれないから納得いくように射とう」と。それが良かったのだろうか、結局最後まで負け知らずで勝ち残ることができた。いずれにせよこの優勝は僕たち4人がとったのであるが、これまで支えてくださった多くの人たちや、同じ場所で練習した仲間と共に勝ち取れたものであると思う。そしてその代表として素晴らしいことができた、我ながら誇らしく思う。僕はこれまで皆と一緒にやってきたこと、そして奈良高校アーチェリー部を一生忘れないであろう。

木次 将史

'99年の僕のアーチェリーは、初の全国大会であった選抜大会に始まり、高校アーチェリーの最終目標であったインターハイまで、実に充実した日々を送ることができた。常に「アーチェリーを楽しむ」の心で今までやってき、もちろん今回のインターハイも例外ではなかった。僕にとっては初の団体戦、しかも先輩からの期待もあり、いつもはプレッシャーを感じないのだが今回ばかりは違っていた。特に団体決勝。僕はラストに射つということもあって、3分という時間はいつも以上の重圧を与え続けてきた。しかも当日は僕自身あまり調子が良くなかった。個人戦ならそのまま落ち込むであろう場面もあった。しかし、他の3人にも支えられ悲願の団体優勝を果たすことができたのである。

この高校アーチェリーの最後の大舞台で優勝を果たせたことは、最高の思い出となっていていつまでも心に刻まれているだろう。また、このように最後まで続けていく上での大きな心の支えとなった素晴らしい友人・後輩の存在に感謝したい。

小寺 功

インターハイ団体優勝。これは本当にできるとは思わなかったが、最大の目標だった。インターハイには二年生で出場したが惨敗であった。「来年こそ」、これが僕らの原動力であった。練習量では他校に劣るかもしれないが、奈良高には奈良高のやり方がある。それを信じた。しかし、ここにきて個人戦で予選落ちして焦った。でもチームのメンバーはそんな僕を信頼してくれた。なんとかそれに応えたかった。決勝ラウンドでは1試合ごとに集中した。悔いだけは残したくなかった。それに奈良高のOBや女子の応援とチームが一体になれた。今までは団体は個人の集まり程度にしか考えていなかった。でも違った。個人で劣っていようとチームワークで勝てることを痛感した。僕らは、点数は決して良くはなかったが、団結ではどこにも劣らない自信があった。それだけに、優勝の瞬間の喜びはひとしおだった。

僕はこの最高の瞬間を味わえたのと同時に、今まで僕らを支えてくださった方々の期待に最高の形で応えることができたことが一番嬉しかった。この経験を他のことへの自信にもしていきたいと思う。

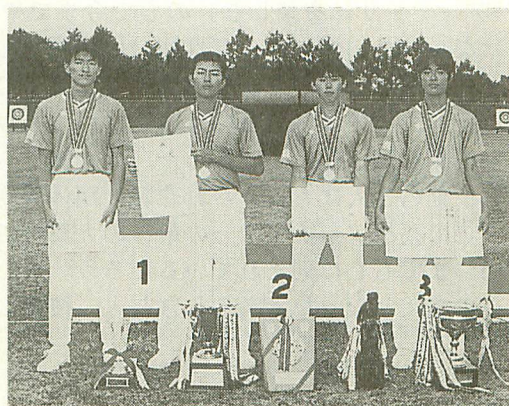
深野 智

団体決勝ラウンド。僕は補欠だったので、選手が競技をしているすぐ後ろで仲間を見守ることになりました。今振り返ってみると、1回戦から優勝するまで、見ているだけで緊張しっぱなしでした。それに、試合が始まったときには、自分が試合に出られない悔しさが心に引っかかっていた。でも僕らのチームが優勝した瞬間、喜びと感動、そしてメンバーに対する感謝でいっぱいになりました。メンバーのみんなで喜び合っているとき、自分もこのチームの一員なんだと実感しました。

このインターハイを通じて、仲間の絆の強さというものを学びました。この4人のメンバーのだれ一人が欠けていても優勝することはできなかったと思います。アーチェリーを続けてきて本当に良かったと思っています。こんな素晴らしい仲間に出会えたのですから。これからもアーチェリーで得たこの絆を大切にしていきたいと思っています。

1月4日(月)、年初めの練習で部員全員に今年の抱負を語ってもらいました。その中で「一日でも長く部活を続けたい」といった声が二年生(現三年生)から聞かれました。この時期は本校生にとっては受験を控え、毎年何人かの部員が引退していく時期でもあります。ところが、この学年は1人も欠けることなく、全員がインターハイ予選まで部活を続けることができました。最後まで互いに競い合い、励まし合いながら、結果として三年生4人が勝ち残り、団体メンバーを組みました。残った4人も、涙しながらここで引退した残りの同級生たちも、想いは一緒だったはずです。

昨年4月に、本校アーチェリー部を長らく指導し、全国レベルの部へと育て上げた前顧問の高見先生が転勤されました。残された部員たちは、その教えを忠実に受け継ぎ、今日まで練習に励んできました。その最後の教え子たちが、今回、最高の舞台で、最高の形で恩返しをできたことは、後を引き継いだ我々にとってもうれしい限りです。



〔インターハイ女子優勝校〕

平成11年度インターハイを終えて

京都府立菟道高等学校 塩 田 浩 一

平成11年度8月岩手県で行われた第32回全国高等学校アーチェリー選手権大会で、本校は女子団体優勝の成績を納めました。振り返れば平成8年度の山梨大会の優勝以来、平成9年度の地元京都大会ではまさかの予選落ち、平成10年度の香川大会では10位の成績に留まり、不本意な結果が2年間続いてきました。今回の優勝はその誇りと悔しさを先輩から引き継いできた選手達のもたらした結果です。その優勝したメンバーにインターハイを終えての感想を書いてもらいました。3年生の中には卒業後アーチェリーを続ける者もあれば、続けない者もいます。それぞれの姿を見て、さらに今後も1、2年生が日々の研鑽に励んで欲しいと思っています。



3年 山田 朝子

私は今までアーチェリーをやってきて技術よりもメンタル面で様々なことを得ることができました。自分の精神的な強さはもちろん、弱さも知ることが出来たと思います。

今回のインターハイでは予選ラウンドで最悪の点数。緊張や焦りが自分の中にあり、自分では体をコントロールすることすら出来なくなっていました。団体戦の一回戦でも的をはずすことが怖くて、なかなか思い切って射つことができませんでした。だけど仲間と一緒にいると、全然負ける気がしませんでした。笑顔もでてきて、気がつくときさっきまでの恐怖は消えてしまっていました。

団体優勝できたのは、仲間のおかげです。みんながいたからこそ精神的に強くなれました。みんなでつかんだ優勝。勝った瞬間にはあまり実感がわかなかったけれど、本当に嬉しいです。この素晴らしい経験を生かし、これからもアーチェリーやそれ以外の様々なことを一生懸命やっていきたいと思っています。

3年 中川 都

私は去年のインターハイにも出場しましたが、その時は自分の力が発揮できずに、とても悔しい思いをしました。それからは、今年のインターハイでの優勝を目標に練習を積み重ねて来ました。だから、今年は絶対に優勝出来るという自信がありました。その自信が試合になると自分の力になって、落ち着いて思い切って射つことが出来ました。それがいい結果につながったのだと思います。でも、今年のインターハイでの優勝は自分の力だけでは絶対に出来なかったと思います。先生と一緒に試合をしたメンバーに支えられたのももちろんですが、友人や周りの人たちみんなに「がんばれ」と言ってもらえてとても嬉しく、また、とても力になりました。だからこの優勝は、いろんな人に支えられて出来た優勝だと思います。

アーチェリーは高校で終わってしまいますが、この3年間で学んだいろいろなことをこれから生かしていきたいです。

3年 西橋 理恵

私はこのインターハイのメンバーに選ばれたとき、初めてだったのでとても嬉しかった反面、たくさん不安もありました。しかしその不安を打ち消すために、夏の暑い中、毎日朝から夜まで仲間と励まし合って先生の御指導をもとに練習をしました。メンバーの決意は「優勝」という二文字でした。

いざ試合になってみると、練習の時のように思い通りには射てなくて何度かやる気が沈んでしまいました。でも、こんな気持ちのままで射っていたら負けると思い、「落ち着いて射てば勝てる」と自分に言い聞かせました。風もかなりありましたが、先生が全て指導して下さいたので安心して射つことができました。

私にとって最初で最後のインターハイで一番高い表彰台に上がることが出来、良い思い出になりました。優勝できたのは、先生や応援してくださった方々のおかげだと思います。その感謝の気持ちを忘れずに新たな目標に向かって頑張っていきたいと思います。

2年 中上 藍

私は去年のインターハイではマネージャーとして香川県の芝生のフィールドを踏みしました。その時私はアーチェリーを始めたばかりでしたが、大きな舞台で全国の選手がプレーしているのを見てとても憧れました。「私は来年選手としてこの芝生のフィールドに戻って来よう」と、強く決意しました。

今年のインターハイ、去年の決意を胸に岩手県の芝生を踏みしめました。そこには去年と同じ大きな感動がありました。団体戦には3年生の先輩が出場しましたが、とてもドキドキしました。しかし、私はどれだけ先輩が練習していたのか、一緒にいたので知っていました。また、先輩がどんな気持ちで試合に臨んでいるのかもわかっていたのでドキドキの裏に安心がありました。

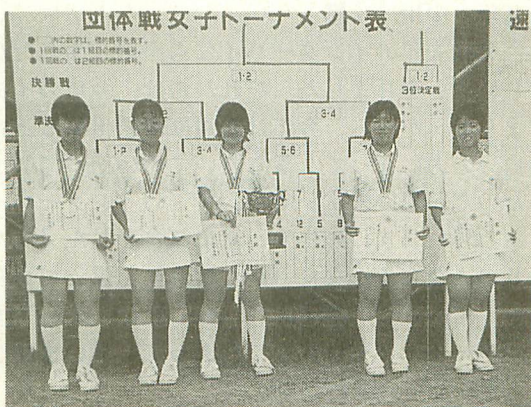
私は優勝という貴重な体験をして、岩手県のフィールドで決意してきました。「来年もこの舞台で優勝しよう」と。願い続けてそれに向かって努力すればきっと道は開くと思います。私の夢は現実にしていこうと思います。

1年 松岡麻衣子

初めは「3年間、何かを続けて頑張ってみよう」を目標に始めたアーチェリーでした。そしてそれが、日々の練習を積む中で、「全国大会にでて、そして勝つ。」というものに変わってきました。でも、まだ漠然としかとらえられない「全国」というものを目標にした私が、目の当たりにした「全国」がこのインターハイでした。

私が今回見たもの、それは先輩達の精神力の強さです。ミスをしてでも取り返す、そして自分のシューティングを守っていく。考えてみれば、先輩はずっと毎日一生懸命に練習していました。やっぱりその積み重ねがないと、全国の舞台で闘っていく力も精神力も身に付かないんだと改めて実感しました。

私も今度は自分でこの大会に出場出来るように頑張って練習していきたいです。そして今回と同じように、表彰台の一番高いところに立ちたいです。



〔学 校 紹 介〕

1日で造ったアーチェリー場

(されどローマは一日にしてならず)

徳島県立徳島東工業高等学校

顧問 住友和雄
玉村芳正

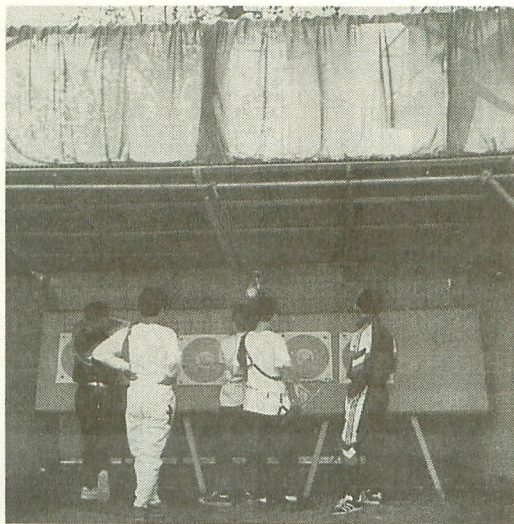
1. アーチェリー部の紹介

5年前、弓道部の顧問をしていた私に管理職から声がかかった。本校には30人程いる女子が入部できる部活動が1つもない、女子も入部して活動できるアーチェリー部を創って指導してはもらえないだろうか。『2～3日考えさせて下さい。』部として活動するには、まず弓具と射場が必要です。『弓具は私が用意しますので学校は30万円を出すことと同好会ではだめです最初から部として認めて下さい。』ここから作業が始まった。まず新入生から部員を募集すると男子3人が集まり、おまけに3年の女子がアーチェリーは面白そうだからやってみたくて入部してきた、当初の目的は果たすことができた。ワンピースの弓を2組用意し、たる木で三脚を造って畳をもらってきた。近射から始まった練習、一ヶ月後には射場を……………

まずは積算 単管足場 6m×4本
4m×8本
3m×10本
2m×6本
クランプ 直交 20コ
自在 12コ
ジャッキベース4コ
たる木、ぬき板、コンパネ
カラートタン

工事着工は5月3日の午前9時と決めた。前日の2日には材料も揃った。校地は狭隘で余裕がないため校庭の片隅に決まった。当日は中学を出て間もない生徒が早くから集合して張り切っていた。単管足場を組んでたる木を番線でしばり午前中には骨組みが出来た。『先生、日当はなんぼくれるん』と話しながら弁当を食べた。午後からは仕上工事だ。屋根はたる木にヌキを打ちトタンを貼った、トタンは午後の日差しを受けて焼けたように熱い。頬を伝った汗がトタン屋根に音を立てて流れる。4時まえには完成した。仮設ながら立派なアーチェリー場が出来た。生徒の一人が射ちた一いと言いい10mの距離を何本か射たせてみた。完成の喜びを噛みしめながら弓を引いたが80mの的にはなかなか当たらなかった。その生徒も卒業して正月3日にOB会の通知がきている。

成績の方はいい結果を残せていないが、全国大会で優勝することを目指して……………。

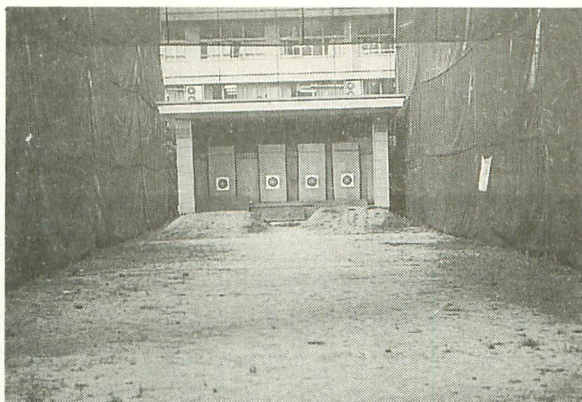


本校のアーチェリー部事情

徳島県立徳島工業高校アーチェリー部

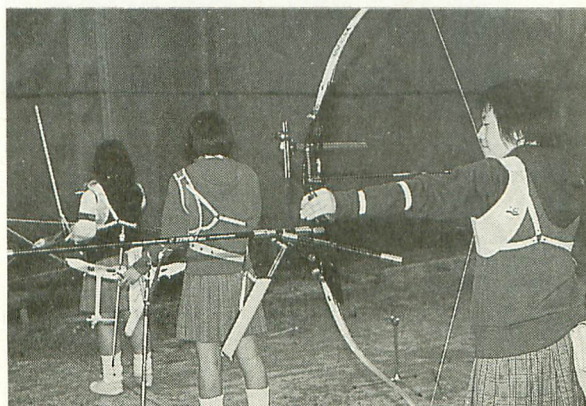
顧問 西 内 博 子
篠 山 美 紀

本校のアーチェリー部は現在徳島東工業高校で顧問をされている住友先生が12年前に創部されました。現在の部員は2年生6名、1年生4名でそのうち半数が女子部員です。2年前には体育部の横に新しいアーチェリー場ができ上がりそこで50m・30mの練習を行っています。他に500m程離れた第2グラウンドに90m・70mの練習場もあり、『施設の』にはとても恵まれた環境にあります。



しかし、『人的』には現在とても苦しい状態にあります。まず第一に主力選手だった3年男子がインターハイ後引退し、男子の方の練習が全く見られなくなってしまったことです。2年男子部員が4名いるのですが、資格試験の取得のための補習の優先等がきっかけとなり、足が遠のいてしまいました。また数少ない1名の1年生男子もいつの間にか練習場から姿を消してしまいました。部の創設以来、徳島県高校総体で男子団体優勝を重ねてきた本校ですが、来年度は優勝は非常に難しい状態です。そして『人的』に苦しい第二の理由として指導者がいない、ということです。この4月に顧問の先生が2名とも転勤されてしまい、転勤してきたばかりの私たち2名が顧問となりました。2名とも運動部の経験が殆どなく、アーチェリー競技といえば見るのも初めて、という状態で、『ハーフ？シングル？サイト？』という状況で、その度その度のことをこなしていくだけで半年が過ぎてしまいました。男子の練習ももっと適切に指導できていれば違った方向に進んでいたかもしれない、と感じるこの頃です。

メインに活動している女子部員は、主力の2年生女子（光田・西川）がインターハイ・



四国地区ミニ国体・国体という大きな試合を経験し、自己ベストを順調に伸ばしています。また、3人の1年生女子も11月に自分の弓を購入し、新たな気持ちでシーズンオフの練習に取り組み始めました。『来年のいインターハイ団体出場、そして国体出場』という目標のもと5名の女子選手が徳島工業高校のアーチェリー部の次の時代を築いてくれるものと期待しています。

「ゼロからの出発」

香川県立高松東高等学校

顧問 本 田 廣 司

本校アーチェリー部は、平成6年同好会として始まりました。香川県には、今までアーチェリー部があるのは2校のみでしたので本校が加わって3校になりました。もちろん東高でアーチェリー部ができるのは初めてなので、部員一人から集めなくてはなりませんでした。本当に（ゼロ）からのスタートなのです。



そこで、全学年から入部させるのではなく1年生のみ、入部させようと思いました。それは、同じ時期からはじめて学年が上だから先輩とか、1年生だから、などというのがあまり好きではないし、初めが肝心なので私色に染めるには1年生だけの方がいいのではないかと思いそうしました。男子3人・女子7人の生徒が入部しました。これから始めることを教えるために

教室に集め「アーチェリー」とはどのようなスポーツなのか、どういう練習をするのかなどいろいろ説明しました。本校から1km離れた香川医科大学の近くにアーチェリー専用グラウンドがあり、県の試合などもそこで行われます。タタミや的はあるのですが、肝心の弓具が一切ありませんでした。そのため、部員には学校の帰りに自転車店に寄りタイヤのチューブをもらってくるように指示し、練習にそれを使って弓を引く力をつけたり、ランニングやバレーボールなどいろいろとしていました。その間に県内にはアーチェリーショップがないので、県外に電話して現在の状況を説明しました。その当時はヤマハでも、新しくできた部活には木製のテイクダウンボウを5セットくれました。弓具が届いたら早速部員に見せ、タタミを出し自分の打ちやすいようにただ打たせました。全員生まれて初めてアーチェリーというものを触ったので1週間はそのままにし、近射から5M・10Mと離すと5M位は当たるのですが、それ以上離すと当たらないので、そこで私が部員と同じ弓を使って、10Mの距離から打ちました。1本目は何とか的に当たるだけでしたが、2本目からはほとんど黄色に入れることができました。それを見ていた部員はビックリしていました。「君たちもきちんとした練習を毎日すればすぐに当たるようになる、スタートは全員同じだぞ」と練習に力が入ればいいなと思いそんな話もしました。次の日から、学校が終わると部屋がないので着替えて荷物をもって来るというかわいそうな面もありました。そのころは私の車が部屋がわりでした。東高は強化校ということで、県からプレハブ

の部屋を立ててもらえα-SXを4セット買ってもらいました。

夏になり部員の中でも少し差が出始め、α-SXを使いたいと、より練習に励む部員、仲間との差を感じやる気を無くす部員と2つに別れてきました。中学のときに運動部だった部員は運動量が少ない、同じことの繰り返しで面白くないということで、やめたいという者がでてきました。11月に新人戦があるのでその試合にできれば楽しさ、運動量などが分かるからそれから続けるか、やめるかを決めたらいいと言ったのですが、やる気がなくなってしまった者は、試合には出したのですがあまり練習していないので点数が出るはずがありません。そのため1人また1人と男子2人、女子6人もやめて最後には男女1人づつになってしまいました。

平成7年、入部者男子1人、他の学校に負けないように練習して国体と全国大会に出場を目指しました。香川県には3校しかないのので他の県よりも大きな大会に出やすいのです。しかし、人数が少ないとなかなかうまく行かず、国体は男子が予備選手、団体が組めないで全国大会は予選で男子2位になり、しかし残された新人戦と選手権大会では、個人優勝することができました。この年初めて全国選抜大会に出場することができました。

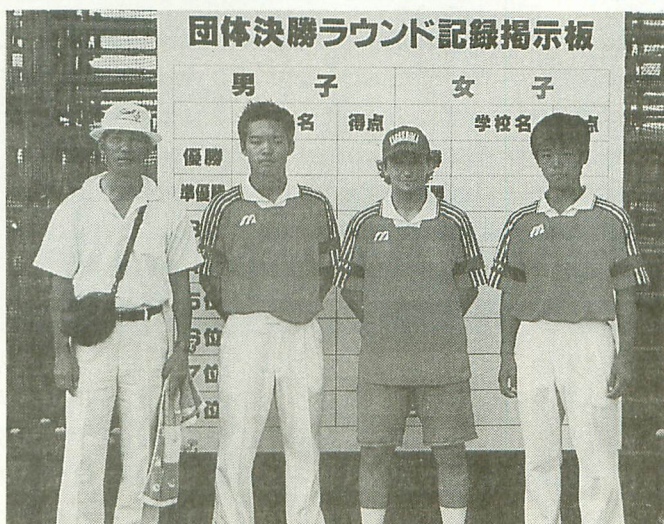
平成8年、部員を増やそうとしたのですが、入部者女子3人、男子1人でしたがその男子がイタリア人なのです。この子は小学5年に日本に家族でやってきて、東高に入学したときからアーチェリー部に入部することを決めていたそうで、国際的な同好会になってきました。同好会も3年目になり部員達も一生懸命練習して、去年つらい思いをした部員が国体選手になり、選手権大会でも2年連続で優勝することができました。

平成9年、同好会から部に昇格できました。しかし入部者は男子2人でした。私達はどんなに少人数でも毎年全国大会出場を目標にがんばってきました。

平成10年は香川県でインターハイが行われ開催県枠で2校出場できるので、今まで以上に練習して男子団体で初出場することができました。国体も男女1人づつ出場できなんとか部活らしくなってきました。この年は男子2人入部しました。

平成11年入部者は男子2人、女子3人でしたが、男子が団体で優勝し、堂々とインターハイに出場しました。それと国体では観音寺（かんおんじ）一高の生徒1人と東高の部員が2人出場して、団体で4位に入賞することができ後輩に大きな目標ができました。

東高のアーチェリー部も6年が過ぎようとしています。毎年、11月に行われる選手権大会の次の日には、部員全員でナベを囲んで1年間の反省と先輩からのアドバイス、シーズンオフの練習内容など楽しくやっています。稀少であっても入ってきた東高の部員には、将来親になったとき自分の子供に自慢できるように、一步一步上を目指し全国に東高の名前が知られるように未来を見ずえて『今』を、がんばらせたいと思っています。



〔学 校 紹 介〕

多良木高校アーチェリー部

熊本県立多良木高等学校 アーチェリー部

顧問 山下 弘 昭

＜多良木高校の紹介＞

本校は熊本県の南部に位置し、雄大な球磨川と焼酎で有名な球磨郡多良木町の緑に囲まれた自然豊かな場所にあります。生徒数は721名、普通科21クラスの創立77年をむかえる歴史と伝統のある学校です。

球磨郡は、古くから陸上競技の盛んな土地柄であり、本校陸上部からも毎年、全国大会に出場するなど活躍もめざましく、モスクワオリンピック代表の豊田敏夫選手やソウルオリンピック代表の斉藤浩選手などを輩出しています。また、野球部OBであるオリックスブルーウェーブの野田浩二投手も本校卒業生であります。

＜同好会から部へ昇格＞

多良木高校アーチェリー部は、私が本校に赴任した2年目である平成10年、学校活性化という大きな期待を背負い同好会として発足し、翌11年、部に昇格しました。

当初、県ア協理事である湯前町役場の落合さんにいろいろとご指導をいただきながら、練習場の確保や弓具の手配等、たいへんお世話になり何とか練習できる環境が整いました。

しかし、同好会はスムーズにスタートできた訳ではなく、発足と同時に一つの重荷を背負っていました。それは、アーチェリー同好会で伝統芸能も兼ねてやらなければならないということでした。学校としての諸事情もあり、引き受けることになりましたが、たいへんな1年でした。

当時9名の部員は、放課後アーチェリーの練習を終え、地元の伝統芸能である「伏間田太鼓」の練習に明け暮れました。弓を太鼓に、矢をバチに持ち替え、生徒と共に多良木の空に太鼓を打ち鳴らす日々が続きました。このまま太鼓クラブになってしまうのでは、と少々不安にもなりましたが、2年目に副顧問であった先生に引き継ぐことで何とか太鼓と分離することができました。振り返れば、すばらしい経験でありましたが、保護者の方々がアーチェリーの試合よりも太鼓の応援が多かったのは、少々複雑な心境でもありました。その後、部の昇格にあたっては、県ア協の梅田理事長や同好会後援会の方々から学校側へのたいへん熱心な働きかけをいただきました。わずか1年で部に昇格できたことは、ひじょうに恵まれたことであり、こういったいろいろな方々の手助けがあつてこそ実現できたことだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

＜部の現状＞

現在、部員数は19名（男11名、女8名）、中学時代は、パソコン部、コーラス部、美術部など異種多彩な生徒たちの集まりです。校内に練習場はなく、自転車で25分の場所にある町民グラウンドを借りています。また、梅雨の時期は40分かけて隣町の畜産場へ、冬場は近くの公民館で練習を行っています。

このような状況であり、弓の組み立て時間など考慮すると練習量の不足が一番の課題で

す。しかし、この厳しさを克服してこそ本当の強さが生まれるのだと信じています。生徒たちも自主的に朝練を行ったり、放課後の練習開始時間も随分と早くなってきたて、少しずつ意識も高まってきました。小・中学校時代には、なかなか主力として活躍できなかった生徒たちも、レギュラーや補欠という枠のないアーチェリーという競技を通してやりがいをもって練習に励んでいます。

熊本県には現在5校のアーチェリー部がありますが、中でも氷川高校、東海第二高校といえ全国的にもかなりの強豪校です。監督である早田先生や北原先生にはいろいろと教えていただくことも多いのですが、いつも快くアドバイスをいただき、たいへん感謝しております。大きな壁ではありますが、今後、諸先輩方を目標に少しでも近づいていけるよう頑張っていこうと思います。

<国体を通して>

創部1年目にして、地元開催である「くまもと未来国体」が行われたことは、我が部にとってもたいへんなレベルアップにつながりました。その年の岩手インターハイに女子個人の出場をはじめ、少年男子の国体メンバーに中山由一君が選ばれました。国体合宿等では個人5位に入賞を果たしました。残念ながら団体戦では決勝トーナメントで敗れましたが、まだ2年生でもあり来年の活躍が楽しみです。

この国体に関わった数ヶ月間は、私自身にとってもたいへん意義深いものでした。技術やメンタル面、自己管理に至るまで様々なことを勉強させていただきました。また、何よりも、すばらしい選手たちや指導者の方々と直に接し、学んだことは私にとって今後の貴重な財産になりました。

<最 後 に>

多良木高校アーチェリー部は、自然豊かな田舎で育った純朴で明るい生徒たちばかりです。まだまだ生まれたての弱小チームではありますが、これからは少しずつ力をつけて頑張っていこうと思っています。今後、どこかでブルーに白字の多良木高校のユニフォームをお見かけになりましたら、一言声をかけてやってください。心温まる球磨弁をお聞かせできると思います。

今後とも多良木高校アーチェリー部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



〔学 校 紹 介〕

「風のふるさと」から全国へ

佐賀県立厳木高等学校 アーチェリー部

監 督 田 中 伸 周

変 遷

佐賀県東松浦郡厳木町・・・学校の紹介で必ずと言っていいほど「町の名前、学校の名前」はなんと読みますか。と質問をよく受ける。きゅうらぎと読みます。是非覚えてください。

厳木町は佐賀県の中央部に位置し、町の93%が森林という山間部の小さな町で、炭坑の積み出し拠点として昔は栄えた町です。玄界灘から吹き込む寒風が厳木町に流れ込み風の通り道として「風のふるさと」と呼ばれています。県下でも標高が高いところに位置し、冬には積雪もあります。

厳木高校は、昭和26年に創立し、まもなく創立50周年を迎える学校です。生徒数450名ほどの普通科高校で約8割が就職を希望しており、生徒のほとんどがJRを利用し通学しています。JRの時間帯は1時間に平均1本で時間的制限が多い中で生徒たちは学校生活を送っています。

アーチェリー部は、平成6年に同好会が発足し、平成7年に部に昇格。クラブ卒業生10名・現任部員14名で活動中である。

クラブ発足へ

以前佐賀県には、クラブ活動でアーチェリー部がある学校は、前任校であった高志館高校しかなく県の高体連準専門部にも加盟できない状態でした。しかし、前専門委員長であられた長谷川先生のご努力により平成5年に準専門部に昇格し活動してきました。平成6年、私はバスケットボール部の顧問をしていましたが、福島国体（少年女子フルエントリー）を見越して、女子生徒5名を勧誘し、同好会として活動を始めました。いざ練習と言っても弓具もない、場所もない、顧問も付き添えない状態でのスタート。しかし、県アーチェリー協会の大島副会長の多大な協力や、協会の支援、協力のおかげで初心者用の弓具をそろえていただきました。学校には予算は全くなく、練習場の確保が最大の問題でした。

最初は、私の目が届く体育館のステージに、こっそり畳を持ち込み壁に立てかけて近射練習から始めましたが、畳が古く3枚重ねても貫通し壁にあたって矢を壊し、あげくにステージのカーテンや壁にまで穴をあける始末。事務長から再三注意を受けたこともありましたが、こつこつと練習する生徒たちの真面目さに、周囲の協力体制もできたように思います。

クラブ目標

「うまい選手より良い選手へ」

平成6年 夏 同好会として形ができ始めたころ、今後、同好会からクラブに昇格していく中で必要な、クラブの目標を決定しようと生徒たちと一緒に考えました。厳木学校には、全国大会出場的女子ソフトボール部・弓道部、九州大会出場の野球部など各部活動で独自の目標を持ち活動しています。これらの顧問に学校の実態にあったクラブの目標とは、と意見を聞きながら、アーチェリー部独自の目標を考えました。クラブの目標に良くある「全国制覇」や「一射入魂」などではなく、もっとわかりやすく将来においても通じるものとして「うまい選手より良い選手へ」を目標とした。

競技勝利主義がクラブ活動の中でもうたわれて、勝負に固執するあまりに燃え尽き症候群と呼ばれる状態になり、卒業後にアーチェリーから離れる生徒たちが多いのも事実です。高校時代、アーチェリーを通じて友人関係や親子関係、身障者や協会員との関係をしっかり身につけて欲しいと願って今も生徒たちに話をしています。

活動状況

平成7年、部活動に昇格し女子だけでまがいなりにもクラブらしい活動が出来るようになりました。練習場もなく、グラウンドで野球部がアップをしている間に外野のフェンス際で30mを体育倉庫に向かって練習する。野球部の外野ノックが始まるまでの時間帯だけ距離の練習が出来ました。防矢ネットもなく、ラインテープでターゲットライン・シューティングラインを引き他のクラブに迷惑をかけないようにおどおどしながら練習する生徒でした。この年男子2名を加え男女のクラブとして活動を始めました。

平成8年、全国大会に個人で出場し生徒たちにもやる気が見え始め、福島国体に女子3名の選手を派遣する事が出来、翌年県高校総体では、高志館高校との勝負でも接戦を演じ1点差で惜しくも団体での全国大会出場を逃してしまいました。この試合で学んだ「1点の大切さ」が今も生徒たちの心に生き続けているようです。男子の選手も徐々に実績を残すことが出来るようになり、牧山の高校選抜大会優勝をきっかけに、県選抜チームの神奈川での国民体育大会4位、熊本での国民体育大会の準優勝にも貢献する選手が出るようになってきました。練習時間は、通常で4時過ぎから2・3時間程度が普通で、週末は、ほとんどが試合や高志館高校との合同練習や合宿を行っている。自主練習は生徒個人で行い、特に規定は設けていない。幸いにも県協会には、身障者の方々が多く、生徒たちの指導にも恵まれている。

平成11年5月に射場（的場のみ）が完成し、これまでの、練習場とは違い、安全管理の面でも充実し、ハード面での整備は大きく進み、学校でも、メイン競技の一つとしてアピールできるようになりました。

幸いにも、九州には優秀な学校・指導者が多数おられ、機会あるごとに試合や合宿等で生徒はもとより、指導者としてもご指導いただいております。強豪校と試合や練習させていただくことによって生徒たちにも自信が芽生え始め、知らず知らずの間に競技力も高くなっていったように感じます。

課 題

佐賀県には、高等学校のチームは2校しかなく、専門の指導者も高校には少ない。平成19年には全国高校総体開催が内定しており、今後指導者育成と共に加盟校を増やし生徒獲得への手だてが必要になってきました。新学習指導要領の改訂に伴い、学校のクラブ活動に対する考え方も大きく変化して行く中、クラブ活動の方向性をしっかりと見定めた生徒指導が必要になっていくと考えられる。

生徒を指導する中で、3つの手助けを大切に指導していきたい。

- ①「成長過程における手助け」
- ②「勝利に対する手助け」
- ③「楽しむための手助け」

これらの3つの手助けを指導者が十分に理解・実践する事によって、よりよい生徒の育成が出来ると思っています。また、地域との連携・保護者との連携が、今後のクラブ活動の課題となっていくと思います。

夢

「夢」を実現させるためには、教師が「希望」を持ち、さらに「期待」へと変化し、そして「実現」へと惜しみない努力が必要ではないでしょうか。2000年、オリンピックイヤーを迎え新しい時代の幕開けにふさわしいスタートの年にすべく、生徒たちが大きな「夢」を持ち、自己の目標を明確に設定し、あきらめることなくチャレンジし続ける生徒に育って欲しいと思います。

クラブ発足から現在に至るまでご指導、ご協力いただいた関係各位、校長をはじめ学校職員、協会関係者に対する「感謝」の気持ちを忘れずに今後も一生懸命活動して行きたいと思っております。

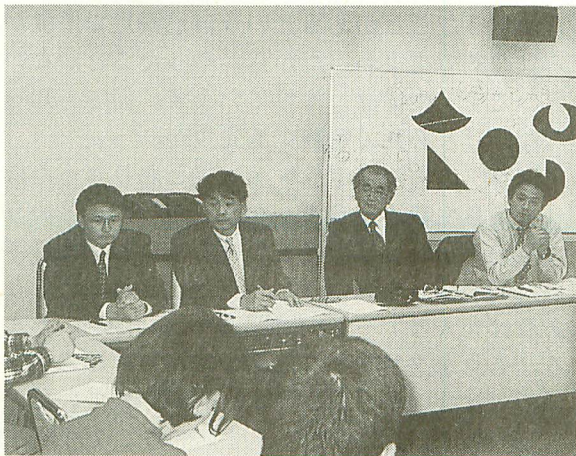
「私の部活指導」

前折尾高校アーチェリー部顧問 岡 部 美義男

もうすぐ定年退職いたしまして三年になりますけど、アーチェリーを火の玉みたいにやっていたら先生方の前にいると熱気をパツと感じるし、それから私もかつてそうだったなと懐かしく思います。とにかく振り返ってみたら、現職の先生が羨ましいというのが一番です。私の周りには生徒がいないわけですから。三年前に定年退職になった時、「先生もうゴールですよ」とか「退職おめでとうございます」とかいうものでそうかな？という気になったぐらいで、退職のことなどは何にも考えてませんでしたし、僕はそのつもりでおりました。何もかもそのまま部活指導をしていたような気がします。それはまた楽しかったですけれども、退職して考えてみたら自分の趣味もいつのまにか段々と無くなり、家族付き合い、友達付き合い、親戚付き合いをほとんどしていなかったのに気が付きました。

ところで、今言ったことで思い出したんですけれども、ここに5つの図形があります。この中の1つだけ他の4個と違う特徴を持ったものを選びんで下さい。

答えは全員正解だそうです。私が言いたいのは、物の考え方に色々正解があつていいのではないか、アーチェリーの指導の仕方も色々正解があつていいのではないかということです。そういう前提で私が言うことは間違いだとか、あんたが言うことは古いよとか、それはちょっとおかしいよとか言わないでいただきたい。そのかわり私も先生方が指導していらっしゃるの先生方の学校にあった、先生方が一生懸命勉強した結果で、その学校の生徒にあった指導法だと僕も一目置きます。もともとスポーツの原点を考えると人に勝ちたい、例えば木登り競争でも丸太切り競争でもなんでも「競争」がいたら勝ちたくなるのが人間の本能ではないか。あなたに勝ちを譲ります、なんて言う人はいないのではないか。川を飛び越える競争だって、俺は飛び越えるけどおまえは落ちたとか、俺は勝ったとか、そういう単純な腕比べから発して、これは学校教育に取り入れても非常に価値があるぞとかいう事から部活動になったのではないのでしょうか。しかし、自分の本音を押さえたところで部員付き合いしているところがあるのではないかなと私には思えるのです。だからその辺をズタズタにするのが私の一つの仕事かなと思っています。「いやあ、負けちゃった」とか「あんたがうまい」とか「この次もあんたが勝つだろう」と心にもないことを言っているんですよ。この次は私が練習して勝ちたいなと思っているくせに口にださない不正直な子供が、大分いると思うのです。うちの部員は「負けただけどこんどは絶対勝つからね」と目の色や顔色を変えて言



ってますよ。「いやあ、あんたにはかなわんよ」なんてお世辞は絶対言いません。本音で「絶対勝つ。あんたよりもたくさん練習すれば勝てるもん」と言います。そして、朝早く暗いうちから学校にきて練習しています。ここらへんのスポーツ観は是非本音のところで認め合うというのがまず一番ではないかと思います。アーチェリーは黙々と一人でやって出た結果を相手と競うというのが基本のような気がするんですよ。だから、射撃とかに似ています、自分がやった結果を並べて他人と自分の腕前をやってきたことを勝敗を決めるというスタイルですから、敵は自分以外にいないのです。とにかく自分の実力100%近く出して、あとはそれよりもたくさん撃てた人には尊敬の眼差しを送らなければしょうがない。だから今までの練習が力になるそういうスポーツだと僕は思うのです。だから、他の部活でうまくいった方向でアーチェリーがうまくいくかどうかは分からないのではないかと思います。その点自分の独特の学校にあった方法を作ることが大切なのではないかなと思います。

試合方式については、この頃疑問を持ち始めたトーナメント方式についてですが、トーナメント方式が良くないというのではなく、高校の部活動として適当なのかなと思っています。例えば同じ16人でシングルの試合を10回つづけてやって優勝する人とトーナメントで優勝する人とどんな違いがあるか実験したら、多分トーナメントはばらけるだろうしシングルの試合を10回したらなんとなく絞られるような気がする。それが高校のインターハイの教育的部活動である試合方式としてどうかかなと思います。オリンピックはそういう必要性があったと思いますが、高校のインターハイではその必要性は低いと思っています。なぜなら、努力した人が結果が得られるという試合方法の方が教育的であるし、我々もやりやすい。

アーチェリー経験がない先生や、競技歴のない先生方がいらっしゃると思いますが、経験のないことが武器になります。知らないのが強みという、経験のある先生は笑うかもしれませんが、一生懸命やっていると生徒はちゃんと見てますから、ついてきますから、自信持っていんじゃないでしょうか。その反対にアーチェリー経験が邪魔になるというのも確かにあるんです。というのは、例えば、体育教師の資料で専門は、とか書いてあるんですよ。野球とか水泳とかアーチェリーとか書くんですけど過去に競技経験があるというのが専門になるのか。今生徒と一緒に毎日毎日一生懸命やっていることが専門なのか。自分を指導してくれた先生のやり方で生徒に教えるとなると自分より以上の生徒はできない。自分の指導力を高めなければ、過去やったことがあるというだけではダメです。ところがやったことがあるという自己満足で生徒がうまくなるはずという錯覚をするとするならば悲劇ですよ。だから、やったことがない今ゼロから白紙で勉強するんだという方がいいです。生徒はよく見えています。何でも知っているけど勉強してない先生か、何にも知らないけど必死で勉強する先生か。

クラブの指導はボランティアとわりきったほうが一番楽しいですよ。時間もエネルギーも金も生徒達がうまくなり「勝った」というその顔がみたいばっかりにやっているおめでたい人がいっぱいいるわけですよ。他に学校の校務分掌とかいろいろなことがあるし、個人的事情も家庭のこと、友達付き合いのことそれから自分の趣味のこととか独身の人であれば恋人とデートの時間もないとか、いろんな個人的事情が指導者の方の環境の中にある。それをクリアして部活ですから、私はすごいことをやっているという自覚を持っているのではないかと思います。人がやっていない喜びを追求できている立場にある。だから、「いやあ、私はこんどの3月でやめて4月から他の部活をしたいんだ」と思っておられる

先生がいるとすれば是非私と変わっていただきたい。もったいない。私と変わってほしいくらいです。

実際に折尾高校でやったことをここにズラッと並べています。まず、レジメを読んでいただければどんなことをやったのか分かると思うんです。ちょっと違うな、とか時代遅れだということもあるかもしれませんが、私がやったのはだいたいこのくらいです。1つだけ川内から指摘を受けた事ですが、セットアップのところで、私がやっているときは、最初は上に付けといて下げて射ってくる。しかし、韓国のように初めから付けておいて引いてくる。これのほうがシンプルだ、動きが少ないから良いじゃないかということでやろうとしたけど、川内はこうやったほうが肩が決まりやすいので良いそうです。そうとうなトップでなければだめだそうですよ。と指摘を受けました。Simple is the bestというのは、きるだけ動きは少ない方が繰り返しやすい、複雑な動作が繰り返し易いとは信じられませんから、繰り返し易い動作を身に付けよということです。また、沢山射ったら考えなくてもできる動作になると思います。生徒に言ったらおもしろがると思うんですけど、例えばお箸を使うのに考えませんね。丸であろうと四角であろうと、長かろうと短かろうと、滑ろうと滑るまいと少々曲がっててもしゃべりながらも何かを見ながらでも間違いなく口の中にほおりこむでしょ、食べ物を。どんなに短くても間違いなく口の中に入れます。これは一日何百回練習しているから確実になっていて、もう頭が参加しなくてもいい。ちょっと指を伸ばしてとか、力を抜いてとかね、そんなこと考えなくていいんですよ。もう脳みそは無いんです。脊髄から反射がいて必要な動作をしているわけですから、だから、よく私も試合の時には下手な考えは考えるな、同じことを考えて同じことを繰り返すのは難しいことですから、考えることを体の動きに任せなさいと言います。そういう練習をしてきました。

もう一ヶ所これは是非おさえておきたい事です、サイトを付けるところは十点の真ん中ではなく、自分の射ったグルーピングの中心にピンを合わせなさいと言っているんです。十点を狙って狙ったところから外れたと自分は上手いかなかったという心理が働くわけです。ところが私の実力はこの程度である。縦にはずれても横にはずれても私の実力である。これは自分の下手さを認めているわけですよ。だから、どっちにでもばらけても良いようにグルーピングの中心にピンをつける。どうですかね。考え全然違うでしょ。自分が謙虚になるになるのと欲張りなピンづけと違うと思います。そして、このグルーピングは、小さくなるように努力をしよう。これは謙虚ですよ。新入部員なんかも射たしてやりますけど、まず、中学生の部活の概念なんていうのをズタズタにするのが大切みたいです。ズタズタにして真っ白にしてこちらの言うことを100%心から素直に受け入れるような体制にすることが大切なのではないかなと思います。その方法はいろいろあると思いますが、全員集合したらすぐうちます。もう射つんですか、トレーニングしないんですか、これは部活の概念ですよ。『射ちたいから来たんじゃないの』と言ったら『はい、そうです』と言う。『先輩が射っていて



かつこいいな、おもしろそうやなと思ったから希望したんでしょ、賢い選択だよ、用意スタートだよ、中学でバレーボールやってて下手でうまくなくて、まだバレーボールを続けるより、こんどは真っ白になってやり直したらアーチェリーはどうなるか分からない。」と言ってすぐに射たせてやります。ただ、次射ちたいから射った矢をすぐ取りに行ったりいろんなことが起きますから上級生を一人一人つけてます、そのときにすかさず言うんですよ。上級生の2年3年が自分の練習をしないでおまえたちのためにニコニコしながら自分の練習をさいて見てくれるのは感謝しなくては。1年生は2年3年を遠慮なく追い越すように、しっかり2、3年生より何本かずつよけいに練習すれば大丈夫。近づけるかも知れない。2年生は3年生を追い越す楽しみを持っているけれど、1年生に追い越される心配も出てくる。3年、2年、1年というグループに分かれているのは最悪の部の状態で、私の理想は入り混じるのが一番です。勝って楽しむ部活をするからやりたいときだけやって来る人は部をやめてもらう。みんな希望したからみんなスタートさせてあげるけど、「あなたは断るよ」という権利は私はずっと持ちつづけます。上手くなろうという意欲がなくなった部員はいてほしくないんです。それを入学の時に僕は約束します。そのかわり上手くなりたかったら、どんな応援でもする。だから、うちの部活はこういう楽しみを求める人達ばかりでいてほしい。しかし、首にしたこと一回もありません。全員その気になって卒業します。アーチェリー部はトレーニングとかないんです、早く点数を射てるようになれば新人戦に勝てます、それからインターハイだって早く上手くなれば2年生で選手になれて勝てる、高校の2年半というのは、早く上手くなるかどうか勝てるかどうかの分かれ目だと僕はよんでいます。卒業する頃上手くなっても高校の大会では勝つ喜びは味わえないと思います。物理的にそうですよね。だから、早く上手くなるのが大切です。そのうちに卒業してどこかの大学にいつて明るい見通しの道というのは今のところ僕は感じていませんから、高校時代に早く上手くなって勝つ楽しみを高校の大会で味わってほしい。そういう生徒の顔を見たい。正直な願望です。それのお手伝いをしたい。私は生徒の勝つ顔を見たい、喜ぶ顔を見たい。だから早く上手くなるのが大切です。早く上手くなるということは点数をたくさん射てる選手になってほしい。筋力が強くなったりトレーニングして体力を作ったりする時間がない。点数を沢山射つための練習が大切なんです。トレーニングやったら良いに決まってるんですけど、やる時間がない。やってたら他の学校に一步遅れて2番目にしかならない。だから、トレーニングの時間はカットです。その代わり家でやったら良いよとか、毎日15分やったら一週間でこんなに違うとか。そして、生徒に一つだけ約束させます。他の部員がどんなことをやっているかお互いが必ず気になり聞くから、その時の答えは一つ今から言う通り「何もしてない」と言え。すると、何もしてないと言われたらしてるような気がして、自分ももっとしなければいけないと思うらしいんです。それで上手くなりましたよ。それで電話したらテレビなんてあまり見てませんとか言って、だって、何もしてないという友達が何かしているに違いないと分かってますから、やってなくても疑心暗鬼になってるんです。いい意味で疑心暗鬼になっている。自分を奮い立たせてやっている。これは間違いなく親が証言してくれますから。あれは上手くなりましたね。「何もしてない」と言え。絶対言え。自分がこんなことしてると言ったら自分が負けるわけだから、先生の言った通り何もしてないと言え。これはおもしろかったです。火の玉みたいにやった。で、部活の心得では生徒達に目標をはっきり言ってます。私もレクリエーションの汗流しの楽しみのために部活をしたり時間やエネルギーを費やされるのは嫌ですから、希望のある部活を自分の好みというのか勝って喜ぶ部活をし

たいわけですから、それ以外の部活はしたくないですから、ちゃんと部員とは約束しています。

全国スタートは横一線、早く上手くなれば楽しいことが待っているということなんですけど、それはその通りだと思います。早く上手くなれば勝てます。これが一番大切ですね。そのために何をするか、どうするかですよ。それに本来戦争や狩猟に使われた道具ですから、こっちも相手よりも早く正確に射たないと向こうから飛んできた矢にやられるかもしれない。その精神は絶対当てるぞという精神じゃないかなということをよく言います。

ゴルフは99%の時間はプレイしていない時間だそうです。だから、プレイしていない時間をどう過ごすかが重要になってきます。次のプレイのためにどう準備するのか、ボーッとしたり一番結果がいいのか、何か意図的にやって過ごす方が次の結果がいいのか。1回目の6射の得点が、2回目、3回目、4回目、5回目の平均よりも悪い。計算すればすぐ分かりますよね。1回目、2回目、3回目、4回目、5回目の平均よりもこっちの方が悪い。低いんです。スタートが悪い。そういう選手が結構居ったりする。そうしたら、そいつがどいてこれが平均の通りに7回目が撃てたら点数がだいぶ上がるんですよ。これはもったいない。2回目からいかないと。で1回目がどいて2回目から本当の競技を始めるために、例えばランニングただけかとか、体操ただけか、縄跳びか、それかじーっとして十分間瞑想しているほうがいいのかどうか、様々な実験を全員でやります。そうしたら人によって違うんですけど、素引きを30回したらいい、50回はやり過ぎとか。私は素引き30回が一番いいとかね。毎日の練習の前にちょっと実験すればどんどんデータが取れます。何か工夫をし変わった結果が出るとうれしいですね。次に生徒によく言うことは、シューティングライン上では、二重人格を使い分けろと言うことです。シューティングラインと普段とを変えなさい。シューティングラインでは勝利への鬼、離れたらカワイイ娘に戻れです。

また、お金をかけよです。すべて学校が持つのは生徒をだめにする。自分のお金を出して、それが高いか安いかがです。ぜひ安い物にしよう。

最後に「生徒をよく知る」それを知っての指導であると思います。

※講演のテープから文章にしました。時間の関係上シューティング技術についての講演はあまりされず質疑には入りましたので、先生の作っていただいたレジメを付けさせていただきます。

私の部活指導

1. ・スポーツ観 ・アーチェリー観 ・組織（高体連、協会） ・試合方法について
・アーチェリー情報 ・専門とは ・ボランティア ・校務 ・生徒の進路
・保護者、クラス担任との連携 ・個人的事情

2. 新入部員大歓迎!! さあ、射ってみよう（自己紹介など）

- ・安全指導 ・マンツーマン体制 ・感動 ・ビデオ撮影 ・上級生に感謝
（・2～3週間何かい出しまで続ける ・新入部員歓迎タケノコ狩り）

◎中学ガキをズタズタにしてあげましょう。「入部を拒否する権利を保有し続けます」

3. 部活心得など ー勝利を楽しむために 早く上手くなるために「楽しく頑張る」ー

- 目覚めよ本能 ○職人になれ ○自分のためにやる ○心が一番 ○練習点を高める
- まっすぐ引いてまっすぐ分かれる ○勉強とアーチェリー以外何をどれだけカットできるか
(時間 エネルギー お金など、試験中でも試合はある) ○変心(身) = 成長
- ・弓を置いても何かが残る教育的部活動をめざす たかが…ができない者に何ができる
- ・折尾高校の模範生徒になれ 校則違反、約束違反は練習停止(見学)
- ・部員=親友=ライバル(県 九州 全国 世界) ・遅い者、劣る者に合わせるな
- ・全国スタートは横一線 はやく上手くなれば楽しいこと(勝利)が待っている
- ・生きるために狩猟や戦争に使われた道具「当たればいいな」なんて甘い甘い
的を射ぬけ 矢を置きにいくな
- ・練習場へはウキウキと走ってこい 準備運動をして他部員より1本でも多く射て
- ・上手くなる練習だけやれ 悪条件はチャンス(豪雨 強風 体調不良など)
- ・試合中のプレイ時間の合計は10%(ゴルフ1%) 和弓 射撃 [他の時間は?]
- ・二重人格を使い分けよ シューティングラインでは勝利への鬼 離れたら カワイイ娘
に戻れ
- ・お金をかけよ ・カリカリしたり落ち込んだりしたら当たる? ではどうぞ
- ・試合では練習より速く射て 身体の動きを信じよ(お箸使い) 下手の考え休むに似
- ・心が揺れれば矢も揺れる ・緊張感を楽しむ ・+思考(指導者も)
- ・勝者らしい態度で行動せよ

4. シューティング技術 ーSimple is the best.ーいつでもどこでも繰り返しやすい動き

◎基本は絶対 [・スタンス・セット・セットアップ・ドロ잉・アンカー(フルドロ)・リリース・フォロースルー]

☆スタンス ・前足は狙う点と後ろ足の先端とを結ぶ線から半足あける

- ・両足の直上に両腰 その直上に両肩
- ・両足裏平均にベタッと立て けして踏ん張ったり突っ張ったりしない
- ・揺れる小枝でも平然としている鳥に学ぼう ・犬の尻尾

☆セット ・クリッカー レスト ポイント シャフト 羽根 ノック [チラリとチェック]

- ・心地よい矢つがえの音(ノッキングポイント)
- ・グリップの深い部分(ピボットポイント)を一番強く押す
- ・とりかけは深がけ 指と肘の間は紐(指3本の力の配分) 親指と小指の形
- *グリップ→とりかけ→肘が一直線になるよう少し引き分ける
- ・「顔むけ」両目を結ぶ線は地面と平行 鬼ごっこがヒント(→アンカー)
- ・「顔むけ」をきめたらフォロースルーまで両腕以外は微動だにしない

☆セットアップ ・*のまま矢を地面と平行に保ち 息を吸いながらサイトピンと狙う点が合う
高さまで上げる

- ・狙う点に向けた矢に添って グリップ→とりかけ→肘は1直線
- ・全身のバランス 両肩(特に押手の肩) 肘 手首の位置ぎめと各所の筋肉
(とくに背筋)の力感などをいつも同じかを視認、体感

☆ドロ잉 ・軽く息を洩らしながら引き分ける感覚で(押し手の動きが少ない)

- ・効き目(右うちは右)の真下方向に矢を左右に揺らさずまっすぐに引く
- ・押し手は支える感覚(三角筋、背筋) 引き手のとりかけは肘が動くから

肘は上碗が動くから 上碗は背筋が動くから動く

・弓 弦は垂直のまま ねじらない

☆アンカー

・用意された顎の下へ1直線（ポイント確認）

・顎 唇 鼻のセンターに弦圧を確認出来るように触れる 弦サイト確認
親指は首筋に触れる〔左右固定〕

・下顎骨（右）ととりかけ人指し指の上骨が面で 上下の歯も触れている
〔上下固定〕

・息は漏れている 矢は超スローで動いている（逆動禁止）

・サイトを通して狙う点は自分のグルーピングの中心点

☆リリース

・ここまでの準備の成否と矢の飛び出しスピード 方向がこの1瞬で決まる
見ながら考えながらは出来ない部分

・クリッカーは超スローで落とす→音 振動（雨、風、つられ、騒音）

・残した息をいっきに吐く と同時に左右の手は（大本は 背筋）矢線の前
方向に同時に同じ強さで分かれる

「真っ直ぐ引いて真っ直ぐ分かれる」

・素直に飛び出す弓の邪魔をしない 左右同時グーパー練習

・とりかけ指は脱力 筋力で開かない 「雨後の露」（弓道書）

・アンカーからリリースまで3秒前後の所で安定せよ

☆フォロースルー

・終わりよければ、すべてよし。（確認 反省）

・リリースした掌は後ろ向き 脱力の形 人指し指は一定の所に

・矢を追うな 逃げ殻になるな 心配しても喜んでもモウオソイ矢は飛んでいる

5. 練習法、その他

・一斉練習 ・課題練習 ・自主練習 ・個人特別練習 ・最初の一本 ・ユニフォーム

・シャドウ ・紐 ゴムを使って ・近射 ・距離（600点→5m） ・30→70

・ひたすらに沢山うつ ・千本うち ・10秒×6 ・3+3 ・矢取りダッシュ

・平均台 ・渡り鳥 ・大的↔小的 ・5点うち ・みかん、風船うち ・パチンコ

・トレーニングについて ・休養日（息抜き リラックス） ・癖の矯正 ・焚き火

・弓具について ・集中力について ・けが 故障 病気

平成12年1月8日

文責 岡 部 美義男（前折尾高校アーチェリー部顧問）

〒809-0036 福岡県中間市長津1-10-30

TEL FAX (093) 245-0016

全高ア専ホームページについて

全国高体連アーチェリー専門部ではインターネット上にホームページを開設しています。内容は下記のようなものです。会報とは違った全国の高校生アーチェリーや顧問の先生方との双方向かのコミュニケーションを、目指しています。また、全国大会の出場やその予選記録、立ち順などの速報を行っています。ぜひご利用ください。

1、内 容

◎全高ア連の紹介

◎全国大会の速報

- ・ 出場者、予選記録、立ち順
- ・ 成績速報

◎質問コーナー

技術・ルール・競技方法などについての質問・疑問をEメールで寄せていただき、それにお答えします。

◎お便りコーナー

皆さんのお便りを待っています。

2、アクセスの仕方

◎URL

<http://www.asahi-net.or.jp/~si7o-sk/>

- ・ アクセスする場合は上記のURLをブラウザ上で入力してください。
- ・ ブラウザーはフレームを使用していますので、ネットスケープナビゲーター3.0あるいはインターネットエクスプローラー3以上を使用してください。
- ・ URLのニョロマーク「~（チルダ）」はWindowsの場合「shift」キーを押しながらキーボード上段数字キーの「0わ」の2つ右隣の「^へ」で入力できます。Macの場合はキーボード通りです。

◎Eメールアドレス

si7o-sk@asahi-net.or.jp

- ・ Eメールは上記アドレスですが、ホームページ内のメールボタンを押せば入力する必要はありません。

お問い合わせ、ご意見ご希望がありましたらどしどしお寄せください。生徒の皆さんの声も待っています。

問い合わせ先 〒545-0002

大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19 大阪女子高校内

全高ア専 総務委員会 佐 幸 修

会員登録用紙について

平成12年度高校生の社団法人全日本アーチェリー連盟ならびに全国高体連アーチェリー専門部への登録の処理に当たり指定学校番号・男女別選手登録欄・集計欄・登録料等お間違えのないように、確認の上登録手続きを5月20日(土)必着(一次締め切り)までに行ってください。

なお 各都道府県専門委員長、代表者の方は各加盟高等学校に配布し登録手続きをスムーズに運営していただきたいと思います。

登録に関する送付書類と枚数

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. 新登録用紙 (A4判) | 昨年度の登録学校数+2部
(学校・選手登録用紙と指導者登録用紙) |
| 2. 登録用紙の記入例見本 | 昨年度の登録学校数+2部 |
| 3. 指定都道府県番号一覧表資料 | 昨年度の登録学校数+2部 |
| 4. 登録用紙の流れの手順について説明 | 昨年度の登録学校数+2部 |
| 5. 振込用紙 (銀行) | 2枚 |
| 6. 平成11年度都道府県登録状況報告書 | 2枚 |

【注意】

◎登録料・負担金は各都道府県でまとめて一括で振り込んで下さい、提出締め切り日をお忘れなく、早めに処理をお願いします。

◎不足登録用紙が発生したときはお手数ですがコピーをして処理して下さい。

◎学校番号は会報の学校登録一覧表 (P9～) を参考に、お間違えのないように記入をお願いします。

◎新規学校は新たな番号で、昨年登録し今年度未登録学校の番号は空き番号で処理お願いします。

◎男子番号・女子番号の間違い、学校登録番号等のミス無くして下さい。

◎選手登録用紙・指導者登録用紙がA4判に変わりました、旧録用紙は廃棄。

◎個人登録番号は男子は→1001 ・女子は→5001 より各学校で付記します。

(例) ○○H00-1001男子 ○○H00-5001女子

平成12年度 専門部会員登録加盟方法 費用の送金方法について

選手登録料・学校登録料は各都道府県でまとめて一括振り込みをお願いします、振込金額を確認し、会員登録の提出締め切りを厳守して、遅れないように登録手続きを行って下さい。

なお 専門部顧問指導者登録を受け付けております。別紙登録用紙（H11よりA4判に変更）に記入し登録料金（顧問一人千円）の支払いをお願いします。

《できるだけ、審判資格取得者は一般登録か指導者審判員登録をお願いします。》

1. 加盟・登録方法について（高等学校生徒の場合）

各都道府県で登録用紙・登録料・学校負担金を集計され、一括して全国高体連アーチェリー専門部事務局へ登録用紙5部すべてを簡易書留にて郵送して下さい。

【各都道府県での登録用紙を学校別（5枚一組）にまとめ、学校数すべての用紙を、銀行振込証明書と共に郵送すること】

2. 会員登録料及び学校負担金について

各都道府県で取り纏めて、代金を指定の銀行振り込み用紙を用いて振込手続きを行い、会員登録料振込済証明書を登録用紙に添付（1枚目の登録用紙）し、事務局へ簡易書留にて郵送する。

1) 会員登録料について

① 選手1人につき1,300円（送付金は1人1,100円）

各所属都道府県ア協会に支部登録料として選手1人200円を支払い残りの1,100円を全国専門部事務局まで

② 学校負担金について

- | | | |
|--------------------------|-------|--------|
| ・単独校（男子のみ女子のみの学校） | 一校につき | 4,000円 |
| ・複数校（男女共学で両方に登録がある場合） | 一校につき | 8,000円 |
| ・複数校（男女共学でいずれかしか登録しないとき） | 一校につき | 4,000円 |

③ 顧問登録（審判無資格顧問が対象）1人につき1,000円、審判有資格顧問2・3級は3,000円・1級取得者は4,000円が望ましい。

（注意）

- ①全日本アーチェリー連盟の通達により、平成12年度より登録料が値上げされています。
- ②登録用紙金額欄の金額を変更した新登録用紙になっています。
- ③旧登録用紙廃棄してください。
- ④顧問登録料は現状のまま据え置かれました審判資格顧問は一般登録か指導者審判員登録をお願いします。

平成12年度用



登録届記入方法

指定都道府県番号

別紙・資料 Ⅵ 1 参照

該当項目に○をして
正式学校名を記入

都道府県名を記入し
該当項目に○をする

西暦で記入

各都道府県高体連
加盟学校指定番号

別紙・資料Ⅻ2 参照

20 年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

 $\frac{1}{1}$ 、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{2}{2}$ 等

(AG /)	
---------	--

郵便番号を記入し
正確な所在地を記入

所 属	都・道・府・県 了 【高体連専門部 協会（連盟）】	加盟団体登録番号	第 H 号
	都・道・府		

学校長名を記入
し公印を押す

学校の電話番号を記入
〔 〕内は市外局番
()内は市内局番
()の後に番号

所在地	●□□□-□□		
電話	() ()	FAX. 係	() ()
担当者	代表者		

FAXが設置している場合は記入
記入の仕方は電話と同様に記入

顧問の先生方全員の
氏名を記入
代表者は認印を押す

[illegible]

各学校毎に
女子は5001番より
男子は1001番より
順番に記入

女子生徒のみ又は男子生徒のみが登録している学校は、該当する項目に○を

学年は3・2・1年の
順番で記入
年齢は4月1日を起算
としての年齢を記入

女子生徒及び男子生徒
が登録している学
校の場合に○を

種別	人数	女子	男子	合計	金額	チェック	県体育連署	都道府県監	全体育連署	全日本連署
単独校	1年				単独校負担金＝4000円	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日
	2年				複數校負担金＝8000円	担当者名				
	3年				1100円×人＝▲円	確認印	印	印	印	印
複數校	合計				合計金額＝	日 欄 考				

各学年、女子、男子
別に人数を記入し、
合計を記入。合計と
合計の交わる欄は総
合計人数を記入

- (1) 記入は、様書き黒ボールペンを使用してください。また、数字はアルファベット数字で入力してください。
- (2) 登録票用紙は、各学校で原本1部（封入の上）を作成し、4部をコピーして以下5部全てを送付ください。
- 5部の内訳：全日本アスレチー連盟提出……………1部 全国高等学校体育連盟アスレチー専門部局……………1部
各都道府県アスレチー協会（連盟）……………1部 各加盟高等学校……………1部
各都道府県高等学校体育連盟アスレチー専門部事務局……………1部
- (3) 登録票提出先：〒300 埼玉大東市宮内1丁目615 大宮副成高等学校内
「全国高等学校体育連盟アスレチー専門部事務局」

該当する項目に○をし
生徒1人当たり1100円
を掛けた金額を記入し
合計金額を記入する

当人の掛金100円を、生徒に200円、その他に200円、その額を送る。

個人1人当たり1,300円
(1,100円専門部・協会200円)

指定都道府県番号表

指 都 番	定 道 府 県 号	都道府県名	指 都 番	定 道 府 県 号	都道府県名	指 都 番	定 道 府 県 号	都道府県名
1		北海道	17		長野	33		岡山
2		青森	18		富山	34		広島
3		岩手	19		石川	35		山口
4		宮城	20		福井	36		香川
5		秋田	21		静岡	37		徳島
6		山形	22		愛知	38		愛媛
7		福島	23		三重	39		高知
8		茨城	24		岐阜	40		福岡
9		栃木	25		滋賀	41		佐賀
10		群馬	26		京都	42		長崎
11		埼玉	27		大阪	43		熊本
12		千葉	28		兵庫	44		大分
13		東京	29		奈良	45		宮崎
14		神奈川	30		和歌山	46		鹿児島
15		山梨	31		鳥取	47		沖縄
16		新潟	32		島根			

★個人登録番号の付記について

- 指定都道府県番号はHの前に 例：東京都の場合

13

 H -
- 指定学校番号はHに続いて 例：東京都の玉川学園高校の場合 13H

06

 -
- 個人登録番号を一の後に男子は1001・女子は5001より各学校で付記
例：東京都の玉川学園高校の場合 13H06-1001 (男子の場合)
13H06-5001 (女子の場合)

(選手用)

20 年全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

(N O /)

所 属	都・道・府・県		高体連専門部 協会(連盟)		学 校 名 団体名称		都・道・府・県・市・私 立		加 盟 団 体 登録番号		第 H 番		番	
所 在 地	〒						学校長名				職印			
電 話 番 号	()		FAX番号		()		願 貸 問 者						印	
8月	女 子 登 録 者		8月		男 子 登 録 者									
登録番号	氏 名	学 年	年 齢	S 生 年 月 日	登録番号	氏 名	学 年	年 齢	S 生 年 月 日					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					
H -				・ ・	H -				・ ・					

該当種別を○				☆登録集計は最終用紙に記入				送金額を確実に				※用紙の流れ○学校→高体連→協会→全日本連盟→協会→全国高体連→協会→高体連→学校			
種 別	人 数	女 子	男 子	合 計	金 額	金 額	チエック	郵送府県了高体連	郵送府県了協会	全国高体連専門部	全日本了連盟				
単 独	1年				単独校負担金 = 4,000円	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日				
校	2年				複数校負担金 = 8,000円	担当者名	印	印	印	印	印				
複 数 校	3年				1100円× 人 = 円	確認認印	印	印	印	印	印				
校	合計				合計金額	備 考									

★(1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。
(2) 登録用紙は、各学校で原本1部(朱印の上)を作成し、4部をコピーして必ず5部全てを送付のこと。
5部の内訳: ●全日本アーチェリー連盟提出・・・1部 ●全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・・・1部 ●各都道府県アーチェリー協会(連盟)・・・1部
●各加盟高等学校・・・1部 ●各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部・・・1部 ●各都道府県アーチェリー協会(連盟)・・・1部
(3) 登録用紙の提出先: 〒330-8567 埼玉県大宮市堀ノ内1-615 大宮開成高等学校内 全国高体連アーチェリー専門部 事務局宛

指導者登録・顧問登録用

20 年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

(No /)

所 属	都・道・府・県	高体連専門部 協会（連盟）	加 都 道 府 番	盟 県 号	第	番
加盟団体 名称				専 門 部 長 名 会 長 名	職印	
委員長 責任者名	印 .					
事務 局所	〒			電 話	F A X	
登 録 者						
登録番号	氏 名	性別	年齢	生 年 月 日	自 宅 住 所	所属学校・事業所名
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	
H -				. .	〒	

82

登 録 集 計		金 額	チェック	都道府県ア高体連	都道府県ア協会	全国高体連専門部	全日本ア連盟
男 子		1,000 円 × 人	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日
女 子		1,000 円 × 人	担当者名				
合 計		合計金額 = 円	確認認印	印	印	印	印

- ★ (1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。
- (2) 登録番号の割り振りは、Hの頭に都道府県番号・Hの次に指導者が所属している学校番号・-の次に4桁番号で頭に必ず9を付けて記入する。
(例 01H01-9001 → 北海道番号 H 指導者の所属している学校番号 - 指導者登録番号)
↑ 番号は千の桁に9を必ず付けて、百桁より登録順に整理する、001～順に。
- (3) 登録用紙は、各都道府県で原本1部（押印の上）を作成し、4部をコピーして必ず5部すべてを送付すること。
- (4) 登録用紙の提出先：〒330-8567 埼玉県大宮市堀ノ内1-615 大宮開成高等学校内
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 事務局宛

選手権大会 栄光の歩み

(第1～19回：1日制、第20回～：男女別2日制で実施)

回数	男・女	団体の部	個人の部
第1回大会 (68'8.10.大阪府・東大阪グランド)			
男子	浜松興誠高(静岡)	1639.	稲川篤郎(浜松興誠高) 577.
女子	同志社高(京都)	1419.	布浦裕子(同志社高) 503.
第2回大会 (69'8.10.静岡県・県営草薙運動場)			
男子	岸和田産業高(大阪)	1689.	下向辰法(岸和田産高) 573.
女子	同志社高(京都)	1470.	布浦裕子(同志社高) 529.
第3回大会 (70'8.9.東京都・駒沢第一球技場)			
男子	岸和田産業高(大阪)	1606.	伊藤寿彦(岸和田産高) 601.
女子	同志社高(京都)	1505.	熊谷登美(同志社高) 527.
第4回大会 (71'8.1.京都府・府立大グランド)			
男子	浜松工業高(静岡)	1622.	亀井孝(同志社高) 600.
女子	甲南女子高(兵庫)	1493.	井上典子(同志社高) 534.
第5回大会 (72'8.4.神奈川県・三ツ沢球技場)			
男子	横浜高(神奈川)	1702.	角井和夫(広島工業高) 583.
女子	浜松北高(静岡)	1601.	辻紀子(甲南女子高) 552.
第6回大会 (73'8.5.東京都・駒沢第一球技場)			
男子	愛知高(愛知)	1764.	鈴木優(静岡三ヶ日高) 621.
女子	同志社女子高(京都)	1553.	辻紀子(甲南女子高) 558.
第7回大会 (74'8.3.滋賀県・県営彦根総合運動場)			
男子	同志社高(京都)	1707.	河内敏雄(同志社高) 600.
女子	同志社女子高(京都)	1644.	後藤有理子(同志社女高) 573.
第8回大会 (75'8.3.愛知県・愛知学院大グランド)			
男子	大阪工業大高(大阪)	1753.	梅内秀和(八戸工大第二) 646.
女子	同志社高(京都)	1586.	小里頼子(札幌啓成高) 551.
第9回大会 (76'8.1.北海道・札幌真駒内アイスアリーナ)			
男子	三本木農業高(青森)	1810.	市川松治(三本木農高) 633.
女子	富士見高(静岡)	1686.	佐野敦子(富士見高) 592.
第10回大会 (77'7.31.宮城県・秋保森林スポーツ公園)			
男子	慶応義塾高(神奈川)	1817.	神野浩(慶応義塾高) 627.
女子	浜松商業高(静岡)	1724.	松永弘子(富士見高) 607.
第11回大会 (78'7.27.青森県・十和田市陸上競技場)			
男子	愛知高(愛知)	1785.	山本博(横浜高) 639.
女子	三本木農業高(青森)	1641.	山内京子(浜松商業高) 570.
第12回大会 (79'7.29.広島県・県営総合グランド)			
男子	浜松工業高(静岡)	1836.	山本博(横浜高) 630.
女子	山陽女子高(広島)	1641.	大道理枝(山陽女子高) 582.
第13回大会 (80'8.3.滋賀県・秦荘町民スポーツセンター)			
男子	横浜高(神奈川)	1925.	山本博(横浜高) 670.
女子	千葉英和高(千葉)	1739.	大道理枝(山陽女子高) 618.
第14回大会 (81'8.2.東京都・駒沢第二球技場)			
男子	名古屋電気高(愛知)	1888.	岐部恭史(大阪工大高) 640.
女子	大津商業高(滋賀)	1794.	名倉裕子(浜松工業高) 621.
第15回大会 (82'8.1.群馬県・川場中学校グランド)			
男子	丹南高(福井)	1817.	薄井雅美(馬頭高) 625.
女子	富士見高(静岡)	1682.	平田さゆみ(札幌月寒高) 598.
第16回大会 (83'8.7.奈良県・三宅健民運動場) ㊤雷雨の為、団体・個人共に63射迄の記録			
男子	馬頭高(栃木)	1650.	池田辰弥(慶応義塾高) 571.
女子	大津商業高(滋賀)	1587.	岩波ひろみ(大津商業高) 543.

第17回大会 (84' 8.5. 鳥取県・東郷湖羽合臨海公園スポーツ広場)			
男 子	米 子 北 高 (鳥 取)	1904.	松 田 武 文 (米 子 北 高) 643.
女 子	札 幌 啓 北 商 業 高 (北海道)	1816.	山 本 和 美 (札幌啓北商高) 620.
第18回大会 (85' 8.11. 山梨県・敷島総合公園運動場)			
男 子	米 子 北 高 (鳥 取)	1889.	室 伏 優 一 郎 (横 浜 高) 650.
女 子	大 津 商 業 高 (滋 賀)	1789.	児 玉 晶 子 (米 子 北 高) 648.
第19回大会 (86' 7.27. 沖縄県・宜野湾市海浜公園多目的広場)			
男 子	横 浜 高 (神奈川)	1787.	蓮 田 秋 二 (東京学園高) 629.
女 子	札 幌 啓 北 商 業 高 (北海道)	1753.	中 込 恵 子 (甲 府 第 一 高) 612.
第20回大会 (87' 7.25~26. 京都府・日吉胡麻総合運動広場)			
男 子	三 本 木 農 業 高 (青 森)	1876.	鎌 田 芳 彰 (幕 別 高) 643.
女 子	折 尾 高 (福 岡)	1775.	大 城 春 野 (宜 野 湾 高) 611.
第21回大会 (88' 7.26~27. 北海道・旭川市)			
男 子	北 大 津 高 (滋 賀)	1883.	吉 田 賢 (甲 府 第 一 高) 657.
女 子	折 尾 高 (福 岡)	1881.	岩 山 美 保 (折 尾 高) 635.
第22回大会 (89' 7.26.~27. 福岡県・北九州市)			
男 子	柏 陵 高 (福 岡)	1685.	山 本 敦 (永 谷 高) 603.
女 子	旭 川 北 高 (北海道)	1802.	鈴 木 知 子 (桜 丘 高) 634.
第23回大会 (90' 7.27.~28. 石川県・柳田村)			
男 子	柏 陵 高 (福 岡)	1917.	宮 永 雅 史 (柏 陵 高) 657.
女 子	折 尾 高 (福 岡)	1796.	森 本 淳 子 (同 志 社 高) 626.
第24回大会 (91' 7.27.~28. 山形県・鶴岡市)			
男 子	同 志 社 高 (京 都)	1813.	藤 原 悟 (広 島 工 業 高) 630.
女 子	折 尾 高 (福 岡)	1681.	岡 野 善 恵 (甲 南 女 子 高) 578.
第25回大会 (92' 7.26.~28. 香川県・財田・仲南町)			
男 子	横 浜 高 校 (神奈川)	1880.	木 村 正 純 (横 浜 高 校) 650.
女 子	横 浜 学 園 (神奈川)	1828.	川 上 祐 佳 里 (柏 陵) 639.
平成5年度 全国高等学校総合体育大会 第26回大会 ('93 8.1~4. 栃木県・馬頭町)			
男 子	横 浜 (神奈川)	234.	木 村 正 純 (横 浜) 656.
女 子	大 分 東 明 高 (大 分)	205.	山 岡 麗 子 (横 浜 学 園) 629.
平成6年度 全国高等学校総合体育大会 第27回大会 ('94 8.6~8. 富山県・宇奈月町)			
男 子	柏 陵 (福 岡)	244.	桜 井 隼 (東 京 工 業) 654.
女 子	甲 南 女 子 (兵 庫)	218.	河 崎 由 加 里 (山 陽 女 子 高) 639.
平成7年度 全国高等学校総合体育大会 第28回大会 ('95 8.2~4. 広島県・広島市)			
男 子	愛 産 大 三 河 (愛 知)	221.	村 越 永 人 (田 村 高) 669.
女 子	山 陽 女 子 (広 島)	207.	富 島 優 (甲 南 女 子 高) 643.
平成8年度 全国高等学校総合体育大会 第29回大会 ('96 8.2~5. 山梨県・竜王町)			
男 子	大 分 東 (大 分)	222.	山 県 朝 太 郎 (富 士 見) 102.
女 子	菟 道 子 (京 都)	218.	大 津 留 由 香 (大 分 東 明) 79.
平成9年度 全国高等学校総合体育大会 第30回大会 ('97 8.4~8. 京都府・日吉町)			
男 子	東 海 大 二 (熊 本)	224.	藤 原 真 也 (横 浜) 105.
女 子	永 川 (熊 本)	196.	勝 俣 比 呂 美 (小 田 原 城 内) 99.
平成10年度 全国高等学校総合体育大会 第31回大会 ('98 8.8~11. 香川県・丸亀市)			
男 子	愛 産 大 三 河 (愛 知)	221.	加 藤 桂 規 (愛 産 大 三 河) 100.
女 子	鳥 取 商 業 (鳥 取)	183.	梅 田 舞 (永 川) 104.
平成11年度 全国高等学校総合体育大会 第32回大会 ('99 8.2~5. 岩手県・松尾村)			
男 子	奈 良 高 校 (奈 良)	224.	青 山 哲 也 (愛 産 大 三 河) 105.
女 子	菟 道 高 校 (京 都)	205.	松 下 紗 耶 未 (明 星) 103.

選 手 権 大 会 記 録

OLYMPIC ROUND

Qual. Round (72)	青山 哲也	愛知産業大三河高・愛知	642	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.3	岩手・松尾村
MATCH (18)	青山 哲也	愛知産業大三河高・愛知	168	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
MATCH (12)	青山 哲也	愛知産業大三河高・愛知	168	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
MATCH (36)	青山 哲也	愛知産業大三河高・愛知	314	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
Qual. Round (3×72)	伊藤 裕司 水原 良光 神崎 勝己	千葉黎明高・千葉	1815	平成11年度全国高校総合体育大会 (伊藤613、水原603、神崎599)	99.8.3	岩手・松尾村
TEAM MATCH (3×9)	青山 哲也 松崎 正 牧 準也	愛知産業大三河高・愛知	233	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.5	岩手・松尾村
TEAM MATCH TOTAL (2×27)	青山 哲也 松崎 正 牧 準也 木次 将史 高崎 真一 小寺 功	愛知産業大三河高・愛知 奈良高・奈良	445	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.5	岩手・松尾村

OLYMPIC ROUND

Qual. Round (72)	松下沙耶末	明星高・大分	612	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.3	岩手・松尾村
MATCH (18)	松下沙耶末	明星高・大分	159	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
MATCH (12)	松下沙耶末	明星高・大分	106	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
MATCH (36)	松下沙耶末	明星高・大分	302	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.4	岩手・松尾村
Qual. Round (3×72)	村上亜裕美 松本 薫 梅田 舞	永川高・熊本	1691	平成11年度全国高校総合体育大会 (村上586、松本580、梅田525)	99.8.3	岩手・松尾村
TEAM MATCH (3×9)	山路 陽子 渡辺万由美 岡本 玲子	甲南女子高・兵庫	225	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.5	岩手・松尾村
TEAM MATCH TOTAL (2×27)	西橋 理恵 山田 朝子 中川 都	菟道高・京都	407	平成11年度全国高校総合体育大会	99.8.5	岩手・松尾村

選抜大会 栄光の歩み

【男 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	90m 70m 50m 30m	期 日	開 催 地
1	河 合 徳 之	浜 松 工	1199	246. 309. 306. 338.	'83.3.25-27	愛 知・森林公園
2	角 田 信 一	馬 頭	1154	259. 277. 294. 324.	'84.3.25-27	静 岡・富 士 市
3	松 田 武 文	米 子 北	1131	208. 288. 301. 334.	'85.3.25-27	滋 賀・秦 荘 町
4	田 中 喜美男	横 浜	1198	265. 300. 294. 339.	'86.3.25-27	福 井・芦 原 町
5	和 田 和 則	馬 頭	1174	234. 269. 307. 317.	'87.3.25-27	東 京・駒沢公園
6	荒 金 利 剛	米 子 北	1164	237. 282. 318. 327.	'88.3.25-27	大 阪・久米田高
7	於 久 直 人	北 大 津	1250	273. 319. 315. 343.	'89.3.25-27	神奈川・横 浜 高
8	赤 井 雅 宏	北 大 津	1200	252. 307. 306. 335.	'90.3.25-27	兵 庫・神 戸 市
9	田 中 勝 美	横 浜	1214	277. 321. 291. 322.	'91.3.26-28	愛 知・愛学院大
10	厚 海 善 栄	田 村	1216	259. 316. 307. 334.	'92.3.25-27	京 都・山城総合
11	木 村 正 純	横 浜	1232	249. 312. 326. 345.	'93.3.25-27	静 岡・草 薙
12	園 田 孝 史	横 浜	1282	292. 322. 322. 346.	'94.3.27-28	滋 賀・長 浜 市
13	松 田 浩 行	柏 陵	1288	296. 322. 322. 348.	'95.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
14	高 松 大 輔	三 重	1238	264. 309. 323. 342.	'96.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
15	牧 山 雅 文	佐賀蔵木	1131	214. 3278. 298. 341.	'97.3.26-28	茨 城・波 崎 町
16	伊 藤 進 一	愛産大三河	1239	272. 317. 322. 328.	'98.3.26-28	静 岡・掛 川 市
17	青 山 哲 也	愛産大三河	1266	279. 318. 325. 344.	'99.3.26-28	静 岡・掛 川 市
18	小 泉 直 也	水戸桜ノ牧	1192	259. 292. 308. 333.	'00.3.26-28	静 岡・掛 川 市

【女 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	70m 60m 50m 30m	期 日	開 催 地
1	上鹿渡 由 美	北海道清水	1183	285. 303. 270. 325.	'83.3.25-27	愛 知・森林公園
2	田 中 志 律	千葉英和	1124	257. 268. 274. 325.	'84.3.25-27	静 岡・富 士 市
3	藤 本 正 美	大津商業	1195	265. 299. 296. 335.	'85.3.25-27	滋 賀・秦 荘 町
4	大 城 春 野	宜 野 湾	1153	276. 286. 272. 319.	'86.3.25-27	福 井・芦 原 町
5	松 宮 真由美	丹 南	1207	283. 299. 306. 319.	'87.3.25-27	東 京・駒沢公園
6	近 藤 真 弓	信愛学園	1216	287. 312. 292. 325.	'88.3.25-27	大 阪・久米田高
7	小 山 美代子	兔 道	1237	291. 314. 304. 328.	'89.3.25-27	神奈川・横 浜 高
8	高 木 祐 子	富 士 見	1177	263. 289. 305. 320.	'90.3.25-27	兵 庫・神 戸 市
9	谷 口 和 子	折 尾	1214	288. 316. 280. 330.	'91.3.26-28	愛 知・愛学院大
10	大 内 愛	山陽女子	1215	294. 304. 293. 324.	'92.3.25-27	京 都・山城総合
11	山 岡 麗 子	横浜学園	1235	293. 313. 295. 334.	'93.3.25-27	静 岡・草 薙
12	今 福 織 江	大分東明	1297	315. 321. 318. 343.	'94.3.27-28	滋 賀・長 浜 市
13	富 島 優	甲南女子	1271	292. 319. 318. 342.	'95.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
14	田 原 雅 代	岡 崎 東	1269	306. 319. 307. 337.	'96.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
15	田 口 香奈子	東海大二	1208	261. 303. 307. 337.	'97.3.26-28	茨 城・波 崎 町
16	松 下 紗耶未	明 星	1216	281. 311. 297. 327.	'98.3.26-28	静 岡・掛 川 市
17	渡 辺 万由美	甲南女子	1232	291. 313. 301. 327.	'99.3.26-28	静 岡・掛 川 市
18	橋 本 晃 子	氷 川	1219	280. 289. 316. 334.	'00.3.26-28	静 岡・掛 川 市

選 拔 大 会 記 録

11回大会以前・15回大会以降（アウトドア）

1999年3月30日現在

【男子の部】

TOTAL	青 山 哲 也	1266 (279・318・325・344)	愛 知・愛知大三河・第17回大会
90m	藤 原 真 也	284	神奈川・横 浜・第16回大会
70m	田 中 勝 美	321	神奈川・横 浜・第9回大会
50m	木 村 正 純	326	神奈川・横 浜・第11回大会
30m	木 村 正 純	345	神奈川・横 浜・第11回大会

【女子の部】

TOTAL	小 山 美代子	1237 (291・314・304・328)	京 都・兎 道・第7回大会
70m	松 田 美 恵	301	大 分・大分東明・第18回大会
60m	池 田 敦 美	316	山 形・天真学園・第7回大会
50m	橋 本 晃 子	316	熊 本・氷 川・第18回大会
30m	後 藤 和 美	339	埼 玉・大宮開成・第11回大会

12回大会以降～14回大会（インドア）

【男子の部】

TOTAL	松 田 浩 行	1288 (296・322・322・348)	福 岡・柏 陵・第13回大会
90m	松 田 浩 行	296	福 岡・柏 陵・第13回大会
70m	園 田 孝 史	322	神奈川・横 浜・第12回大会
50m	板 倉 幹 郎	322	神奈川・三浦学園・第12回大会
30m	松 田 浩 行	348	福 岡・柏 陵・第13回大会

【女子の部】

TOTAL	今 福 織 江	1297 (291・314・304・328)	大 分・大分東明・第12回大会
70m	今 福 織 江	315	大 分・大分東明・第12回大会
60m	小 出 美沙都	325	大 分・明 星・第12回大会
50m	今 福 織 江	318	大 分・大分東明・第12回大会
30m	熊 谷 愛	344	福 岡・柏 陵・第12回大会

日 本 高 校 記 録

(F I T A R O U N D)

1999年12月31日現在
全国高体連アーチェリー専門部

(男子)

種 別	選 手 名	学 校 名 ・ 府 県 名	記 録	大 会 名	樹立年月日	会 場 地 名
シングル	大井 隼	泊 高 ・ 富 山	1320 (313.327.331.349)	平成11年度富山夏季大会	99.7.11	富山・宇奈月町
9OM	青山 哲也	愛知産大三河高・愛知	314	愛知県5月度国体選手選考会	99.5.30	愛知・尾張旭市
7OM	加藤 桂規	愛知産大三河高・愛知	331	平成10年度東海選手権大会	98.9.6	熊本・荒尾市
5OM	加藤 桂規	愛知産大三河高・愛知	333	平成10年度東海選手権大会	98.9.6	広島・千代田町
3OM	青山 哲也	愛知産大三河高・愛知	353	愛知県5月度国体選手選考会	99.5.30	愛知・尾張旭市
ハーフ	甲斐 祐樹	大分東明高・大分	685 (336 349)	体 育 の 日 記 録 会	97.10.10	神奈川・横浜市
5OM	甲斐 祐樹	大分東明高・大分	336	体 育 の 日 記 録 会	97.10.10	福岡・福岡市
3OM	牧山 雅文	厳 木 高 ・ 佐 賀	353	97年回佐賀県国体1次選考会	97.5.11	佐賀・佐賀市
TEAM	光田 健 西川 清一 宮永 雅史	柏 陵 高 ・ 福 岡	1955 663 (321.342) 646 (302.344) 646 (311.335)	90年福岡県高校総合体育大会	90.6.3	福岡・福岡市

(女子)

種 別	選 手 名	学 校 名 ・ 府 県 名	記 録	大 会 名	樹立年月日	会 場 地 名
シングル	大平 泉美	愛知産大三河・愛知	1303	愛知県ターゲット大会	96.6.9	愛知・名古屋市
7OM	大内 愛	山陽女子高・広島	319	92年広島夏季大会	92.8.9	広島・瀬野川市
6OM	大平 泉美	愛知産大三河・愛知	332	愛知県ターゲット大会	96.6.9	愛知・名古屋市
5OM	小出美沙都	明星高・大分	325	大分県アーチェリー協会長杯	96.5.12	大分・別府市
3OM	井上鹿代子	富士見高・静岡	348	89年静岡県総合体育大会	89.6.11	静岡・田方郡
ハーフ	川内沙代子	折尾高・福岡	667 (321 346)	96年福岡県少年国体選考会	96.4.28	福岡・福岡市
5OM	小出美沙都	明星高・大分	322	96年大分県少年国体1次予選	96.5.25	大分・別府市
3OM	横田 知子	大分東明高・大分	346	第49回国体大分県二次予選	94.5.14	大分・別府市
TEAM	横田 知子 今橋 織江 三浦 洋子	大分東明高・大分	1907 646 (307.339) 645 (314.331) 616 (292.324)	90年福岡県高校総合体育大会	94.6.4	大分・大分市

〔日本高校最高記録〕

F I T Aダブルラウンド

種 別	選 手 名	学 校 名 ・ 府 県 名	記 録	大 会 名	樹立年月日	会 場 地 名
男子	原田 航	東海大二高・熊本	2543 (1278 1265)	第2回韓国国際選考記録会	96.6.19	静岡・掛川市
女子	小出美沙都	明 星 高 ・ 大 分	2539 (1297 1242)	95年全米選手権大会	95.8.10	米国・オハイオ州

OLYMPIC ROUND

1999年12月31日現在

【男子】

QR72	青山 哲也	愛産大三河高・愛知	642	平成11年度全国高校総体	99.8.3	岩手・松尾村
M18	青山 哲也	愛産大三河高・愛知	168	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
M12	青山 哲也	愛産大三河高・愛知	168	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
M36	青山 哲也	愛産大三河高・愛知	314	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
Q.R 3×72	伊藤 裕司 水原 良光 神崎 勝己	千葉黎明高・千葉	1815	平成11年度全国高校総体 (伊藤613、水原603、神崎599)	99.8.3	岩手・松尾村
T・M 3×9	青山 哲也 松崎 正 牧 準也	愛産大三河高・愛知	233	平成11年度全国高校総体	99.8.5	岩手・松尾村
T.M.T 2×27	井上 紀行 井原 良彦 山本 祥平	国体佐賀県チーム	449	第54回熊本国民体育大会	99.10.27	熊本・菊陽町

【女子】

QR72	松下沙耶末	明星高・大分	612	平成11年度全国高校総体	99.8.3	岩手・松尾村
M18	松下沙耶末	明星高・大分	159	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
M12	松下沙耶末	明星高・大分	106	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
M36	松下沙耶末	明星高・大分	302	平成11年度全国高校総体	99.8.4	岩手・松尾村
Q.R 3×72	村上亜裕美 松本 薫 梅田 舞	氷川高・熊本	1691	平成11年度全国高校総体 (村上586、松本580、梅田525)	99.8.3	岩手・松尾村
T・M 3×9	山路 陽子 渡辺万由美 岡本 玲子	甲南女子高・兵庫	225	平成11年度全国高校総体	99.8.5	岩手・松尾村
T.M.T 2×27	新谷 幸子 木村 律子 福田 笑子	国体広島県チーム	430	第54回熊本国民体育大会	99.10.27	熊本・菊陽町

F I T A 世界記録・日本記録

1999年12月31日現在

OUTDOOR TARGET ARCHERY OLYMPIC DIVISION MEN F I T A R O U N D

FITA ROUND	山本 博 (埼玉)	1346	1998年	OH,Kyo-Moon	KOR	1368	1995年
90M	山本 博 (日本)	325	1992年	Jang,young-Ho	KOR	331	1999年
70M	山本 博 (埼玉)	344	1990年	FEAR,Jackson	AUS	345	1997年
50M	山本 博 (埼玉)	342	1991年	KIM,Kyung Ho	KOR	351	1997年
30M	松下 和幹 (日本)	357	1986年	HAN,Seung-Hun	KOR	360	1984年
TEAM FITA ROUND (3×144)	山本 博 1333 松下 和幹 1320 加藤 秀人 1295	3948 (日本)	1992年	OH,Kyo-Moon LEE,Eun-Kyung KIM,Jae-Rak	KOR	4053	1995年

OLYMPIC ROUND

O.R.MATCH TOTAL (72)	山本 博 (日本)	665	1996年	SHIM,Young-Sung	KOR	685	1995年
O.R.MATCH (18)	茂木 健二 (日本)	171	1997年	CHIKAREV,Vadim	KAZ	175	1994年
O.R.MATCH (12)	山本 博 (日本)	114	1992年	PARK,Kyung-Mo	KOR	119	1993年
O.R.MATCH TOTAL (36)	上村 乃太 (日本)	329	1997年	Johnson,Richard	USA	344	1998年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	山本 博 640 上村 乃太 612 末口 広宜 612	1864 (日本)	1999年	JANG,Young-Ho KIM,Bo-Ram OH,Kyo-Moon	KOR	2031	1996年
O.R.TEAM MATCH (3×9)	松下 和幹 西川 定 (日本)	248	1994年	CHUNG,Jae-Hum OH,Kyo-Moon PARK,Kyung-Mo	KOR	259	1994年
O.R.TEAM MATCH (3×27)	松口 広宣 松下 和幹 尾上 輝樹 (日本)	492	1997年	OH,Kyo-Moon Hana S,M, Lim H,S,	KOR	510	1999年

50, 30M ROUND

50,30m ROUND	山本 博 (神奈川)	690	1988年				
50M	山本 博 (神奈川)	336	1988年				
30M	山本 博 (神奈川)	354	1988年				
TEAM TOTAL	山本 博 680 松下 和幹 669 石鉢 利明 669	2018 (埼玉)	1995年				

〈日本最高記録〉

DOUBLE FITA ROUND

DOUBLE FITA ROUND	松下 和幹 (神奈川)	2632	1987年				
70M	松下 和幹 (神奈川)	629	1987年				
60M	松下 和幹 (神奈川)	664	1987年				
50M	松下 和幹 (日本)	669	1985年				
30M	松下 和幹 (日本)	707	1990年				
TEAM DOUBLE FITA ROUND	山本 博 2581 松下 和幹 2580 古橋 照司 2535	7696 (日本)	1988年				

女子

FITA ROUND 日 本

世 界

FITA ROUND	浅野 真弓	(学連)	1338	1997年	KIM,Jung-Rye	KOR	1377	1995年
70M	稀代 貴子	(福島)	328	1997年	Chung,Chang-Sook	KOR	341	1997年
60M	浅野 真弓	(佐賀)	338	1999年	KIM,Jo-Son	KOR	350	1998年
50M	中込 恵子	(日本)	334	1990年	KIM,Moon-Sun	KOR	345	1996年
30M	浅野 真弓	(佐賀)	355	1999年	HA,Na-Young	KOR	360	1998年
TEAM FITA ROUND (3×144)	浅野 真弓 川内佐代子 坪内 美沙	1295 1279 1266	3840 (日本)	1998年	CHO,Youn-Jeong KIM,Soo-Nyung LEE,Eun-kyung	KOR	4094	1992年

OLYMPIC ROUND

O.R.MATCH TOTAL (72)	大内 愛	(広島)	631	1996年	KIM,Kyung-Wook	KOR	673	1995年
O.R.MATCH (18)	川内沙代子	(日本)	167	1997年	Kin,Won-Jeong	KOR	175	1998年
O.R.MATCH (12)	浅野 真弓	(学連)	113	1997年	KIM,Hyo-Jeong	KOR	117	1993年
O.R.MATCH TOTAL (36)	坪内 美沙	(学連)	310	1998年	Chung,Chang-Sook	KOR	341	1996年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	大内 愛 児玉 絹枝 小出美沙都	(日本)	1827	1996年	KIM,Jo-Sun KIM,Kyung-Wook YOON,Hye-young	KOR	1984	1996年
O.R.TEAM MATCH (3×9)	倉本 美幸 河崎由加里 川内沙代子	(日本)	238	1999年	KANG,HYUN-Ji Yun Hye Young HAN,Mi-Ae	KOR	253	1997年
O.R.TEAM MATCH (2×27)	倉本 美幸 河崎由加里 川内沙代子	(日本)	466	1999年	KIM,Jo-Sun KIM,M,S, Park,J,H,	KOR	493	1996年

50, 30M ROUND

50,30m ROUND	浅野 真弓	(学 連)	672	1998年
50M	浅野 真弓	(学 連)	327	1998年
30M	児玉 晶子	(神奈川)	349	1987年
TEAM TOTAL	浅野 真弓 児玉 絹枝 濱本 統子	671 640 612	1923 (佐賀)	1996年

〈日本最高記録〉

DOUBLE FITA ROUND

DOUBLE FITA ROUND	浅野 真弓	(学連)	2653	1987年
70M	浅野 真弓	(学連)	643	1987年
60M	児玉 晶子	(日本)	664	1986年
50M	浅野 真弓	(学連)	658	1990年
30M	浅野 真弓	(学連)	700	1997年
TEAM DOUBLE FITA ROUND	児玉 晶子 柴田 晶与 石津 裕子	2531 2495 2463	7489 (日本)	1986年

INDOOR TARGET ARCHERY OLYMPIC DIVISION

男 子

18m (60)	山本 博	(日本)	593	1999年	PATTERSON,Magnus	SWE	596	1995年
25m (60)	山本 博	(埼玉)	592	1994年	PATTERSON,Magnus	SWE	593	1993年
O.R.MATCH (18)	山本 博	(埼玉)	178	1996年	Bisiani Matteo	ITA	180	1996年
O.R.MATCH (12)	坂本 隆輝	(学連)	118	1997年	JOHNSON,Richard	USA	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	塩田 浩一	(京都)	349	1999年	Larue Frederic	FRA	357	1998年
O.R.TEAM MATCH (27)					Tollis,Richiard Parker,Shane Wunderle,Victor	USA	268	1999年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					Chung,Jae-Hun Han,Seung-Hoon Lee,Dong-Wook	UKR	530	1997年

女 子

18m (60)	坪内 美沙	(日 本)	577	1999年	Herasymenko,L.	UKR	591	1997年
25m (60)	池垣 倫子	(北海道)	569	1994年	ERICSSON Petra	SWE	592	1991年
O.R.MATCH (18)	瀧野 真子	(日 本)	174	1997年	NASARIDZE Natalia	TUR	178	1995年
O.R.MATCH (12)	仲肥由里子	(広 島)	117	1998年	VALEEVA Natalia	MLD	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	仲肥由里子	(広 島)	341	1998年	VALEEVA Natalia	MLD	354	1996年
O.R.TEAM MATCH (27)					Bard,Svetlana Berezna,Tatyana Sadovnycha,Olena	UKR	262	1999年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					Nulle,Wiebke Pfohl,Cornelia Wagner,Sandra	GER	520	1997年

国 体 記 録

種別	種 目	選手名	府県名	記録	大 会 名	備 考
少年	FITA ROUND	松下 紗耶末	大 分	1265	第54回熊本国体	
	70m	橋 戸 由 梨	岐 阜	308	第54回熊本国体	
	60m	森 田 由 美	福 岡	322	第54回熊本国体	
	50m	細 田 風 子	奈 良	316	第54回熊本国体	
	30m	陣 原 千 紘	福 岡	339	第54回熊本国体	
女子	TEAM FITA ROUND	松 下 紗耶末 住 川 裕 香 山 本 恵 美	1265 1225 1217	3707 (大分)	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH (3×9)	松 下 紗耶末 住 川 裕 香 山 本 恵 美	広 島	217	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)	新 木 谷 村 幸 子 福 田 律 子 笑 子	広 島	430	第54回熊本国体	
成年	FITA ROUND	永 田 淑 子	兵 庫	1268	第54回熊本国体	
	70m	永 田 淑 子	兵 庫	315	第54回熊本国体	
	60m	河 崎 由加里	広 島	323	第54回熊本国体	
	50m	川 内 紗代子	福 岡	323	第54回熊本国体	
	30m	坪 内 美 沙	兵 庫	216	第54回熊本国体	
女子	TEAM FITA ROUND	三 浦 由紀子 河 崎 由加里 宮 地 玲 子	1255 1252 1241	3748 (広島)	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH (3×9)	永 坪 田 淑 子 岩 崎 美 友 榊 原 明 美 大 宇 野 久 美 宇 野 淑 美	兵 庫 愛 知	216	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)	永 坪 田 淑 子 岩 崎 美 友	兵 庫	427	第54回熊本国体	
少年	FITA ROUND	大 井 隼	富 山	1259	第54回熊本国体	
	90m	大 井 隼	富 山	285	第54回熊本国体	
	70m	大 井 孝 雄	富 山	314	第54回熊本国体	
	50m	大 井 隼	富 山	324	第54回熊本国体	
	30m	井 上 紀 行	佐 賀	346	第54回熊本国体	
男子	TEAM FITA ROUND	大 井 孝 雄 井 苗 川 徹	1259 1224 1163	3646 (富山)	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH (3×9)	井 上 紀 行 井 山 原 本 祥 平	佐 賀	225	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)	井 山 原 本 祥 平	佐 賀	449	第54回熊本国体	
成年	FITA ROUND	原 口 航	熊 本	1281	第54回熊本国体	
	90m	山 本 博	埼 玉	301	第54回熊本国体	
	70m	松 下 和 幹	埼 玉	335	第54回熊本国体	
	50m	杉 浦 成 利	富 山	327	第54回熊本国体	
	30m	濱 野 裕 二	広 島	347	第54回熊本国体	
男子	TEAM FITA ROUND	松 山 下 本 和 幹 山 下 本 和 幹 山 下 本 和 幹	1275 1267 1264	3806 (埼玉)	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH (3×9)	松 山 下 本 和 幹 山 下 本 和 幹 山 下 本 和 幹	埼 玉	238	第54回熊本国体	
	O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)	松 山 下 本 和 幹	埼 玉	471	第54回熊本国体	

記録収集について

競技委員会

記録収集の意義につきましては組織の歴史であり、同時に将来的な発展の最も大きな原動力となるべきものであります。競技力の向上、組織の活性化、競技の普及拡大、すべてこの記録無しには考えられません。つきましては記録送付及び記入要領は下記のとおりお願いします。

【1】送付記録は原則としてコンピュータデータの形式とする。

【2】種別、種目、項目は次の通りとする。

男女別 個人 歴代100傑 (シングル)・シングルラウンド

50・30mラウンド インドアー18m (W)

団体 シングルラウンド

【3】各都道府県で【2】の2種別、10種目について競技者のランキングを作成し、そのデータを送付する。

【4】送付用フロッピーは競技委員会より配布するので、その中に入力する。

【5】記録送付競技会

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 全国高体連に登録した競技会 (3競技) | } 年間事業計画様式 [1] |
| (2) 全ア連公認競技会 (他県の競技会は不可) | |

データ入力上の注意

【1】各項目への入力について

- (1) 配布されたフロッピーの“例”に従って入力すること。
- (2) 各項目の氏名は1人1回になるように各県で整理をしてください。
- (3) ランクは消去して下さい。
- (4) 登録番号は必ず入力して下さい。
- (5) 氏名

全角左詰めとします。(全角6文字)

例 氏2文字 名2文字 □□ □□

氏2文字 名1文字 □□ □

氏1文字 名2文字 □ □□□

氏3文字 名3文字 □□□□□□

氏3文字 名1文字 □□□ □

(6) 記録入力期間

当該年度の 4月1日～11月20日迄とする。

【2】得点記録集計のフロッピーについて

- (1) LOTUS-123 WJ3で作成されたデータとする。
- (2) フロッピーは3.5インチ (2HD) を使用する。
- (3) フロッピーは必ずコピーディスクにラベルをつけ、県名、入力責任者、学校名、電話番号を記入して送付する。

(4) フロッピーの返却はしないので、必ずバックアップを取ってください。

【3】送付締切期日

締切期日 当該年度の**11月20日** (必着)

受け付けは11月1日～ 遅れると入力されませんので注意してください。

【4】送付先

☎ 770-0864 徳島市大和町2-2-15

徳島東工業高校

住友 和雄 宛

TEL 0886 53-3274

FAX 0886 53-3296

★ 問い合わせ・質問は出来るだけFAX又は郵便でお願いします。

【5】ランキング表購入依頼

(1)ランキング表は1冊1000円です。

(2)全国高体連に登録されている学校は、最低一冊以上の購入をお願いします。

(3)全国総合体育大会専門委員長会議の時点で注文部数は決定する。

(4)支払いは全国高体連アーチェリー専門部ランキング担当の口座 (P86参照) に振込むか、又は全国選抜アーチェリー大会会場にてお渡しください。

高校公認記録規程

- 第1条 全日本アーチェリー連盟（以下「全ア連」という。）規約第6章第138条にもとづき、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「本専門部」という。）事業計画（様式Ⅰ）により提出し認められたもの。
- 第2条 本連盟の加盟・登録者が、この規定の定めるところにより、その加盟学校および登録構成員が、以下にかかげる諸条項のもとに行われた競技会において作られた記録に限り公認申請することができる。
- 第3条 日本高校記録は、全ア連競技規則第138条の外、次の条件を満たすこと。
- 1) 当該年の4月1日現在18歳未満の高校生の記録であること。ただし、定時制生徒は19歳未満とする。
 - 2) (1)全ア連が公認した競技会における記録。
(2)各都道府県単位または地域高校競技会の記録。
ただし、印刷したプログラムがあり、競技委員長・審判長・射場長は公認審判員であること。
(3)50M・30Mラウンド及びハーフラウンド団体の記録は、ハーフラウンドの競技会の記録であること。
- 第4条 個人の距離別の記録公認については、第3条に規定された競技会において樹立されたものを申請することができる。
- 第5条 前条に定める競技会の記録公認申請は、競技の日より原則として1カ月以内に主催または主管団体長が前条の確認をなし、全ア連所定の記録承認申請書（連盟様式ー6）に必要事項を記載し、全ア連事務局に提出するものとする。
- 第6条 全ア連理事会で審査の結果、新記録として承認されたときは、その旨を本専門部においても発表し、高等学校記録証を交付する。
- 第7条 毎年12月10日付をもって、各都道府県高体連ア専門部または各都道府県ア協会は第3条に定めた競技会に於ける当該都道府県の高等学校最高記録を保管し、その写しを毎年12月20日までに本専門部事務局まで送付しなければならない。
- 第8条 本規定は、本専門部理事会において改廃する。
- 第9条 本規定は昭和57年5月9日より施行する。

昭和60年4月1日一部改正

昭和63年2月11日一部改正

平成6年8月5日一部改正

平成8年3月26日一部改正

申請書送付先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内 全日本アーチェリー連盟 宛

平成 年 月 日

全日本アーチェリー連盟

会 長

殿

主 催 者 名

主管団体名

会 長 名

印

新記録の樹立承認申請書の送付について (申 請)

標記のことについて、下記の通り新しい記録が樹立されましたので、
ここに関係書類を添えて申請いたします。

なお、関係書類の到着のうへは、書類内容の点検をいただくとともに
念のため受領確認書を送付くださるようお願いいたします。

記

1. 内容記録：記録申請
2. 送付書類：ア) 記録承認申請書…………… 1 部
イ) スコアシート (写) …… 1 部
ウ) 競技会プログラム…………… 1 部
エ) 競技会成績表…………… 1 部

以 上

受 領 確 認	全 日 ア 連	受付月日： 月 日
		確 認 者： 氏 名： 印

(上記記入のうへ、複写書類を返送下さい)

(様式－6ア)
全日本アーチェリー連盟会長殿

平成 年 月 日

主管団体名
会 長 名

印

記録承認申請書

下記の通り新記録が樹立されましたので、ここに承認申請をいたします。

申請内容		日本記録		日本高校記録		日本国際記録			
競技会名	第 回								
期 日	平成 年 月 日～ 月 日、(日間)								
会 場									
区分・種別		団 体		個 人		男 子		女 子	
種 目 ・ 距 離		ハーフ・R		シングル・R		ダブル・R		グランド・R	
		個人TOTAL		個人距離	90.	70.	60.	50.	30.m
競技者名	(学校・所属名) _____		①氏 名： 登録番号 H -						
			②氏 名： 登録番号 H -						
			③氏 名： 登録番号 H -						
記 録 内 容	団体記録	合 計： _____ 点							
		① _____ 点 (90・70m： _____ 点・50m： _____ 点) 70・60m： _____ 点・30m： _____ 点)							
		② _____ 点 (90・70m： _____ 点・50m： _____ 点) 70・60m： _____ 点・30m： _____ 点)							
	個人記録	③ _____ 点 (90・70m： _____ 点・50m： _____ 点) 70・60m： _____ 点・30m： _____ 点)							
		距離記録	_____ 点 (_____ , _____ , _____ , _____ 点)						
			m： _____ 点 (_____ 点・ _____ 点)						
		m： _____ 点 (_____ 点・ _____ 点)							
競技会責任者	競技委員長または審判長の署名・捺印 印								
備 考	1. 申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 2. 添付種類は、①スコアシートーの写し(コピー可)、 ②競技会プログラム、 ③競技会成績一覧表、 _____ を提出すること。 3. 未登録の場合、記録樹立後の競技者登録および承認申請書の提出は、いかなる理由があっても認められない。								

大会開催地・開催地順(予定)

和 歴	西歴	I H ・ 選 手 権	選 抜 大 会	国 体
平成12年	2000	岐 阜・高山市	静岡県・掛川市	富山県・宇奈月
平成13年	2001	熊 本・菊陽町	静岡県・掛川市	宮城県
平成14年	2002	茨 城・波崎町	静岡県・掛川市	高知県
平成15年	2003	長 崎・諫早市	静岡県・掛川市	
平成16年	2004	山 口	静岡県・掛川市	

I Hは、東 地区・・・北海道・東北・関東地区（15都道府県）

中 地区・・・北信越・東海・近畿地区（15府県）

西 地区・・・中国・四国・九州地区（17県）

のローテーション（東・中・西）で9年に1回の開催。

平成12年度以降の全国高校アーチェリー選手権大会競技方法について

競技種目

競技の種目・種類・種別は次のとおりとする。

- (1) 種 目 リカーブ部門、団体競技・個人競技
- (2) 種 類 予選ラウンドにおいては、団体戦・個人戦ともにFITA70m予選ラウンドとし、
決勝ラウンドでは団体戦・個人戦ともにマッチラウンドとする。
- (3) 種 別 男子の部・女子の部

競技日程

日 程	実 施 内 容	時 刻	摘 要
	8月9日 (水)	10:00～11:00 12:30～14:30 15:30～16:15	監督会議 公式練習・弓具検査 開会式
1 日 目	8月10日 (木) 団体・個人予選競技 (予選ラウンド)	8:40～15:30 8:40～15:30 16:30～	男子予選ラウンド (競技会場) 女子予選ラウンド (練習会場) 男子・女子予選通過 (啓示発表による)
2 日 目	8月11日 (金) 個人競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 準々決勝戦より 男女交互進行による	8:40～ 9:30 9:55～10:45 11:10～11:45 12:00～12:35 13:20～13:50 14:05～14:35 14:50～15:20 15:30～16:00 16:30～	男女1回戦1組目 男女1回戦2組目 男女2回 男女3回 男女準々決勝戦 男女準決勝戦 男女3位決定戦 男女優勝決定戦 個人表彰式
3 日 目	8月12日 (土) 団体競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 準々決勝戦より 男女交互進行による	8:40～ 9:25 9:45～10:30 10:50～11:20 11:35～12:00 12:15～12:40 12:50～13:15 14:10～14:55	男女1回戦1組目 男女1回戦2組目 男女準々決勝戦 男女準決勝戦 男女3位決定戦 男女優勝決定戦 団体表彰式・閉会式

なお、1日目の予選ラウンドは隔年にて会場を交替する。

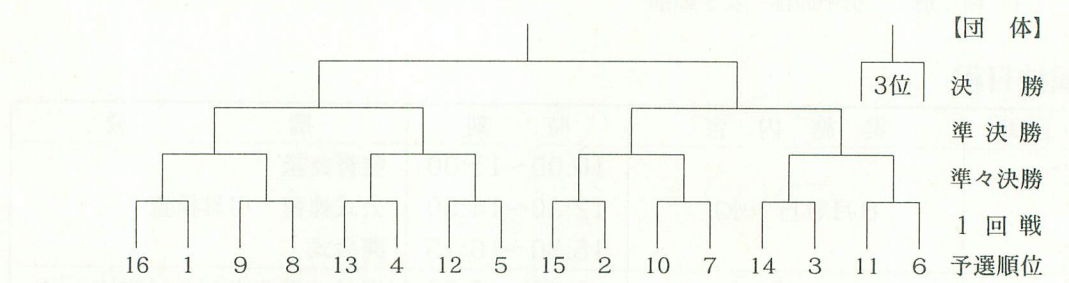
競技規定

平成12年度(注)全日本アーチェリー連盟競技規則及び大会運営規定による。

競技方法

(1) 予選ラウンド

- ア. 1レーン2的で、1的同時2人の3立（AB・CD・EF）とする。
- イ. 行射はAB・CD／EF・AB／CD・EFとし、得点記録・矢取りは1エンド6射毎に行う。
- ウ. 個人競技の成績順位は、70m72射の合計得点で決定する。
なお、団体競技出場選手は、個人競技を兼ねるものとする。
- エ. 団体競技の成績順位は、出場選手3名（同一校）の個人得点合計で決定する。
- オ. 団体競技の予選チームは、男女とも各上位16位までとし、個人競技の予選通過者は、男女とも各上位64位までとする。
- カ. 決勝ラウンドの組み合わせは、団体競技は次のとおりとし、個人競技は別表のとうりとする。



(2) 予選ラウンド

- ア. 団体競技及び個人競技とも70Mの行射距離で行う。
- イ. 得点記録・矢取りは1エンド毎に行う。
- ウ. 個人戦の行射方法は、1～3回戦は18射（4分×6射を3エンド）、準々決勝・準決勝・3位決定戦及び優勝決定戦は12射（1射40秒×3射の4エンド）で行う。
- エ. 団体戦の行射方法は、全ての対戦は、チーム毎に1名の競技者のみがシューティングライン上に立ち行射を行い、順次交代行射する。
各チーム27射＝3分以内に9射（3名3射ずつ）×3エンドとする。

(3) 選手の登録と交代

- ア. 団体競技のエントリーは4名（補欠1名含む）とし、申し込み書に記載された上から順に3名を登録された出場選手とする。
- イ. 選手の交代は、団体競技に限ってエントリーされた補欠選手との交代を認める。なお、申し込み後は、エントリー選手の変更は認めない。
- ウ. 交代の届出は、公式練習終了後までと決勝ラウンドが開催される前日の午後4時までの2回とし、競技本部で承認を得たものに限り認めるものとする。

(4) 得点記録

- ア. 予選ラウンドでは、当該標的使用選手の相互得点記録（マーカー）方式とし、得点記録委員がスコアシートに記入する。
- イ. 得点記録の報告における虚偽や不正申告の場合には、当該標的使用選手の確認が不履行として、当該選手または同一標的使用者の全てを失格処分とすることがある。
- ウ. 決勝ラウンドでは、審判員による得点記録方式とし、得点を速やかに得点板に表示する。

競技会場・練習会場のローテーションについて

会 場	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
競技会場	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
練習会場	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子
開 催 県	岩手県	岐阜県	熊本県	茨城県	長崎県	島根県	千葉県			

16年度は島根県開催であるが、アーチェリー競技は山口県で開催

全国高体連アーチェリー専門部活動要綱(安全対策)

1.活動目的

クラブ活動としてアーチェリーを正しく真剣に学び、技術の向上をはかるとともに、心身を練磨して、礼節を尊び、自己の修養に努め、立派な人間形成を目指すものとする。また、部活動を通じ、先輩後輩の集団生活の中から、和の大切さを学び、部員相互の親睦を深めることをもって目的とする。

2.活動内容

- (1) 練習日 学校長または顧問の承諾を得た日とする。
- (2) 合宿 学校長の承諾を必要として以下のとおりとする。

- 1) 学校（部活）主催の合宿
- 2) 各都道府県アーチェリー協会主催の合宿
- 3) 各都道府県高体連主催の合宿

- (3) 対外試合

- ・高体連主催の各種大会
- ・県または市協会（競技団体）が主催し、県高体連が共催する大会
- ・競技団体が主催し — 体連が共催する大会
- ・全国高体連主催の大会
- ・競技団体が主催し、全国高体連が共催する大会
- ・国民体育大会及び予選大会
- ・教育委員会が主催する都道府県内の市区町村大会
- ・競技水準の高い者を選抜して開催する大会
- ・学校長の（承諾を得て参加する）練習試合及び招待試合

3.練習内容

- ・練習内容は、主将が他の役員と相談し、顧問教員の許可を得て決定する。
- ・随時筋力トレーニング、ランニング等のトレーニングを導入する。
- ・部員は、いかなる場合も指導教員及びコーチの指示に従わなければならない。

4.安全対策（アーチェリー部員の遵守項目）

- ・弓具は常に点検すること（特に弦切れ）
- ・他人の弓具に無断でふれないこと
- ・アームガード等は、必ず使用すること
- ・ストリンガーで弦を張るとき、弓の真上に顔をおかないようにする
- ・身体にフィットした服装で行射する事（上着のポケットに物を入れたりして行射しないこと）
- ・的の方向に人がいたら決して行射しないこと
- ・人のいる方向に向いてたとえ矢をつがえてなくても弓をひかないこと

- ・空引き（矢をつがえずに弦を離すこと）はしない
- ・矢取りは、全員同時に合図をもって行うこと
- ・矢を抜くとき、矢の後方に人がいないことを確認してから抜くこと（他人の目をつくことがある）
- ・的の後方に矢取りに行くときは安全を確認しておこなうこと
- ・弓矢は土の上におかず、グラウンドクイーバー等を使用する。

5.健康管理

- ・体調の悪い場合は無理に参加しないこと。
- ・練習中気分が悪くなったら先生にすぐに知らせること。
- ・日々規則正しい生活をし、各自健康に留意すること。

6.その他

- ・練習を遅刻、欠席する場合は責任者に届け出ること。
- ・先生、先輩はもちろん、お互いにきちんと挨拶をかわすこと。
- ・アーチャーとして気品ある行動をとること。

服 装 規 定

競技部 競技委員会 細則

昭和62年2月11日改定

平成 5年3月26日改定

平成 8年7月31日改定

大会参加者における競技用の服装は、チーム内で統一されていること。統一の範囲は、上衣、下衣、帽子、靴、靴下とする。

1、上 衣

学校名は背面もしくは前面に、県名は右腕の袖口に、それぞれ1ヶ所明示しなければならない。なお、いずれも弓具装着時に視認できる位置に表示する。

その他の名称等は表示しないものとする。(その他の名称等には学校名、クラブ等の愛称も含む)

長袖、短袖は同一デザインならば、混在し着用できる。

2、下 衣

競技するのに適した形態で、全体が白色のもので、男子はスラックス、女子はスカート(キュロットスカートも可)またはスラックス。ジーパン、綿パン、ジャージ等は競技用として認めない。

3、帽子、靴、靴下

白地のものとする。靴は運動シューズとする。(カジュアル、ダンス、タウン等の競技に適さないと認められるものは使用できない。)

4、その他

(1) チームとは登録選手、マネージャーとする。

(2) 監督が競技場内に立ち入るときは、下衣は白色スラックス、もしくはスカートとし、靴は白地の運動シューズとする。但し、監督の服装も選手と同じユニフォームを着用していることが望ましい。

(3) 使用頻度、経年による上衣等の退色等は認める。

(4) 大会の場にふさわしくない服装は認めない。

(5) 視認できる部分の商標の大きさ基準は縦、横5cm×5cmとする。

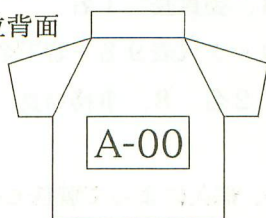
(6) 防寒・防雨具の着用は認める。ただし着用する場合はユニフォームの一部とし、チーム内の統一をはかること。

上記の規定外の服装に関しては、審判長および大会実施責任者の裁定に委ねる。

*備考

【競技用ゼッケンの装着位置】

上位背面



左図のように上衣両脇を結んだ線を上端とする位置に装着する。ただし、このゼッケンにより学校名等の視認が妨げられないようにすること。

主催者側で用意するゼッケンは縦15cm、横25cmです。

尚、本規定は平成9年4月1日より実施するものとする。

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約

第 1 章 名 称

第 1 条 本専門部は全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部と称する。

第 2 条 本専門部の事務局は部長指定の学校に置く。

第 2 章 目 的

第 3 条 本専門部は全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」と称する）規約第 3 条に基づき、高等学校におけるアーチェリー競技の健全な育成発展を図ることを目的とする。

第 3 章 事 業

第 4 条 本専門部は第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国大会開催に関する事項の審議並びに執行。
- (2) アーチェリーの普及並びに競技力の向上に関する事項。
- (3) アーチェリーの講習及び調査研究。
- (4) 関係団体との連絡。
- (5) その他目的達成に必要な事項。

第 4 章 組 織

第 5 条 本専門部は全国高体連規約第 6 条に基づき、各都道府県アーチェリー専門部をもつて組織する。

第 5 章 役 員

第 6 条 本専門部は次の役員を置く。

(1) 役員

1. 部長 1 名 2. 副部長 若干名 3. 委員長 1 名
4. 副委員長 若干名 5. 常任委員（ブロック代表 9 名＋若干名）
6. 委員（各都道府県より 1 名） 7. 監事 2 名 8. 事務局長 1 名

(2) 本専門部は顧問を置くことができる。

第 7 条 役員の任期は 2 ヶ年とする。但し、再任は防げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本専門部の役員は校長、教諭より選出する。但し、顧問を除く。

- (1) 部長及び副部長は委員の推薦により、全国高体連理事会の承認を得て、部長をこれを委嘱する。
- (2) 常任委員は全国9ブロック（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）において選出された1名と若干名の推薦者を部長これを委嘱する。
- (3) 委員は各都道府県高体連アーチェリー専門部より1名を選出する。
- (4) 委員長及び副委員長並びに事務局長は常任委員会にて選出し、全国専門委員長会（以下委員会と称する）にて承認する。
- (5) 監事は委員会で選出する。
- (6) 顧問は委員会で推挙することができる。

第9条 役員の任務及び構成は次のとおりとする。

- (1) 部長は本専門部を代表し、会務を統轄し全国高体連理事会に出席する。
副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 三役は三役会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長）を構成し代表者会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、競技委員長、強化委員長、審判委員長、総務委員長）とともに本専門部の企画、立案する。
- (3) 常任委員は、常任委員会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、常任委員）を構成し、本専門部の企画立案するとともに委員会の承認をえてその執行にあたる。
- (4) 委員は委員会（各都道府県代表、部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、監事、顧問）を構成し、本専門部の重要事項を審議決定する。
- (5) 監事は本専門部の会計を監査し、その結果を委員会に報告する。
- (6) 顧問は本専門部の組織運営について委員会並びに常任委員会の諮問に応ずる。

第 6 章 会 議

第10条 委員会は年1回部長が召集し、次の事項を審議する。但し、部長が必要と認めた場合または委員の3/5以上から会議の目的事項を示して請求があった場合は、速やかに委員会を召集しなければならない。

- (1) 会議では次の事項を審議する。
 - ア. 事業報告並びに計画 イ. 決算並びに予算
 - ウ. 役員の選出 エ. 規約の改正 オ. その他の重要事項

第11条 常任委員は必要に応じ、部長がこれを召集する。常任委員は常任委員会の開催を要請できる。

第12条 委員会及びに常任委員会は総会の $\frac{1}{2}$ 以上の（委任状を含む）の出席がなければ開くことができない。すべての会議は部長が議長となる。

第 7 章 専門委員会

第13条 本専門部の事業遂行のため、各種の専門委員会を設けることができる。

(1) 専門委員会の名称・目的及び委員は委員会の決議を経て部長が定める。

(2) 専門委員会の規定は別にこれを定める。

第 8 章 事務局

第14条 本専門部に事務局をおく。事務局の規定は別にこれを定める。

第 9 章 規約の変更

第15条 本専門部の規約は委員会において、委員の $\frac{2}{3}$ 以上の同意を得て変更することができる。

第 10 章 会 計

第16条 本専門部の経費は補助金・助成金その他の収入によってこれをあてる。

第 11 章 付 則

第17条 規約の施行については必要な事項は委員会の議決を経て部長が定める。

附則 この規約は平成元年2月11日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

総務委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき総務委員会（以下本委員会と称する）を設ける。

第2条 本委員会は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第4条の事業に必要な資金を調達すること。
2. 優秀選手の表彰に関すること。
3. 関係功労者の表彰に関すること。
4. 規約改正に関すること。
5. 機関誌の発行に関すること。

第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。

1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。

第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。

第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。

第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

競 技 委 員 会 規 程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき競技委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会に関する基本方針を確立すること。
 2. 全国高等学校アーチェリー選手権大会および選抜大会の実施方法その他の重要事項を審議すること。
 3. 本専門部関係の競技会の調整をはかること。
 4. 各競技会の記録整理および認定保存をはかること。
 5. その他競技に関する必要事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

審判委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき審判委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会への審判員派遣に関する基本方針を確立すること。
 2. 審判員養成および研修事業に関すること。
 3. 審判資格修得および更新に関すること。
 4. その他、競技規則および審判に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 全国9地区（ブロック）の審判委員会委員長および専門部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
 2. 委員会で推薦された若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

強化委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき強化委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 強化ならびに普及活動に関する計画立案と、その推薦および指導に関すること。
 2. 国際競技等に代表選手を派遣すること。
 3. 指導者の養成および活動に関すること。
 4. その他、強化、普及に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

事務局規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第14条に基づき事務局に関わる規定を定める。

第2条 事務局は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟との連絡等に関すること。
2. 各大会における関係機関への連絡等に関すること。
3. 全日本アーチェリー連盟と各都道府県アーチェリー協会（連盟）との連絡等に関すること。
4. 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部との連絡に関すること。
5. 会員登録に関すること。
6. その他部長が指定する事項を処理する。

第3条 事務局には次の職員を置く。

事務局長 1名 事務員 若干名

第4条 事務局長は、事務局を統轄し、事務局員を指導監督する。

第5条 事務局員の数並びにその任命は常任委員会の承認を得て事務局長が行う。

第6条 事務局員は事務局長の命を受け、本専門部会の事務を処理する。

第7条 事務局長の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

アーチェリー専門部表彰 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下専門部と称する）では、表彰に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し表彰する。

第2条 この規程は全国高等学校体育連盟アーチェリー競技の普及振興に功績があった者等に対し表彰を行うとともに、全国高等学校体育連盟表彰規程の被表彰者の推薦母体に資することを目的とする。

第3条 前条に定める被候補は、次の各号から推薦するものとする。

1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
3. その他。

第4条 表彰者の選考は部長・副部長・委員長・副委員長・事務局長があたり、常任委員会の承認を受けるものとする。

第5条 表彰は、常任委員会または全国高等学校アーチェリー選手権大会において行う。

第6条 本規程表彰者推薦のための基準は次の通りとし、重複表彰はしない。

1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
 - 1) 専門部役員については、3期（6年）以上とする。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
 - 1) 専門委員長については6年以上とする。
3. その他、特に功績のあった者。

第7条 推薦手続きは毎年4月中旬・10月中旬までに本専門部事務局宛に提出する。

第8条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

平成3年7月25日一部改正。

アーチェリー専門部慶弔 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「専門部」と称する）では、慶弔に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し敬意を表わすことができる。

第2条 その基準と範囲は次のとおりとする。

1) 慶事に関して

ア) 功績者および関係役員等が、他からの栄誉を称えられた場合。

2) 弔事に関して

ア) 功績者および関係役員等に不幸が生じた場合。

3) 範囲

ア) 記念品または弔慰金等およびこれらの電文とする。

第3条 その他、この規程に定めない特別の場合については、常任委員会の承認を得て敬意を表すことができる。

ただし、緊急の場合は部長がこれを支出し、常任委員会に報告・承認を得るものとする。

第4条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は、平成2年4月1日より施行する。

連絡先および口座番号

1. 事務局

〈登録担当〉

〒153-0041 埼玉県大宮市堀ノ内1-615 大宮開成高校内

TEL 048-641-7161

FAX 048-647-8881

2. 競技部

〈記録登録〉

○住友和雄 〒770-0864 徳島市大和町2-2-15

徳島東工業高校

TEL 0886-53-3274

FAX 0886-53-3296

3. ランキング表支払い口座

(銀行名)

阿波銀行 佐古支店 (店番102)

(預金種目・口座番号)

普通預金 1019910

(口座・代表者名)

住友和雄

4. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局の口座

(銀行名)

あさひ銀行大宮支店 (店番369)

(預金種目・口座番号)

普通預金 2547079

(口座・代表者名)

全国高体連ア専事務局 宮崎 利帳

5. 全日本アーチェリー連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館4F

TEL 03-3481-2402

競技会の公認についての連絡

全国高体連アーチェリー専門部
事務局

全国高等学校アーチェリー選抜大会の要項を発送致しましたが、各都道府県で実施している全日本アーチェリー連盟公認試合の申請及び結果報告についてさまざまな問題が発生しております。

平成9年12月14日発通達や登録用紙送付・全国委員長会議等において指示をして参りましたが、依然として申請並びに結果報告に問題があり、出場資格の公認において重大なるミスが明らかになっている都道府県があります。特に、ランキング表上位20名の出場審査におきまして、全日本アーチェリー連盟に結果報告書の提出されていない大会があります。

今回に限り、全日本アーチェリー連盟競技部の特別の計らいにより参加を認めましたが、次年度大会より公認申請と結果報告がなされていない記録に関しては失格とする処置を取ります。

生徒の将来にかかわる重大な問題でもありますので、くれぐれも公認規定と各種の報告書の処理を熟読・理解し対処お願い致します。

◎高体連事務局に年間行事計画を提出 4/20締め切り（指定用紙）

◎全日本アーチェリー連盟に競技公認申請書 4月下旬までに提出（指定用紙）

☆大会終了後速やかに ・公認競技会成績報告書 ・プログラム

・成績一覧表

全日本アーチェリー連盟に原本 全国高体連事務局にその写しを送付

以上

高体連主催競技会の公認について

平成9年12月14日

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

高体連主催の競技会を本連盟の公認を得たい場合は次の要領で手続をおこなってください。また、本連盟の公認競技会とするには本連盟の競技規則に基づいて競技会が運営されていなければならない。(特に競技役員は公認審判員で構成する必要がある。)

1. 公認競技会の回数と公認料について

高体連主催の競技会は県大会は年3回、地区大会は年1回の公認料は免除する。これを超えて開催したい場合は規定の公認料(1試合につき10,000円)が必要となる。

〔ひとつの大会においてFITAシングル、インドアおよびフィールドを同時に複数種目を実施する場合は1試合と計算する。〕

2. 都道府県大会の公認方法について

(1)競技会の公認申請方法

都道府県高体連は5月下旬(選手登録メ切期日)までに「競技会公認申請書」に必要事項を記入して都道府県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付してください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2)競技会の成績報告

都道府県高体連は公認競技会が終了した1ヶ月以内に「公認競技会成績報告書」に競技会成績表を添えたものを都道府県協会の承認を得てから本連盟事務局へ送付・報告をおこない。全国高体連事務局へは成績表のみ送付する。

3. 地区大会の公認方法について

(1)競技会の公認申請方法

地区大会を主管する都道府県高体連は5月下旬までに「地区大会公認申請書」に必要事項を記入して都道府県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請をおこなってください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2)競技会の成績報告

公認競技会の成績報告については主管団体が2.(2)と同様の処理をおこなうものとする。

4. 大会の申込期日近くに開催した公認競技会の処理方法について

出場申込をする大会の申込期日近くに開催した公認競技会の得点記録をその大会の申請点とする場合は、FAXによる(仮)報告をおこなってください。後日、正式な報告をおこなってください。

(注 意)

この手続(競技会公認申請・成績報告)がされていない場合、この競技会の記録は公認されないことになり、この記録で本連盟主催の選手権大会に出場申込をした場合、失格する場合がありますのでご注意ください。

平成 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

〔都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部〕

専 門 部 名 _____

専 門 部 部 長 名 _____ 印

〔都道府県アーチェリー協会（連盟）〕

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

競 技 会 公 認 申 請 書

○ 公 認 料

(公認競技会回数 回 - 免除回数 3回) × 10,000円 = 円

○ 公 認 申 請 競 技 会

日 程		競 技 会	競 技 会 場	種 目
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド
				FITAシングル インドア フィールド

平成 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

〔都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部〕

専 門 部 名 _____

専 門 部 部 長 名 _____ 印

〔都道府県アーチェリー協会（連盟）〕

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

地 区 大 会 公 認 申 請 書

下記の競技会について、添付成績表のとおり記録公認を申請いたします。

大 会 名			
主 催			
主 管			
開 催 日		公 認 料	要 ・ 不要
種 目			
種 別 (定 員)			
参 加 資 格			
選手選考方法			

平成 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

〔都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部〕

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

〔都道府県アーチェリー協会（連盟）〕

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

公 認 競 技 会 成 績 報 告 書

下記の競技会について、添付成績表のとおり記録公認を申請いたします。

競 技 会			
主 催			
主 管			
開 催 日			
気 象 状 況			
競 技 会 場			
(所 在 地)	都道府県	市町村 (区)	
競技会責任者	印 (競技委員長の署名・捺印)		
競 技 役 員	担 当	氏 名	公認審判員 (級)
	競 技 委 員 長		
	射 場 長		
	審 判 長		
	審 判 員		

好評発売中！

**トップから初心者まで
だれでも手軽に使える**

K PRODUCTS

軽くて強い。ポリイミド樹脂による
一体成型と、フロンメタル・カーボン
グラフィット・エクステンションを採
用。しかも、だれでも手軽に使える
シンプル構造です。数々の世界記録
や日本記録を樹立したKサイトから
生まれたT-9。アーチェリーがもっ
と楽しくなります。

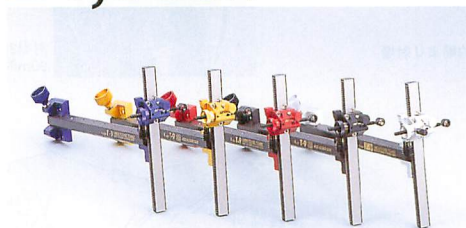
軽くて強い。

K CARBON SIGHT

T-9

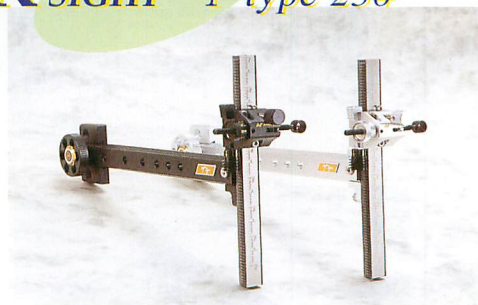
PRICE : Right **20,000円**

Left **24,000円**



COLOR: Blue, Gold, Red, Black, Silver

K SIGHT "T-type 230"



COLOR: Blue, Red, Black, Silver

PRICE: ¥20,000

K プランジャー



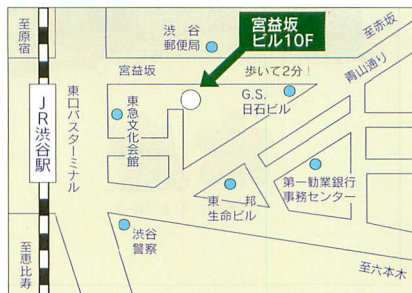
COLOR: Black, Silver, Red, Blue, Gold

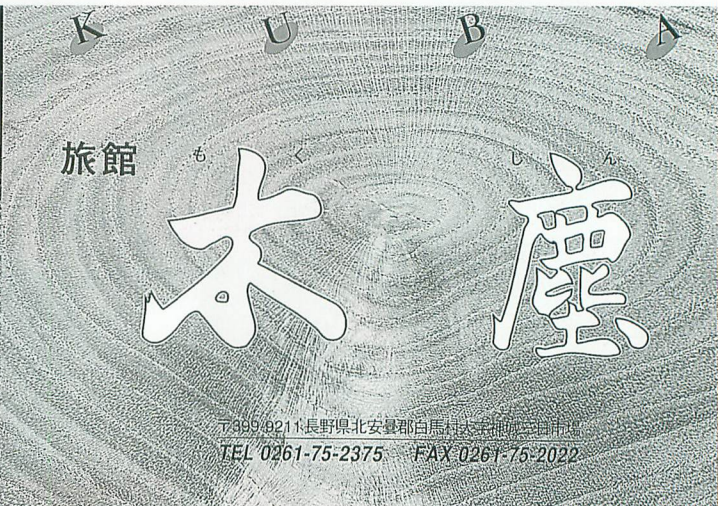
PRICE: ¥4,800

日本バイメタル株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-19-15 宮益坂ビル1001 TEL & FAX.03-3797-7645

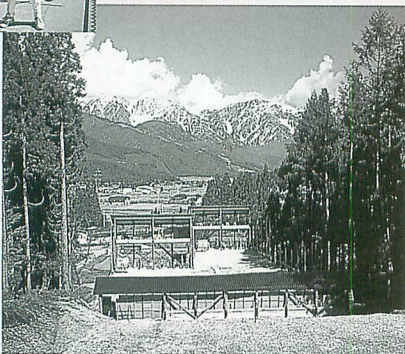
●営業時間／11：00AM～7：30PM 定休日／日曜祭日・毎月曜日





木塵 専用アーチェリー施設

Big Scale



白馬三山を背景に



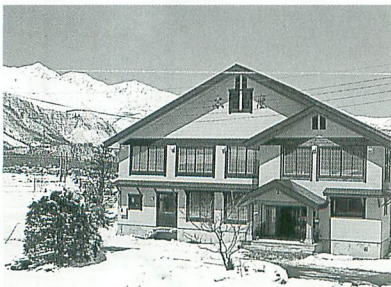
1階より50m・30m
2階より90m・70m

90m・70mの場より射場

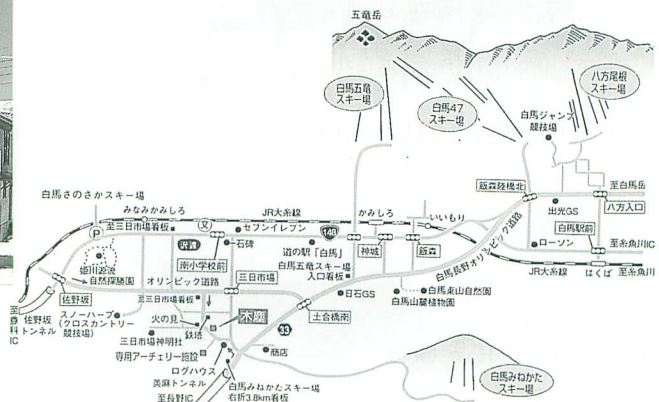
気迫のこもった一矢を
北アルプスのさわやかな風が
やさしく包み込む。そんな抜群の
ロケーションと自由自在な
練習時間で、成果も上々。
(宿より100m)



射場2階より
90mのへ



代表取締役 柏原 順一



みそら野弓場

白馬大雪溪のもと貴方も
合宿をしてみませんか!!

当館専用射場 巾40m 長さ100m

30m、50m、70m、90m
オールラウンド可能常設レンジ
宿舎より約300mの場所にあり
アカシヤの緑に囲まれた気持ちの
良い洋弓場です

〒399-93 長野県北安曇郡白馬村北城深空
みそら野館 太田典文
Tel 0261(72)2800

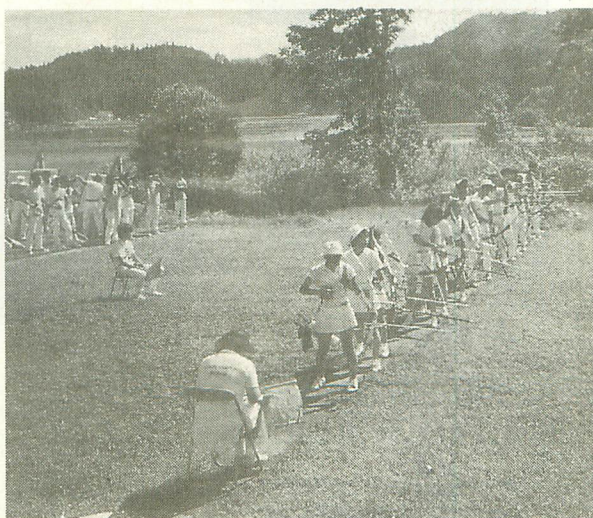
白馬 なかや洋弓場

オールラウンド

90M×35M 1面

50M×35M 1面

- ・ 緑に囲まれ わき水があり
最高のレンジです。
レンジまで徒歩1分。
- ・ 宿も新しいし 合宿に集中
して打ち込めます。
- ・ いつでも予約は可能です。



〒399-9211

長野県北安曇郡白馬村神代1056

「なかや」

Tel 0261-75-2209

Fax 0261-75-2209

ターゲット・マット

アーチェリー競技用畳床の材

特長

特許出願公開番号
特開平9-318297

- ※ フラ100%使用
- ※ 最大150cmまで製造可能 150cm×150cm
- ※ 全面P・Pシートでカバーリング（ゴミが出にくい）
- ※ アーチェリー専用 中央部強化

質量・製造・規格 ◎従来のアーチェリー競技用畳床に準ずる。
《2000年 富山国体使用商品》

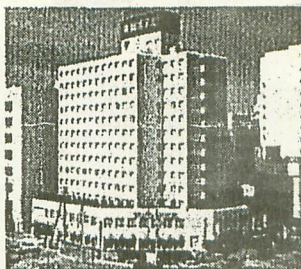


全国発送致します。

☎ 928-0334
石川県鳳至郡柳田村字当目37-68
T・M・K 工業
TEL (0768) 76-1893

いい汗・感動・さらなる飛躍を!!

JR東西線大阪天満宮駅
地下鉄南森町駅 真上 (2号出口)



- ・地上13階、地下1階
- ・客室300室 (シングル263室・ダブル9室・ツイン28室)
- ・レストラン“ミュンヘン” (洋食・喫茶・バー)
- ・日本料理“花ごころ”

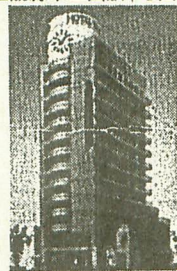
と東興ホテル

〒530-0054 大阪市北区南森町1丁目3-19 FAX 06(363)5078

ご予約・お問合せは
TEL 06(6363)1201 大代表



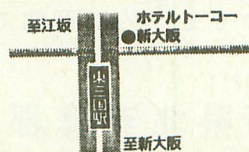
地下鉄御堂筋線東三国駅1号出口北2分



- ・客室159室 (シングル120室、デラックスシングル11室、ダブル11室、ツイン16室、デラックスツイン1室)
- ・レストラン“バル ミュンヘン”

とホテルトーコー新大阪
〒530-0002 大阪市淀川区東三国2丁目32-9 FAX 06(395)1516

ご予約・お問合せは
TEL 06(6395)1515 大代表



A.S.I. アメニティ
スクール
アイデンティティ

日本PTA全国協議会・推薦商品

最新のテクノロジーから
生まれた快適さ

3大特許技術採用

快・適・学・校・服

スクールタイガー-α

アルファ



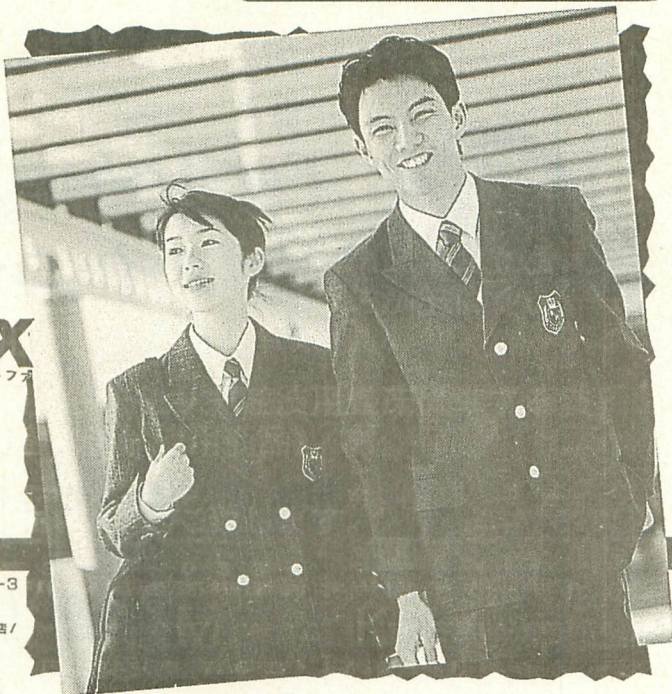
Schooltiger

TAKIMOTO CO., LTD.

大阪本社 / 〒579-8013 東大阪市西石切町7丁目4-3
TEL 0729 (86) 9810 (代) FAX 0729 (86) 9825

東京店 / 札幌店 / 仙台店 / 水戸店 / 高崎店 / 静岡店 / 名古屋店 /
金沢店 / 姫路店 / 広島店 / 高松店 / 福岡店 / 鹿児島店

URL <http://www.takimoto.co.jp> E-mail info@takimoto.co.jp



豊かな心を育む

名鉄観光の修学旅行

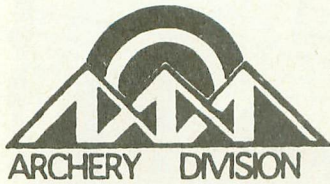
快適な旅を演出します

名鉄観光サービス株式会社

大阪教育旅行支店

〒541-0037 大阪府中央区本町 2-2-7 (本町ビル)

TEL (06) 6263-1801



For Archers' Minded

株式会社 アイ・コーポレーション

〒561-0817 豊中市浜1丁目28番12号

TEL 06 (6333) 9023

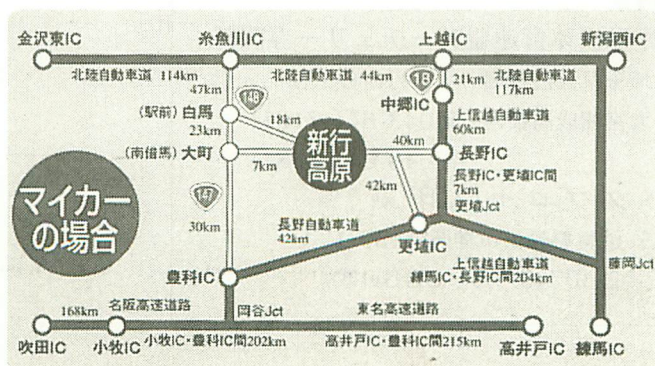
FAX 06 (6334) 3124

新行高原

民宿「やまく」



100M×90M 山に囲まれた安全な射場です



TEL
 0261-23-1452
 (シーズン中)
 0261-62-4818

FAX
 0261-62-4818

長野県北安曇郡美麻村新行
 民宿「やまく」

酒井孝芳

あ と が き

西暦2000年。20世紀最後の年。オリンピックイヤー。何かと心に残りそうな年である。今高校生である人たちは、自分の高校生活が2つの世紀に跨ることに、どれくらいの感慨を抱くのか。

ジュニア世界選手権もある。オリンピックもある。それに出場できるのは、ひとつまみとも言えるべき人数ではあるが、他にインターハイ・国体・全日本選手権と、出場できる可能性のある大会はたくさんある。

自分の力で出場権をつかみとり、特に心に残るこの年を送ってほしい。

会報14号をお届けするにあたり、寄稿下さった先生方をはじめ、関係の皆様にお礼を申し上げます。

(小黒)

発行日 平成12年4月

編 集 総務委員会

発行所 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

事務局 〒330 埼玉県大宮市堀ノ1丁目内615

大宮開成高校内 (TEL048-641-7161)

(FAX048-647-8881)

発行所 (株)シバタプロセス印刷

〒526-0015 滋賀県長浜市神照町499-1

TEL (0749) 63-6860(代)

表紙の色 - 堇 (すみれ) -

いそのかみ ふりにし人を たずぬれば 荒れたる宿に 堇摘みけり

(新古今和歌集 納因法師)

ARE REST

The best shooting partner.

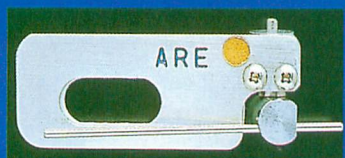
フリーチューニングレスト (特許出願中/Patent Pending) (トルクアジャスター付き)

Free Tuning Rest
(with Torque Adjuster)
AFT-2AD
左右共 (LR) ￥5,800



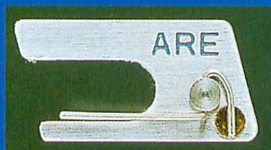
フリーチューニングレスト (トルクアジャスターなし)

Free Tuning Rest
AFT-2
左右共 (LR) ￥4,300
*トルクアジャスターの別売りは
していません。



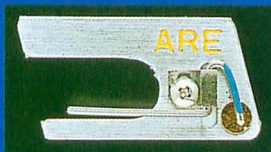
マグネチックレスト (AVALON・PSE用)

Magnetic Rest
(for AVALON / PSE)
AM-105HU
AM-110HU
左右共 (LR) ￥2,500



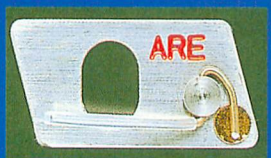
アジャスタブルレスト (特許出願中/Patent Pending) (AVALON・PSE用)

Adjustable Rest
(for AVALON / PSE)
AM-105-HU-ADJ
AM-110-HU-ADJ
左右共 (LR) ￥3,500



マグネチックレスト Magnetic Rest

AM-100
AM-105
AM-110
左右共 (LR) ￥2,200



アジャスタブルレスト (特許出願中/Patent Pending) Adjustable Rest

AM-100-ADJ
AM-105-ADJ
AM-110-ADJ
左右共 (LR) ￥3,300



NEW

スナイパー01 (特許出願中/Patent Pending)

Sniper 01

右 (R) ￥19,500 (ブラック/Black)
左 (L) ￥21,500 (受注生産・シルバー/Silver)

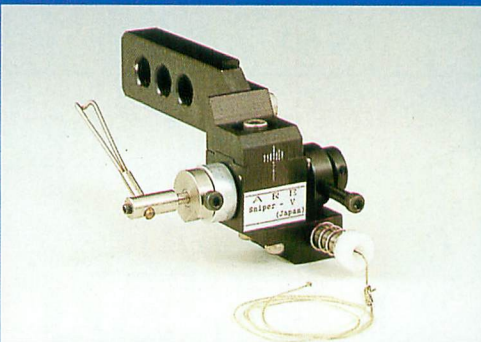


NEW

スナイパーV (特許出願中/Patent Pending)

Sniper V

右 (R) ￥25,500 (ブラック/Black)
左 (L) ￥27,500 (受注生産・シルバー/Silver)



フリーチューニング用レストピン

Rest Pin ￥500

フリーチューニング用レストピン (ハイス鋼)

Rest Pin (High Speed Steel) ￥1,000

アジャスタブルレストスペアピン (左右)

Adjustable Rest Spare Pin ￥1,100

(AVALON / PSE 用) ￥1,500

両面テープ

Tape ￥100

テフロンチューブ

Teflon Tube ￥50

クイックターンレスト・スナイパー用レストピン取付シャフト

Quick Turn Rest Pin Shaft ￥1,100

クイックターンレスト・スナイパー用レストピン

Quick Turn Rest Pin ￥1,500

スナイパーV用レストピン

Sniper-V Rest Pin ￥1,600

ASAHI ARCHERY

アサヒ弓具工業株式会社

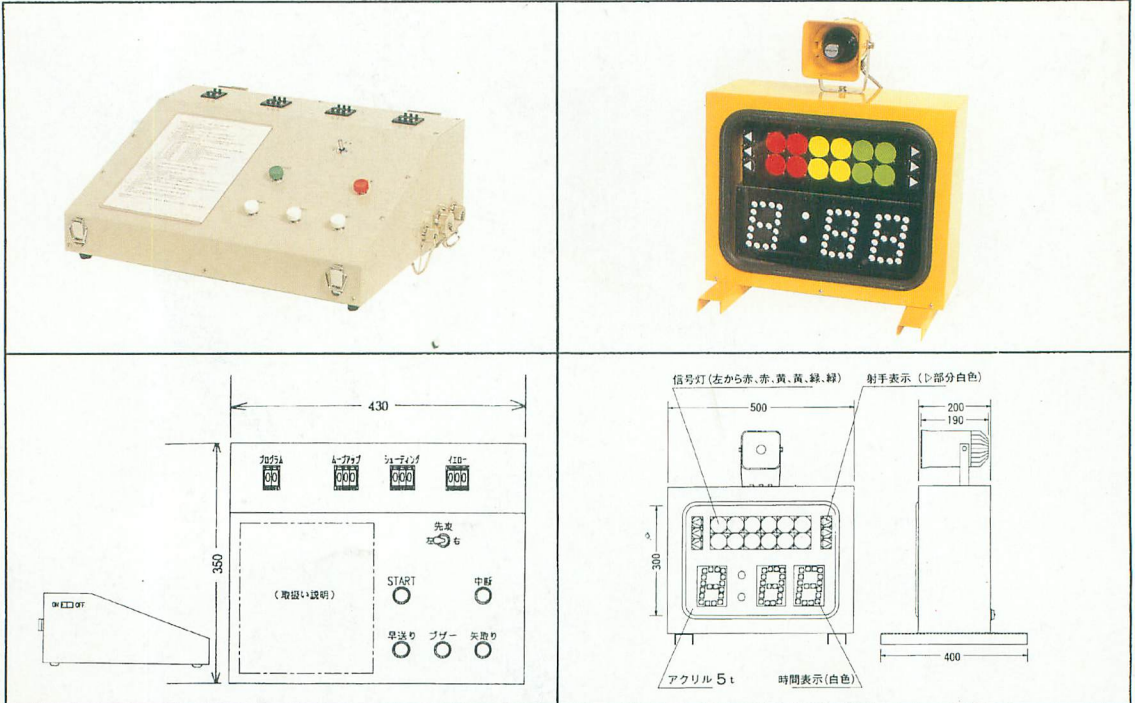
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-23-3 phone.03-3986-2301 fax.03-3986-2302
3-23-3 Minami-Otsuka, Toshima-ku, Tokyo 170-0005, Japan
phone.81-3-3986-2301 fax.81-3-3986-2302

www.asahi-archery.co.jp

asahi@asahi-archery.co.jp

アーチェリー競技用表示装置

(全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 御推薦)

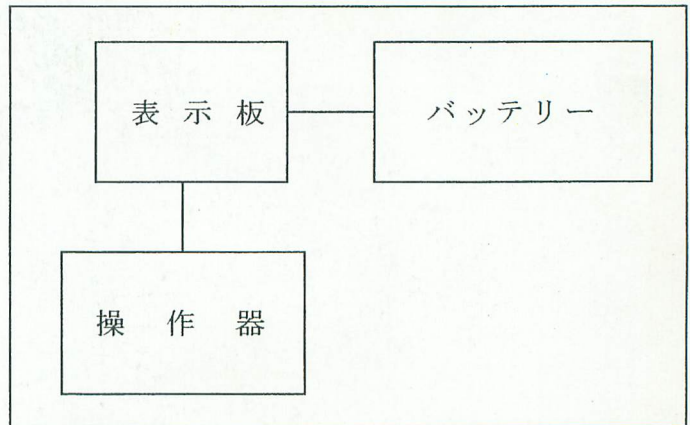
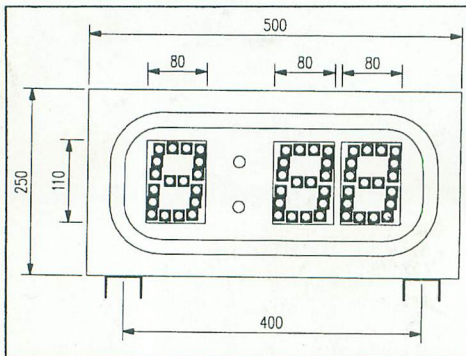


操作器

表示板

(1)操作器 1台 310,00- (2)表示板 1面 394,000- (3)ケーブル 50m 3,500-

アーチェリータイム表示装置



表示板

システム構成

(1)表示板 1台 130,000- (2)操作器 1台 27,000- (3)バッテリー 23,000-

販売元

西尾レントオール 株式会社
〒583-0001

大阪府藤井寺市川北1-44-1

TEL (0729) 73-3913

FAX (0729) 73-3914

製造元

株式会社 啓明電装
〒546-0041

大阪市東住吉区桑津3丁目7番5号

TEL (06) 6719-4504

FAX (06) 6719-5073